



2013年3月期 第2四半期

決算説明会

2012年10月31日

ソフトバンク株式会社

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

連結業績ハイライト

1. **営業利益4,000億円を突破**
(上期)
2. **モバイル事業が好調を維持**
iPhone 5の販売が好調

連結業績

(億円)

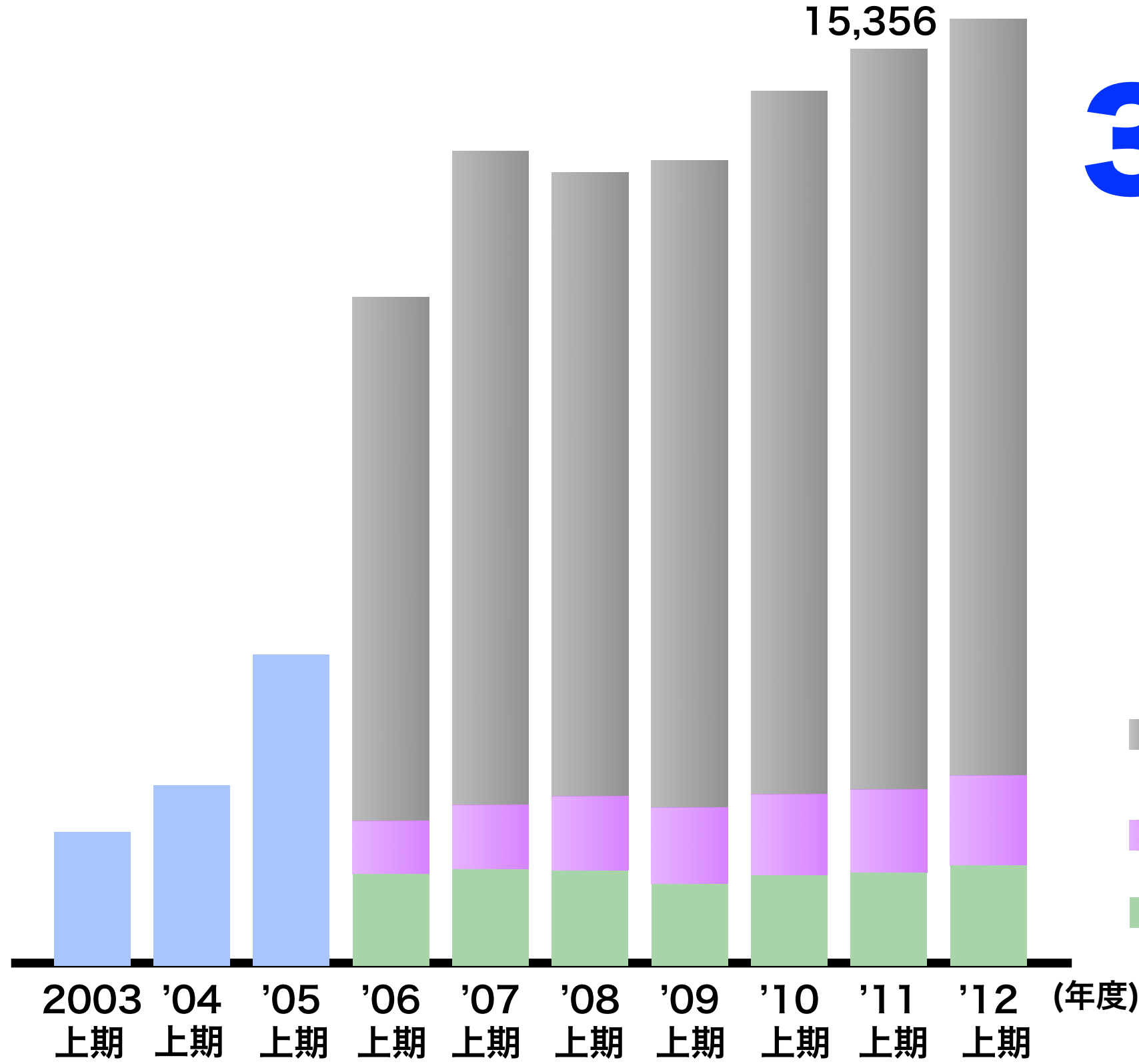
売上高

15,861

15,356

3期連続過去最高

3%増



- 通信3事業
(移動体通信、BBインフラ、固定通信)
- インターネット・カルチャー
- その他

(億円)

営業利益(償却前)

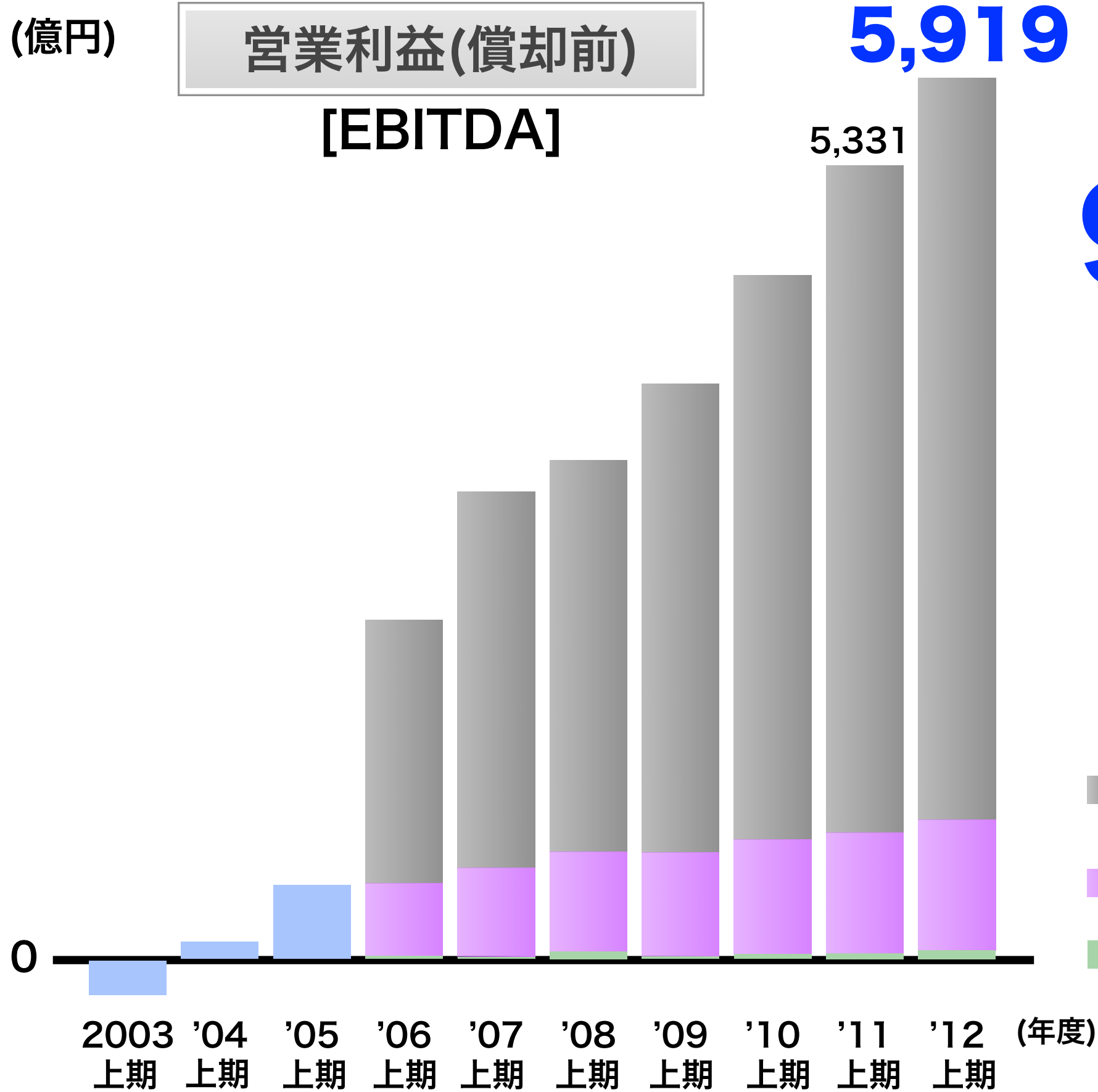
[EBITDA]

5,919

5,331

9期連続最高益

11%増



- 通信3事業
(移動体通信、BBインフラ、固定通信)
- インターネット・カルチャー
- その他

営業利益(償却前)

[EBITDA]

ドコモに迫る

(億円)

10,000

5,000

0

2005 上期 '06 上期 '07 上期 '08 上期 '09 上期 '10 上期 '11 上期 '12 上期 (年度)

8,066 NTTドコモ

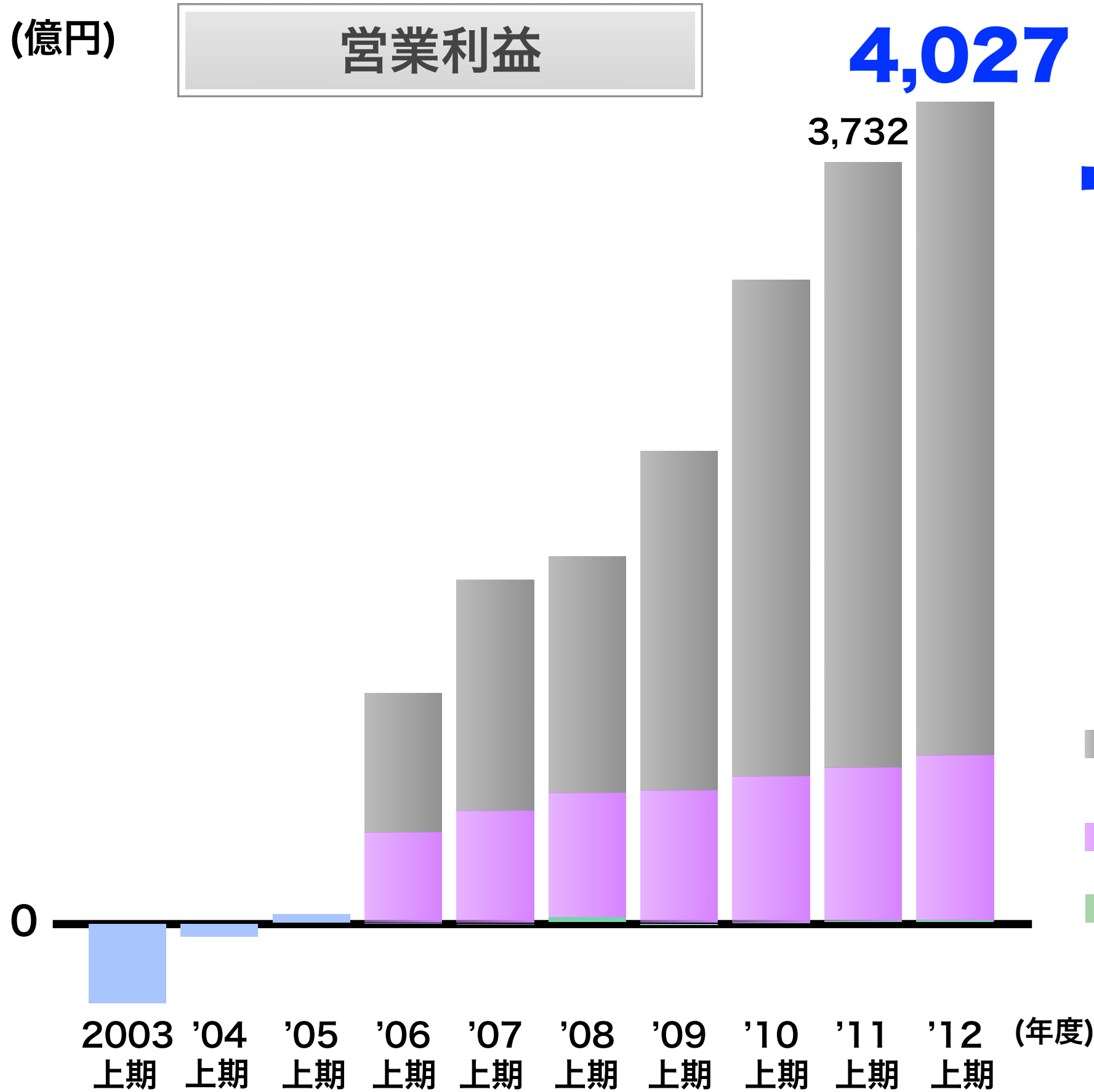
5,919 SoftBank

4,408 KDDI

※各社の開示資料を基に当社作成

(億円)

営業利益

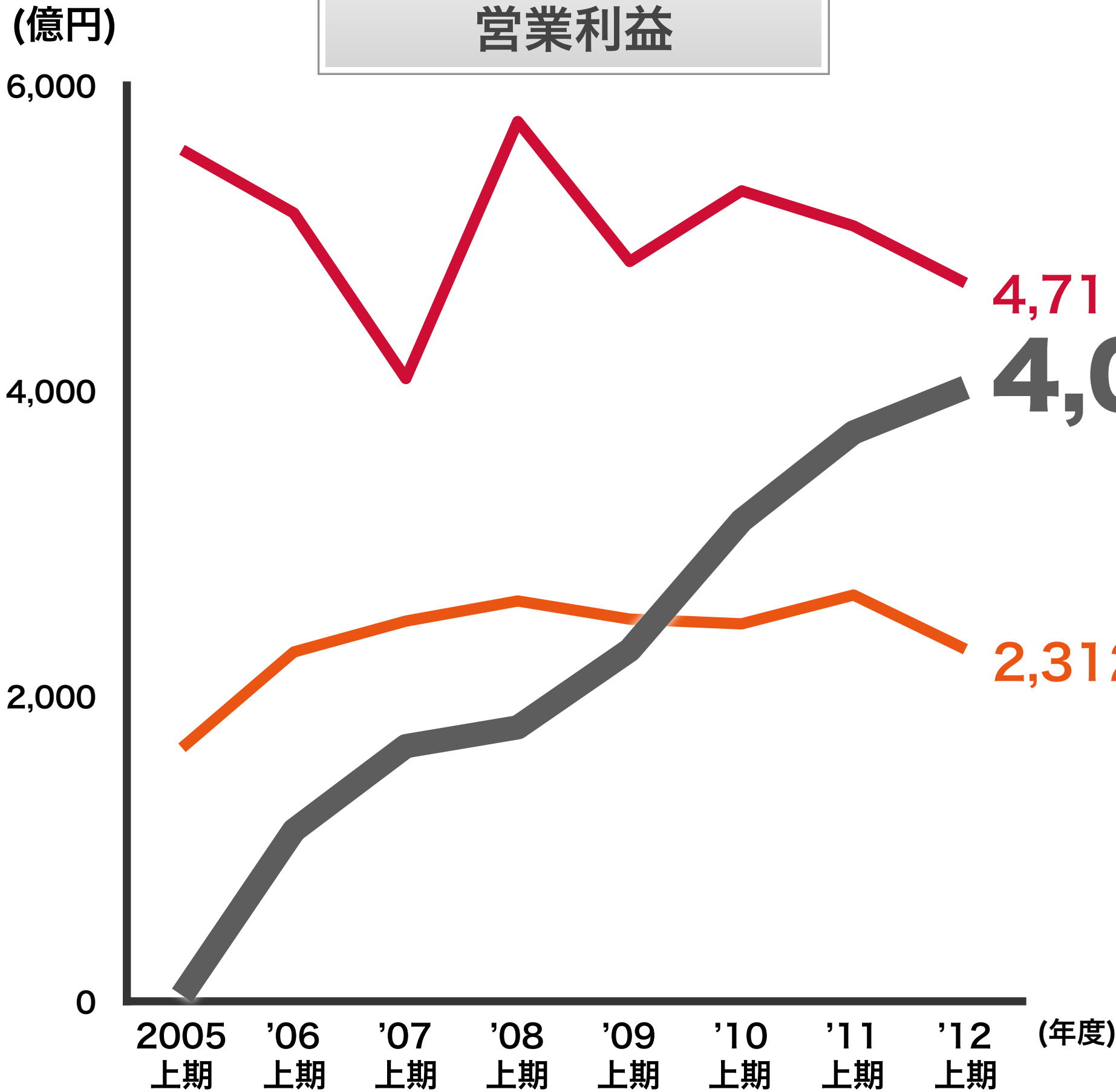


7期連続最高益
8%増

- 通信3事業
(移動体通信、BBインフラ、固定通信)
- インターネット・カルチャー
- その他

営業利益

ドコモに迫る



4,711 NTTドコモ

4,027 SoftBank

2,312 KDDI

※各社の開示資料を基に当社作成

営業利益 増減率
(2012年度上期)

+8%

ソフトバンク

▲7%
NTTドコモ

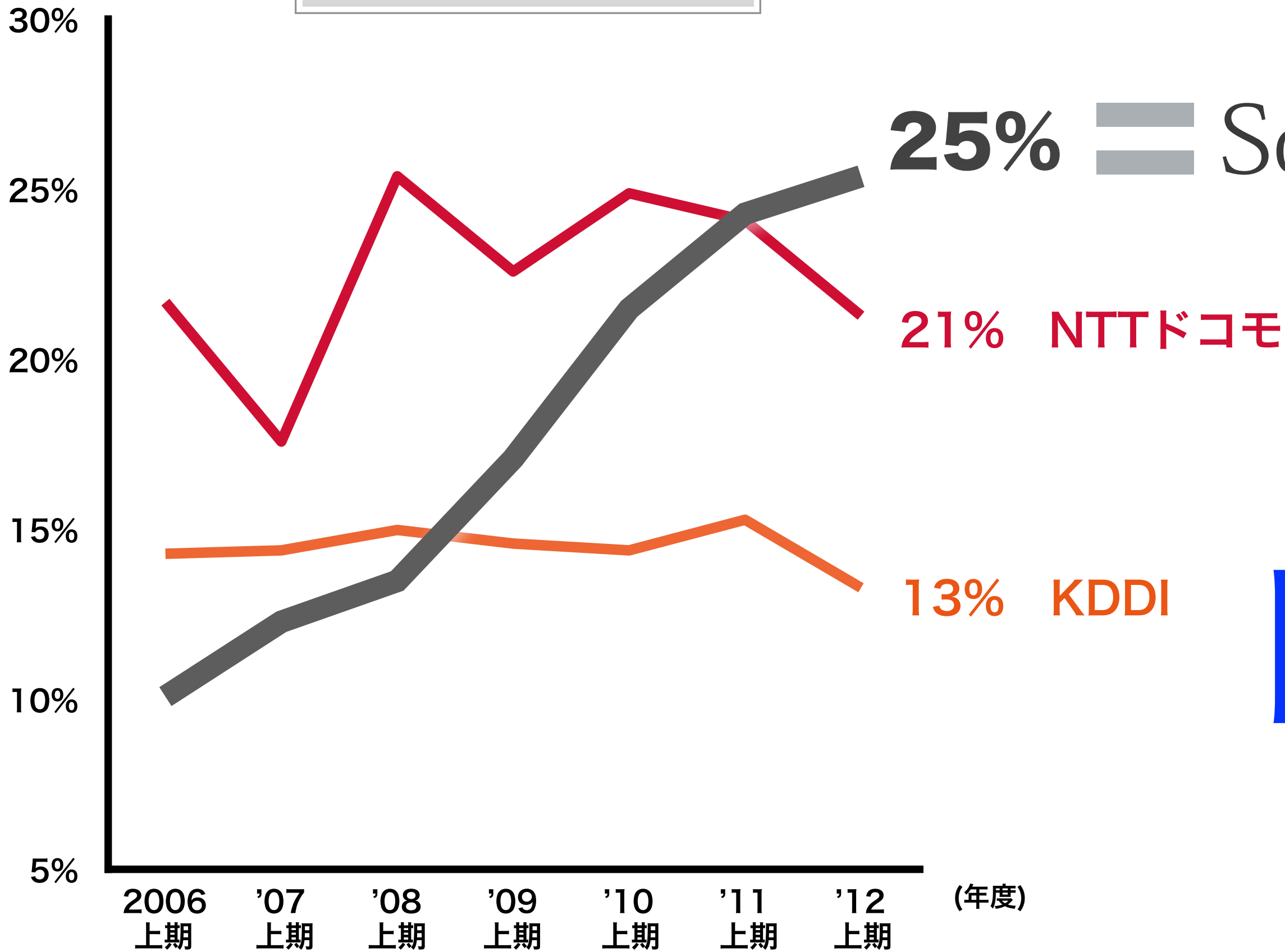
▲13%

KDDI

唯一の増益



営業利益率



25% SoftBank

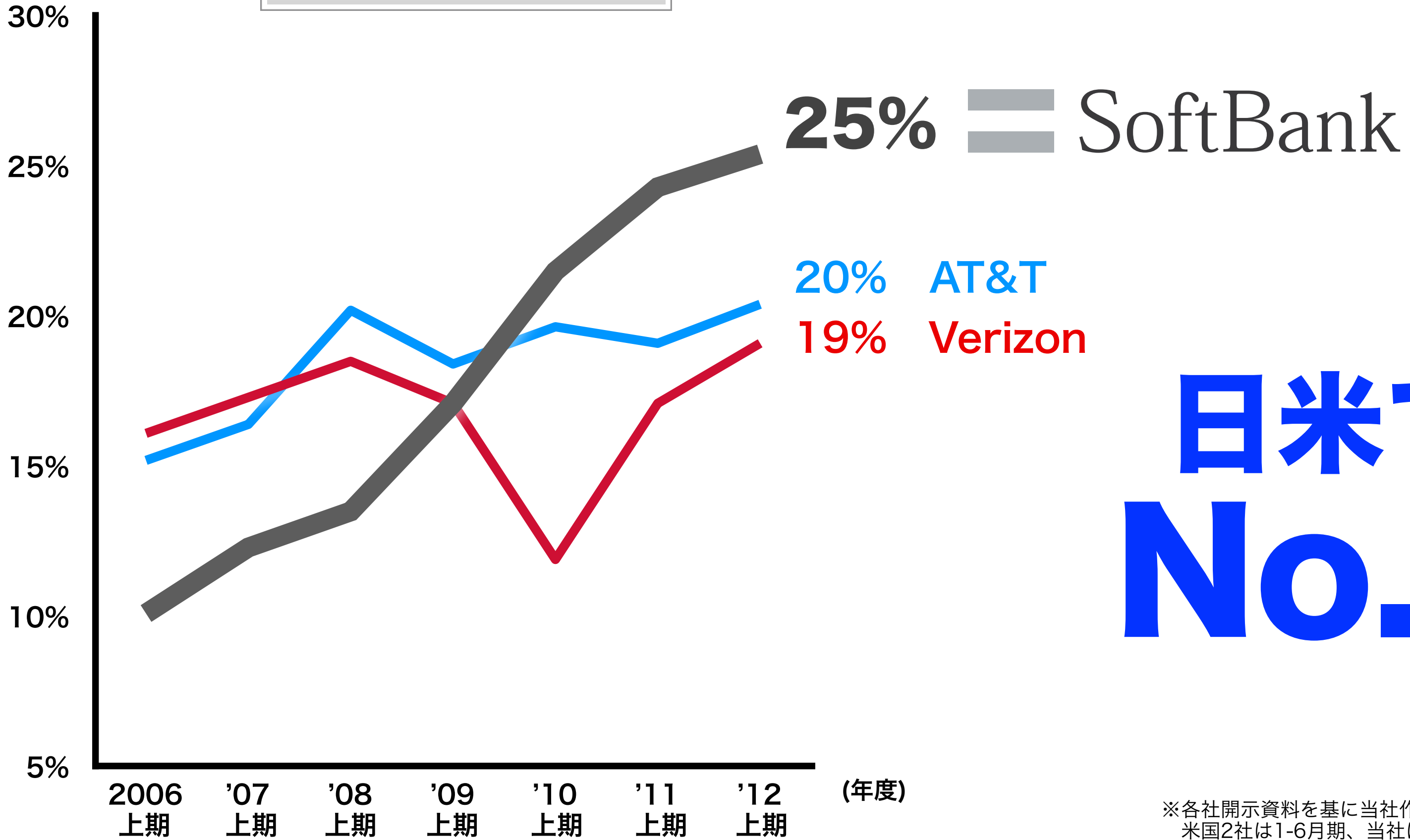
21% NTTドコモ

13% KDDI

日本で
No.1

※各社の開示資料を基に当社作成

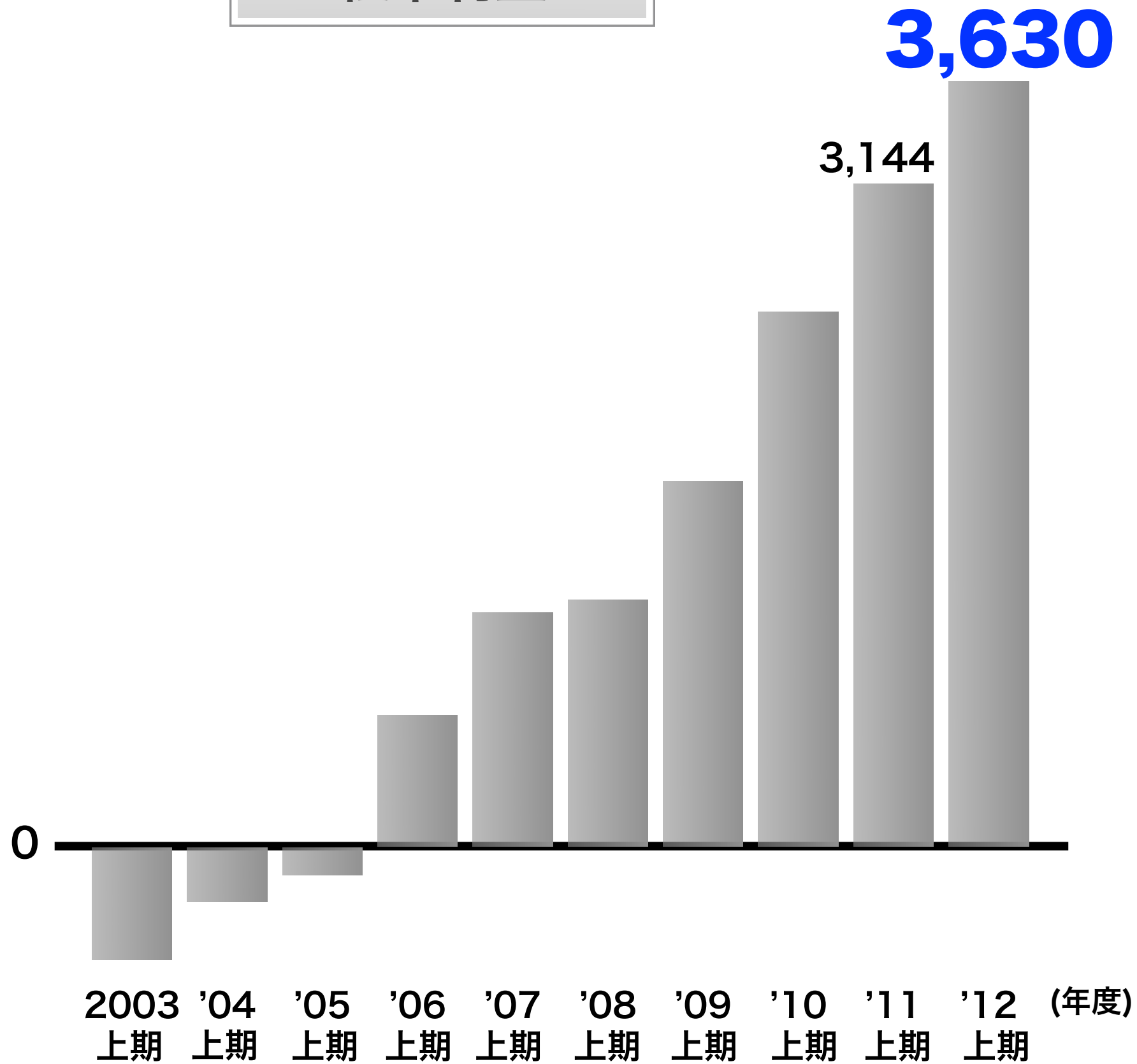
営業利益率



※各社開示資料を基に当社作成。
米国2社は1-6月期、当社は4-9月期。

(億円)

經常利益

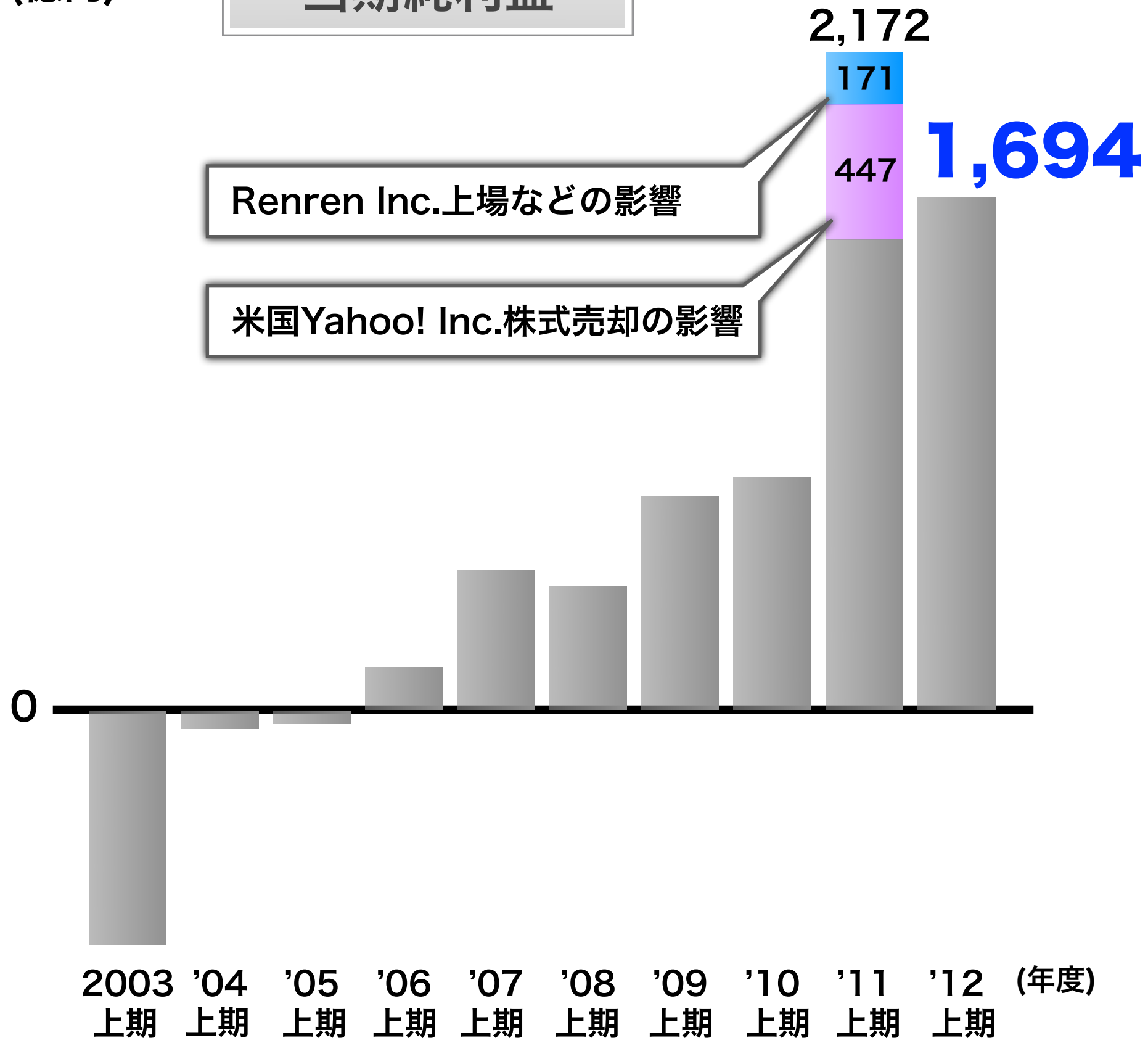


7期連続最高益
15%増



(億円)

当期純利益



順調に推移



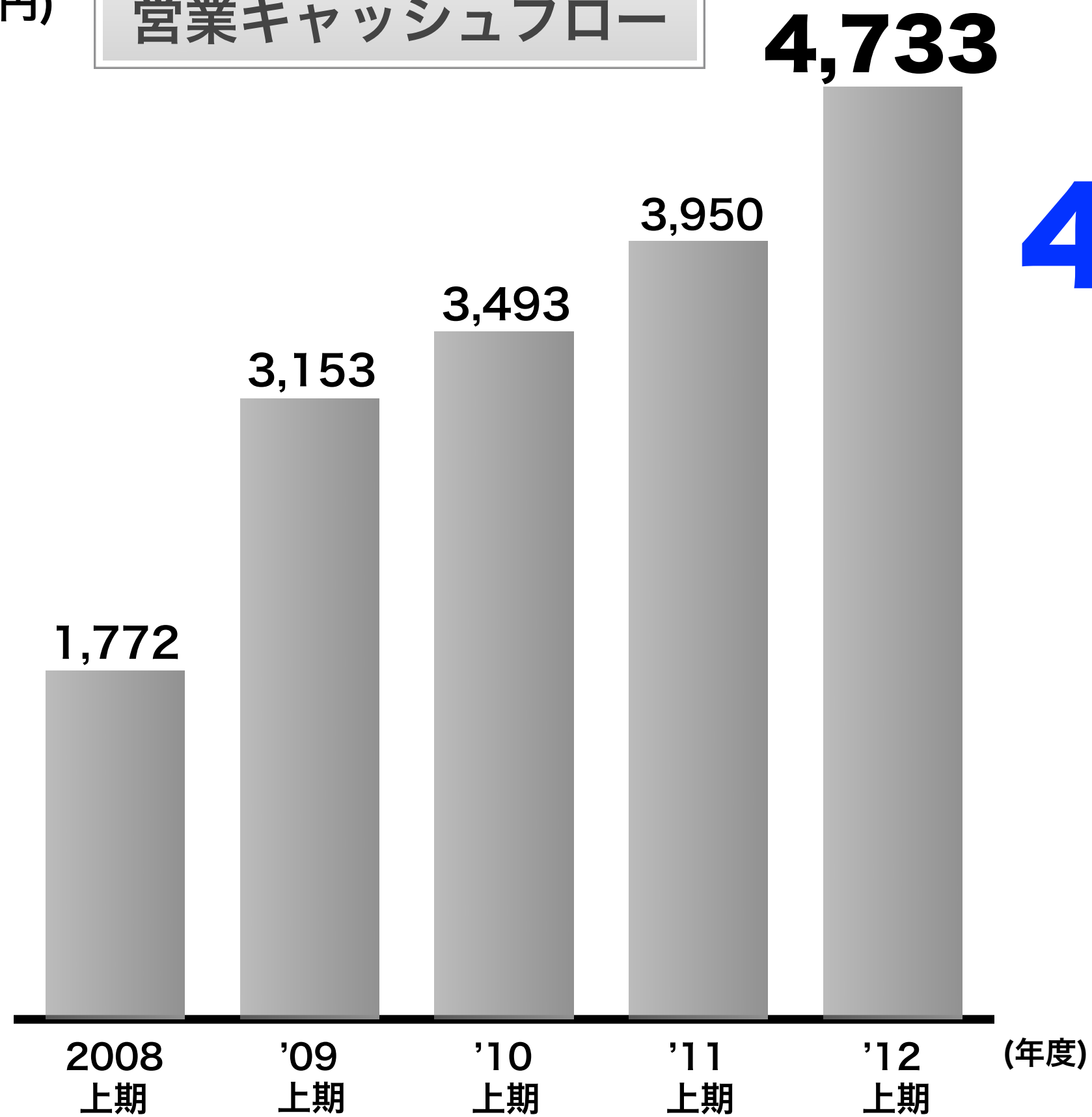
連結業績サマリー

(億円)

	'11年度上期 (11年4~9月)	'12年度上期 (12年4~9月)	増減	前期比
売上高	15,356	15,861	504	103%
営業利益(償却前) [EBITDA]	5,331	5,919	588	111%
営業利益	3,732	4,027	295	108%
経常利益	3,144	3,630	485	115%
当期純利益	2,172	1,694	▲478	78%

(億円)

営業キャッシュフロー



**4期連続過去最高
20%増**



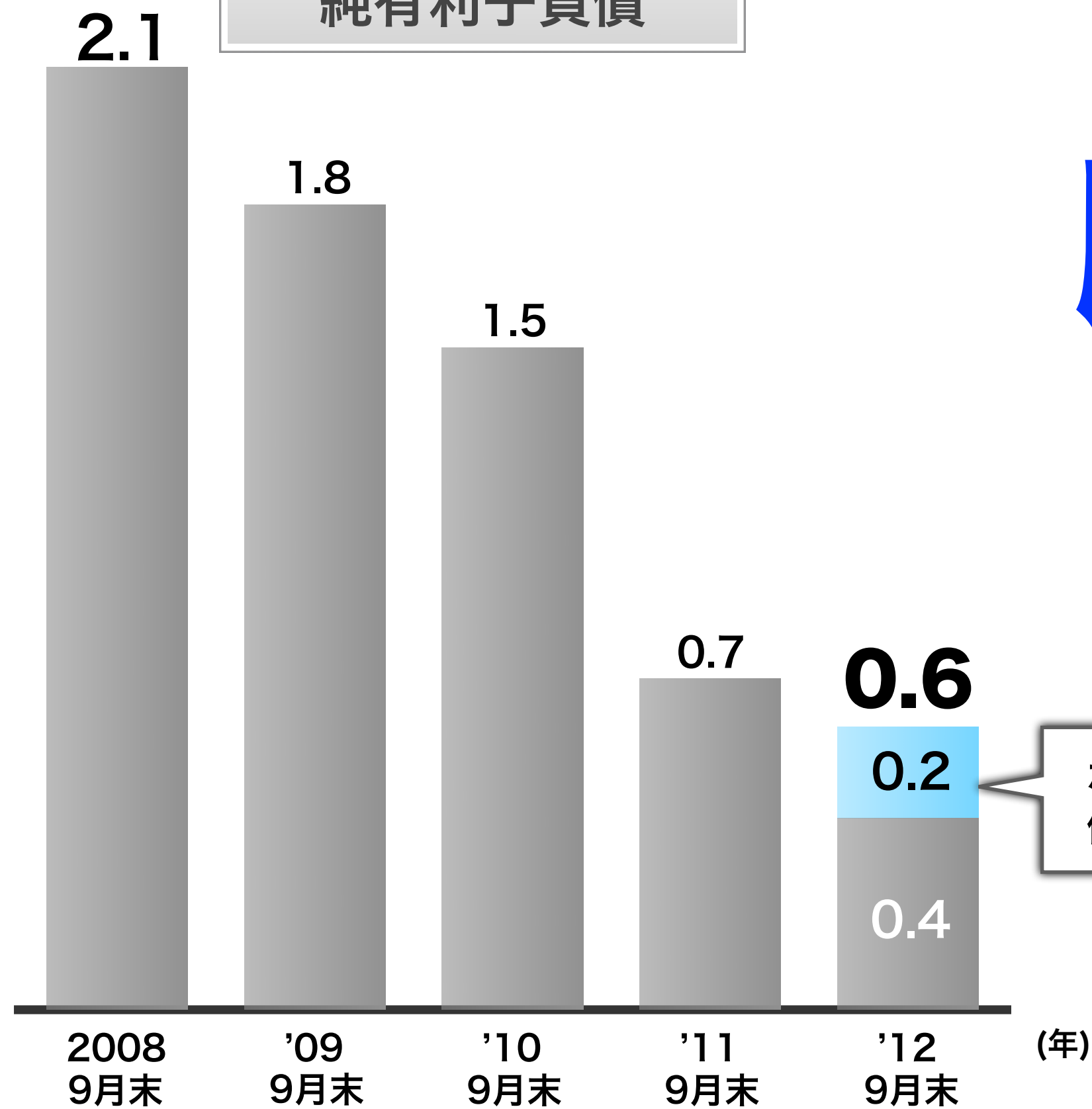
キャッシュフローの状況

(億円)

	'11年度上期 (11年4~9月)	'12年度上期 (12年4~9月)
営業キャッシュフロー	3,950	4,733
フリーキャッシュフロー	2,352	1,473
① 設備投資支払	▲2,158	▲2,728
② アスクル株式取得 (ヤフーによる)	-	▲330
③ Yahoo! Inc.株式の売却	+571	-

(兆円)

純有利子負債



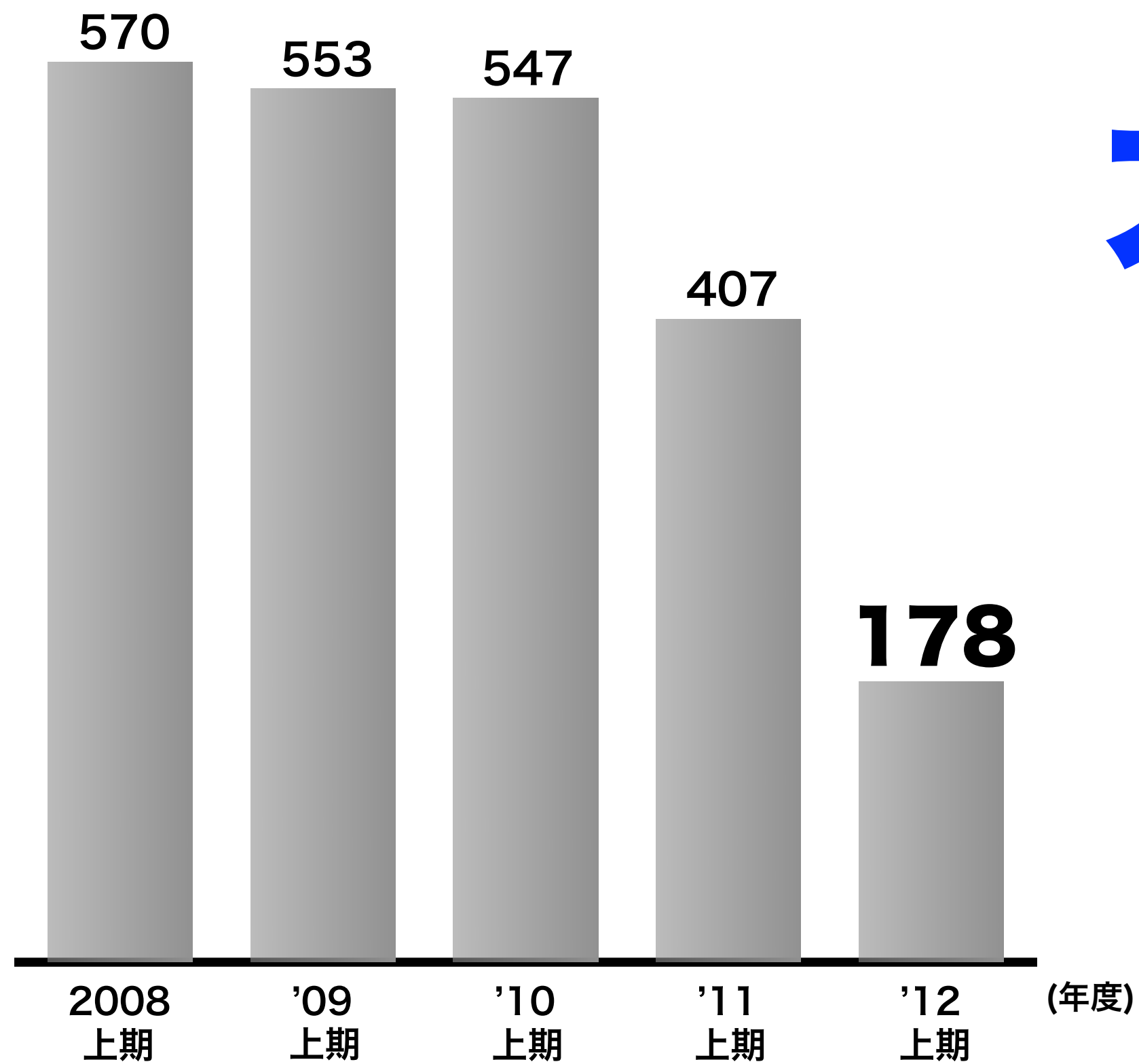
順調に削減

ボーダフォン向け
優先株式等の取得に係る支出

※リース債務除く

(億円)

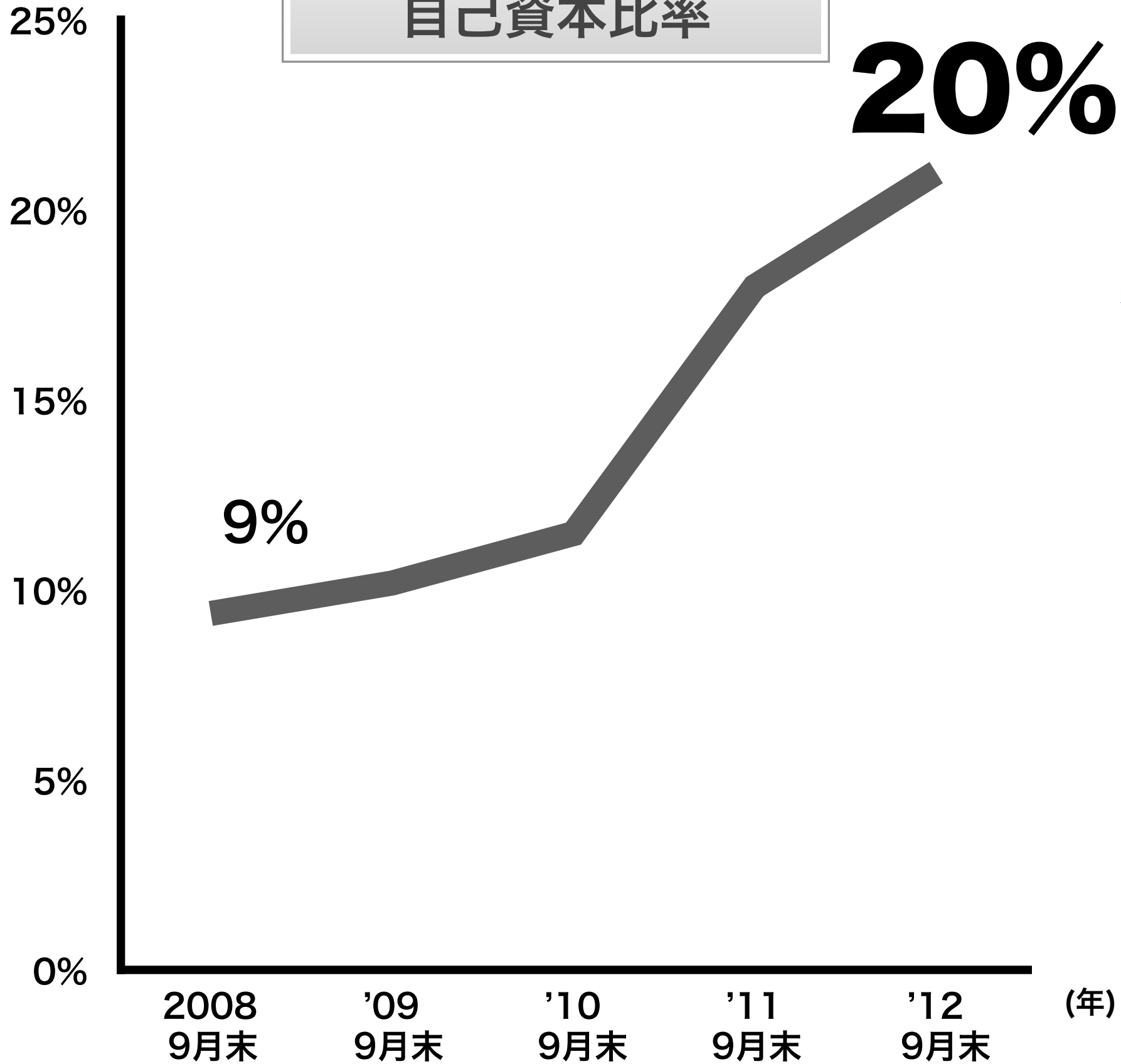
支払利息



大幅に削減



自己資本比率

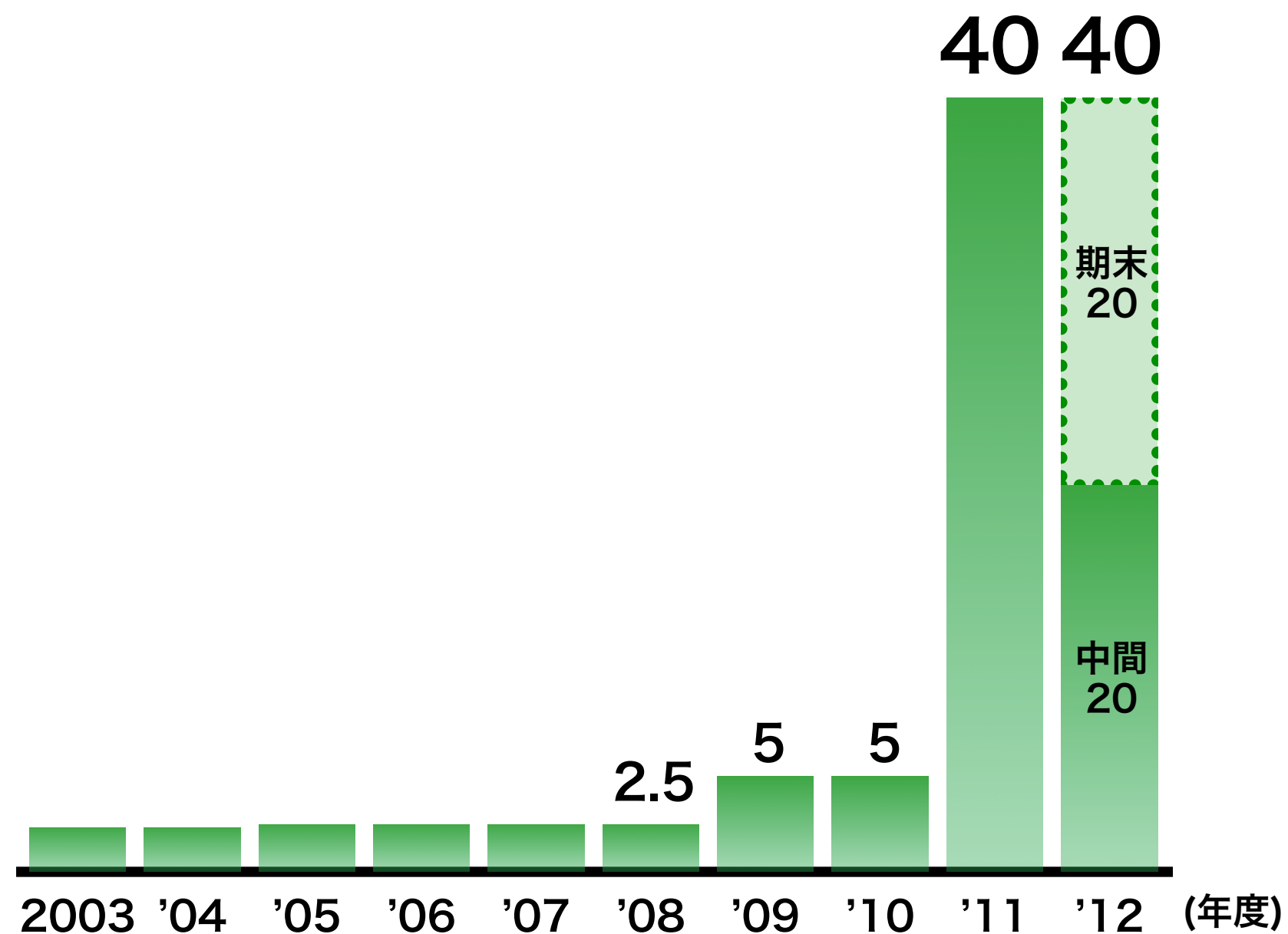


大幅に改善



(円)

1株当たり配当金



配当方針に 変更なし



国内事業の状況

ソフトバンク版 iPhone 5

2つの誤解



auはLTE接続時の連続待受時間が
約260時間、SBは160時間。

ケータイWatch(2012年9月26日)



誤解1

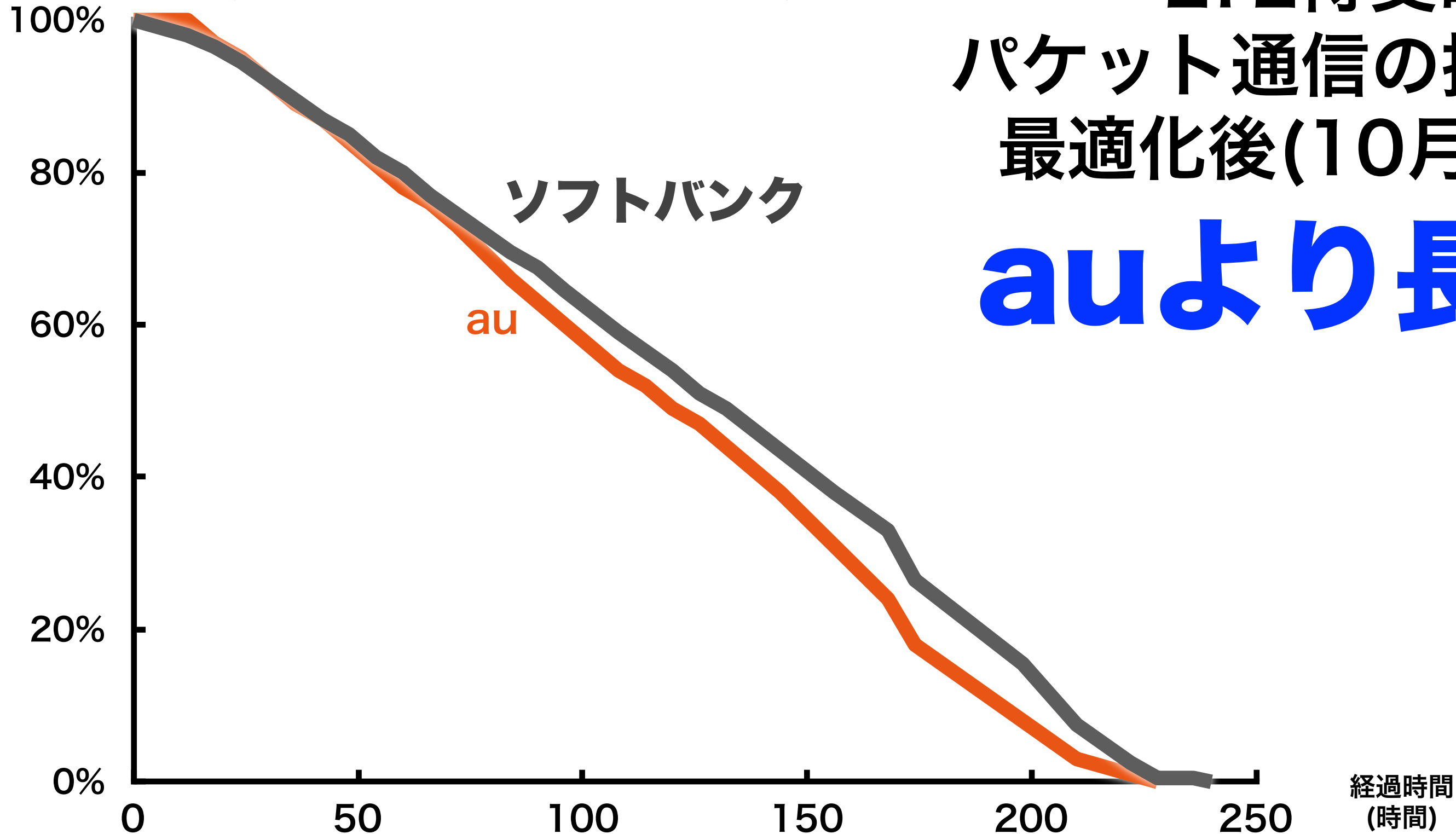
SB版のLTEは**電池の減りが早い?**

電池残量

(iPhone 5 LTE待受時)

LTE待受時の
パケット通信の接続状態を
最適化後(10月19日~)

auより長持ち



※緊急地震速報をONにした状態で、両キャリアの電界強度が同程度のLTE環境(都内)で測定

SBはオムニセル型でカバーエリアが狭く、
同じ基地局数でもつながりにくい。
重なる部分で干渉が起き、速度が落ちる。

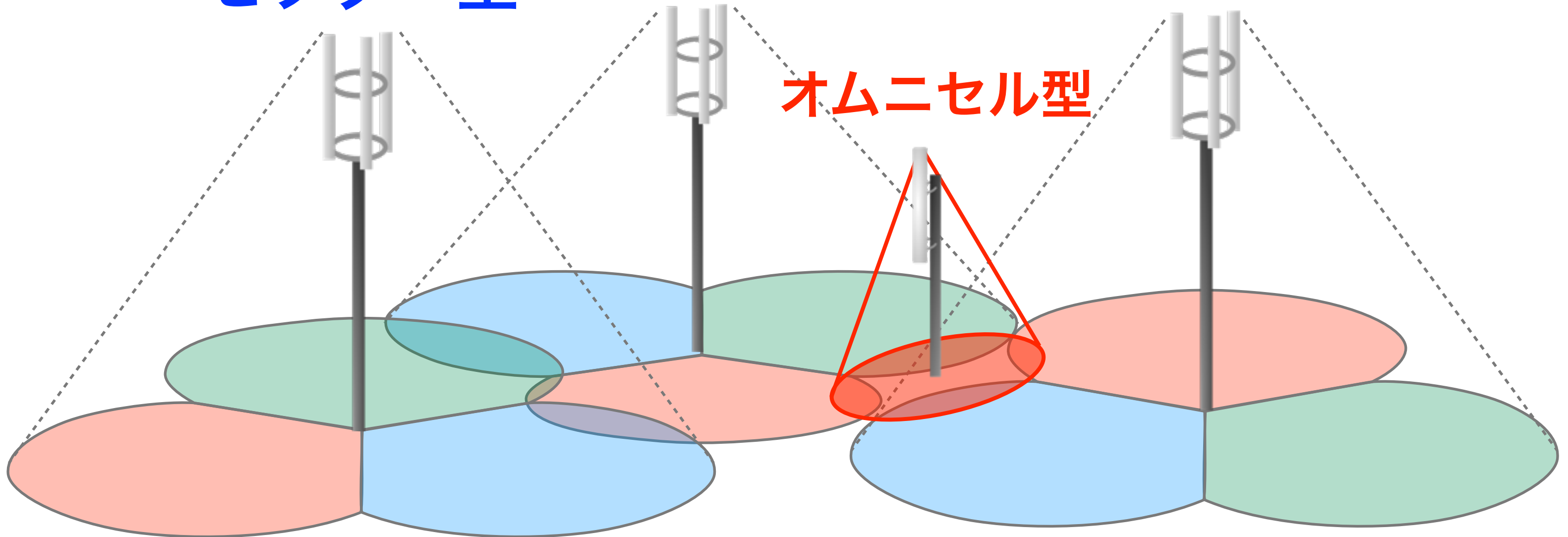
週アスPLUS(2012年10月9日)



誤解2

SBのLTE基地局は**オムニセル型**ばかり？

セクター型



オムニセル型

LTE基地局の97%がセクター型

(オムニセル型は3%)

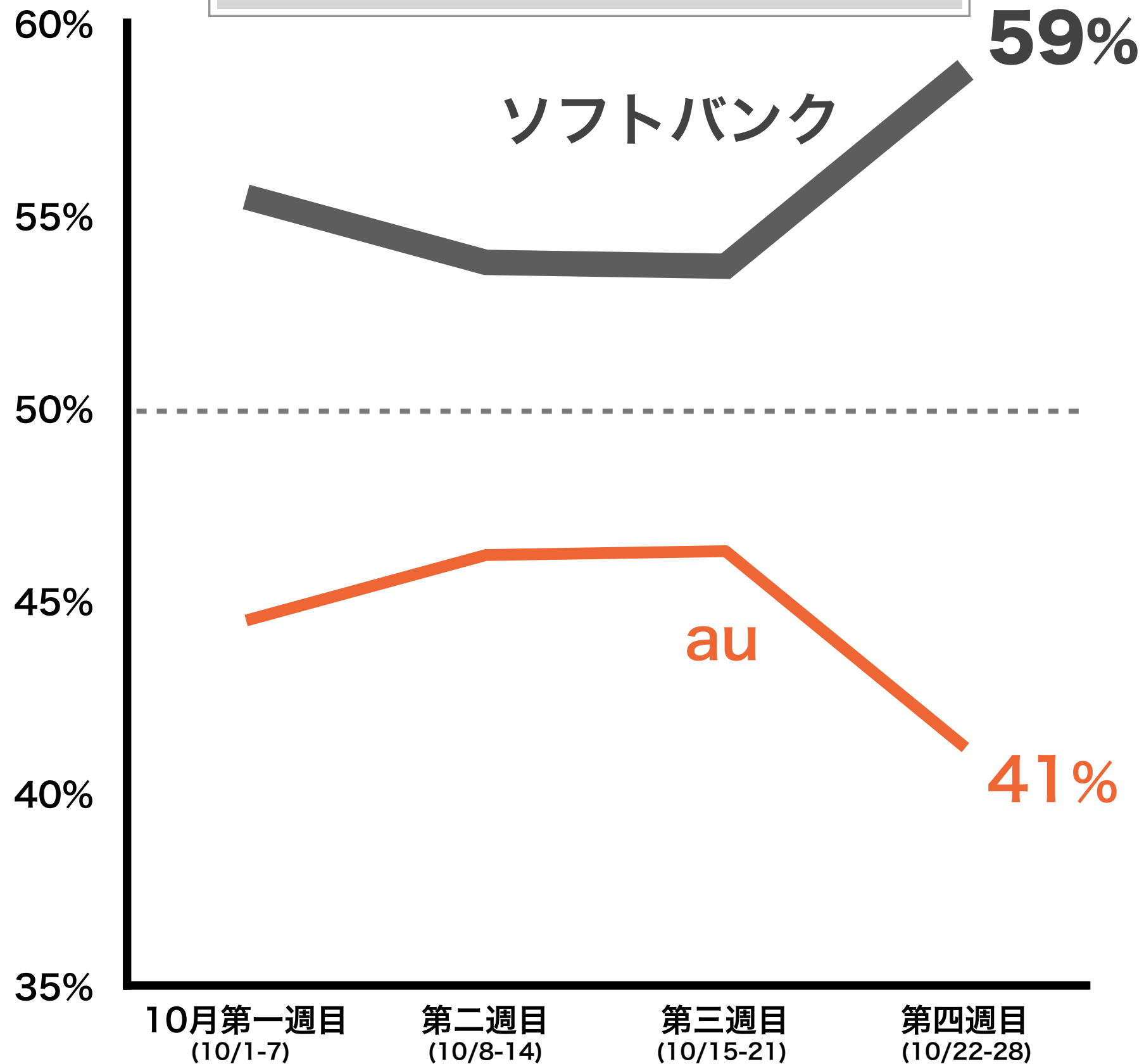
※全国で稼働中のLTE基地局を対象に算出

ソフトバンク版 iPhone 5

誤解は解消



iPhone 5
総販売数シェア(週次)



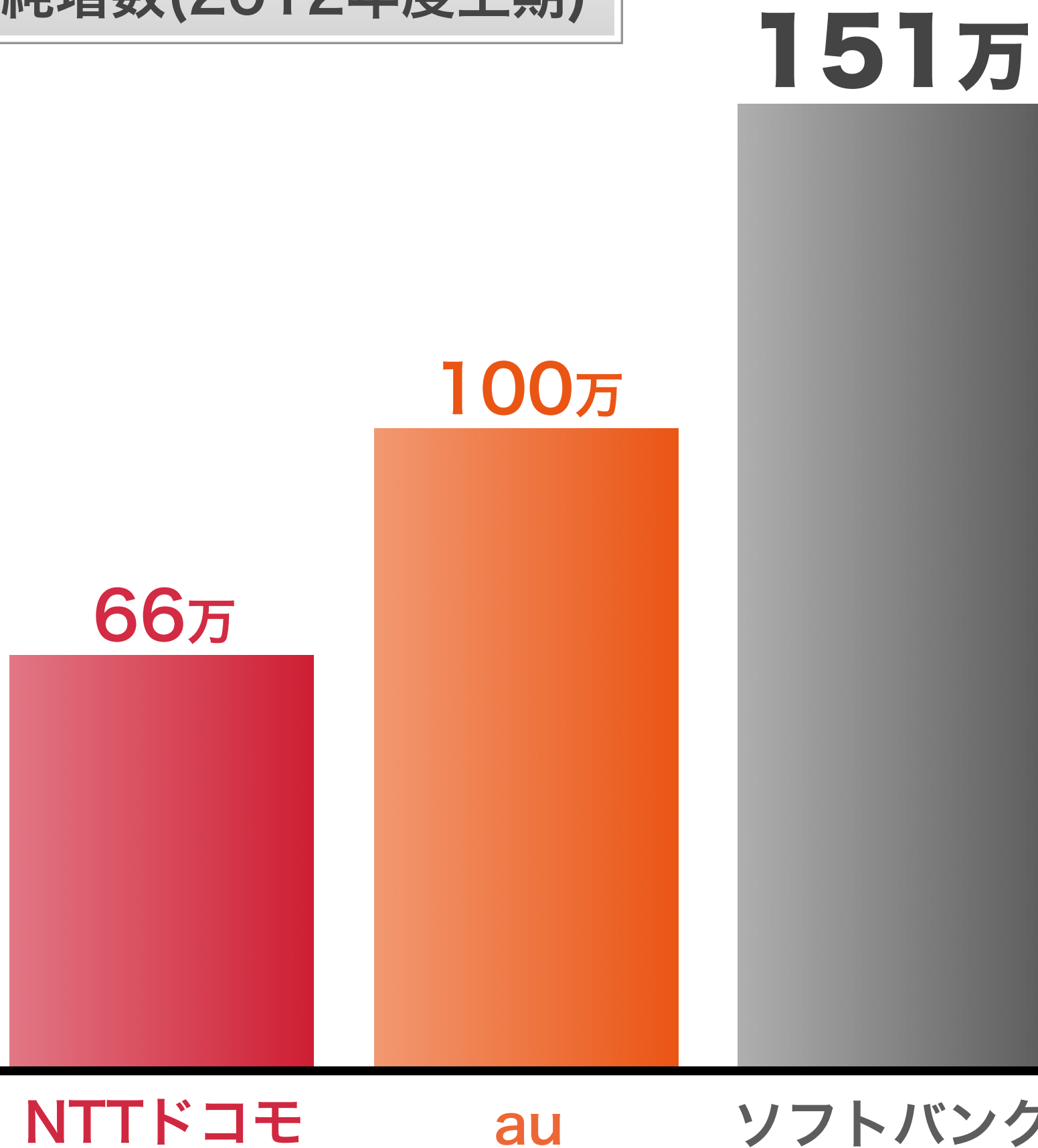
iPhone 5 auに圧勝



※出所: 外部調査会社による主要量販店での販売台数調査

$$\text{売上} = \text{契約数} \times \text{ARPU}$$

純増数(2012年度上期)

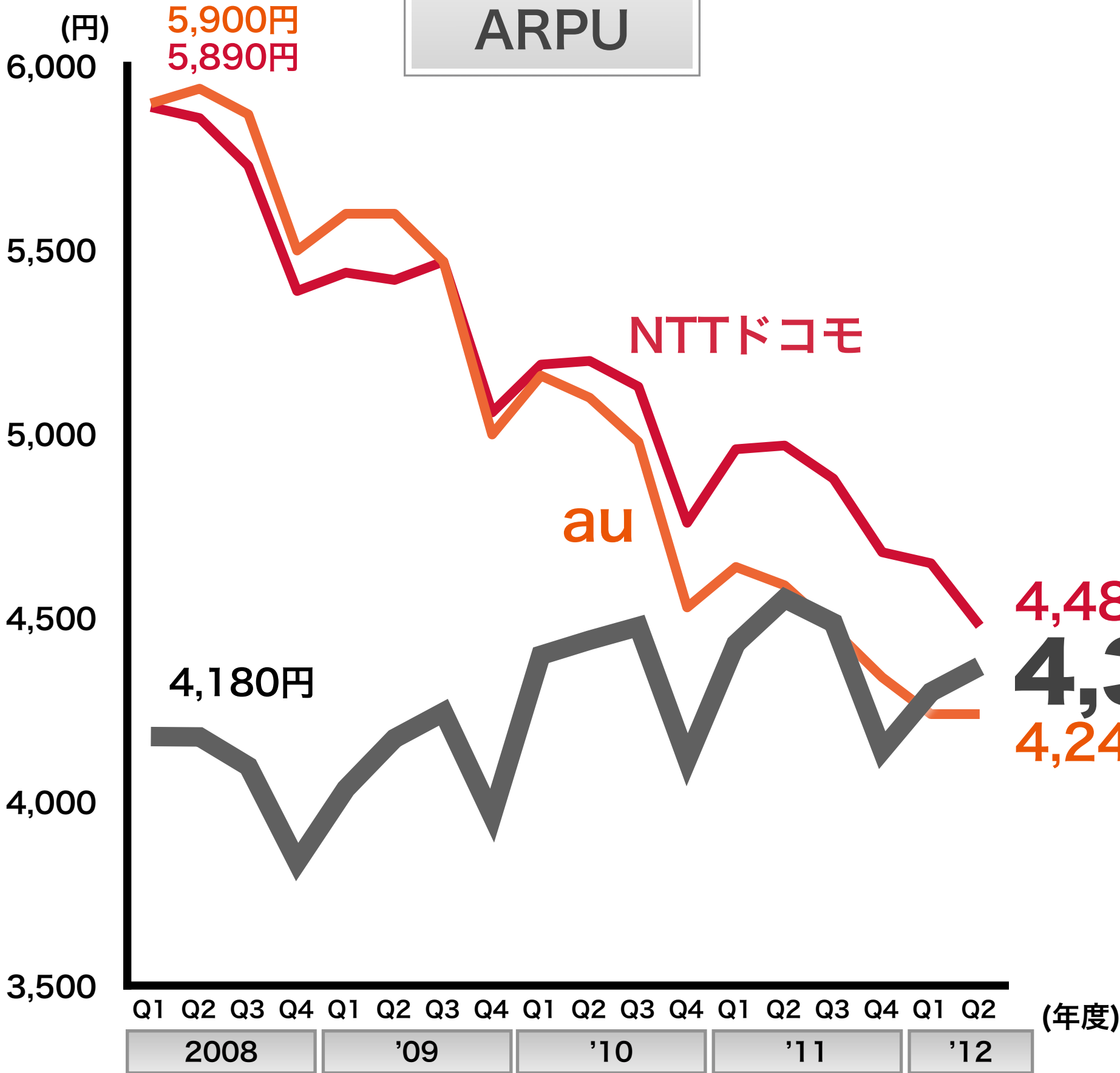


圧倒的No.1



ARPU

唯一の
増加傾向

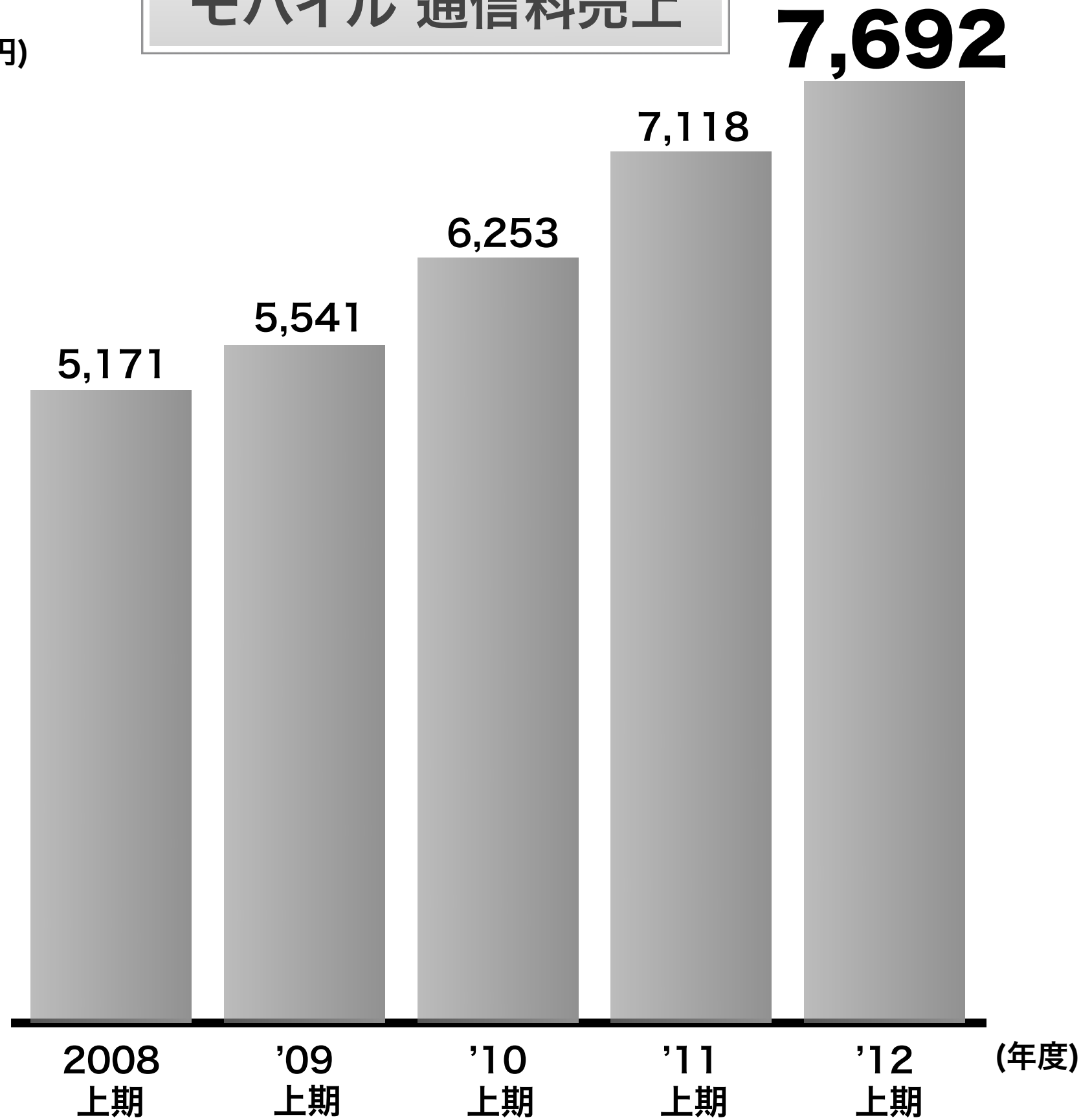


4,480円^{※1}
4,370円 = SoftBank
 4,240円^{※2}

※通信モジュールを除く。各社の開示資料を基に当社作成。
 ※1 ドコモの2012年度Q2は、音声ARPUとパケットARPUの合計。スマートARPUを含まず。
 ※2 auの2012年度は、パーソナルセグメントの通信ARPU。

モバイル 通信料売上

(億円)



順調に増加 8%増収

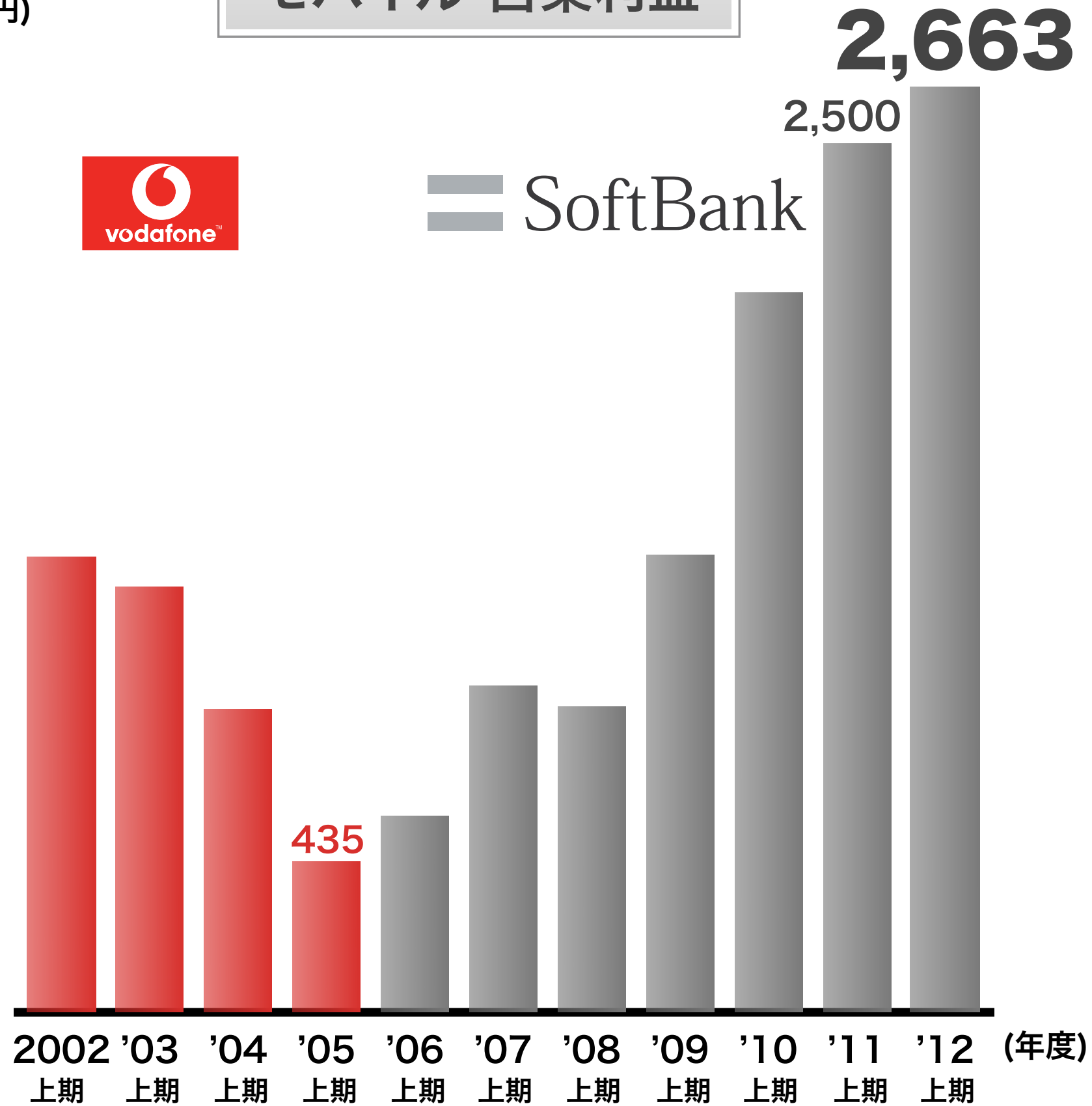


(億円)

モバイル 営業利益



SoftBank



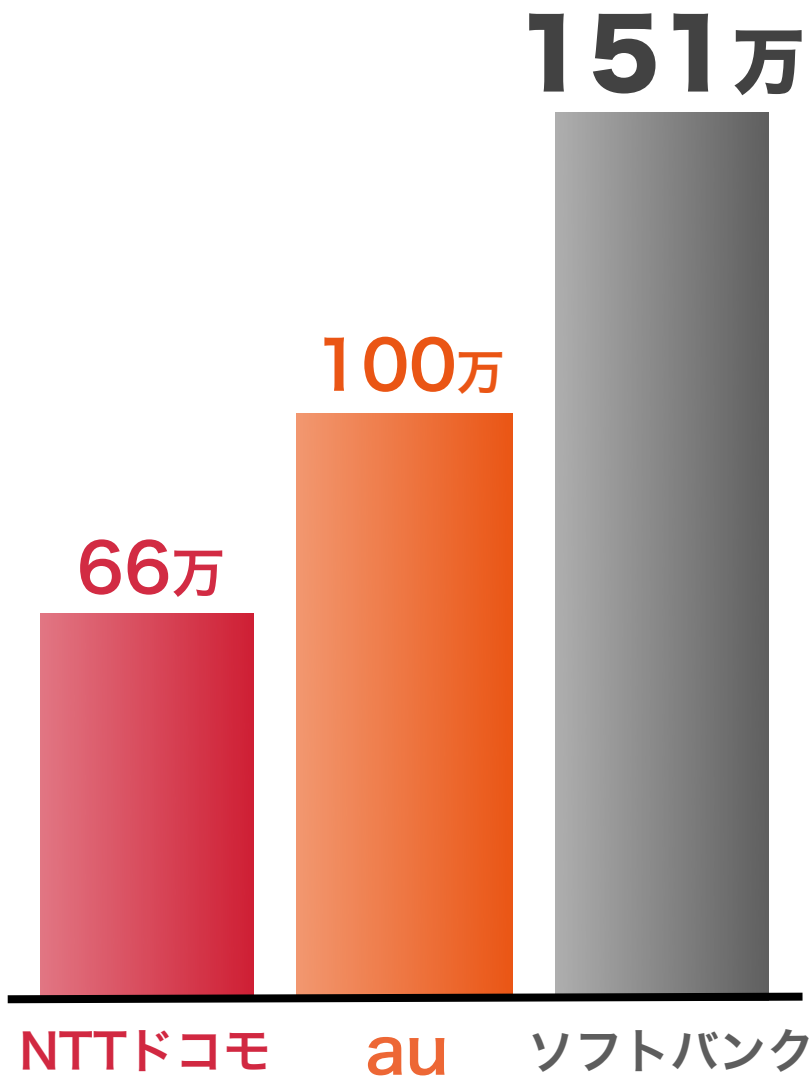
買収後 6倍



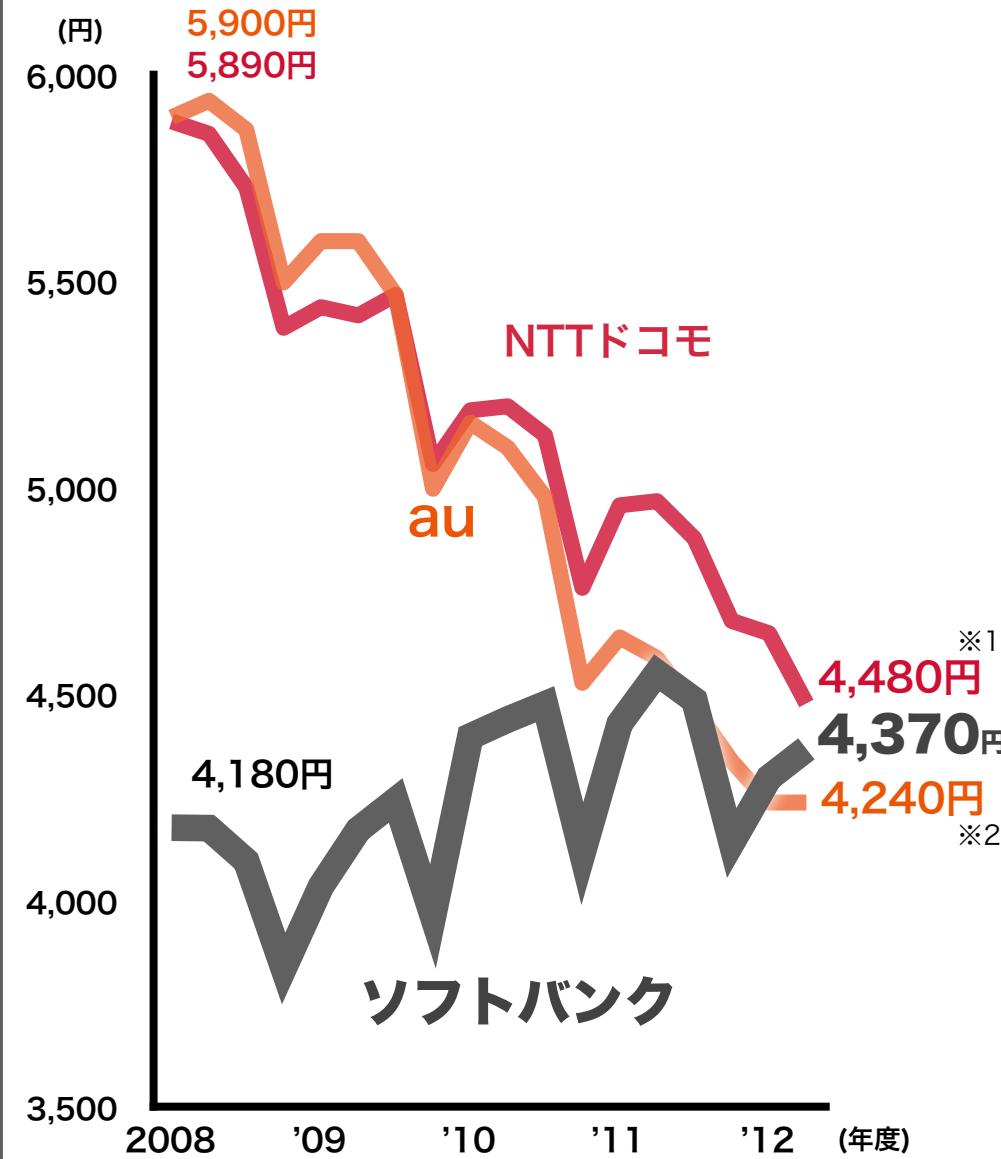
$$\text{売上} = \text{契約数} \times \text{ARPU}$$

ソフトバンクが圧勝

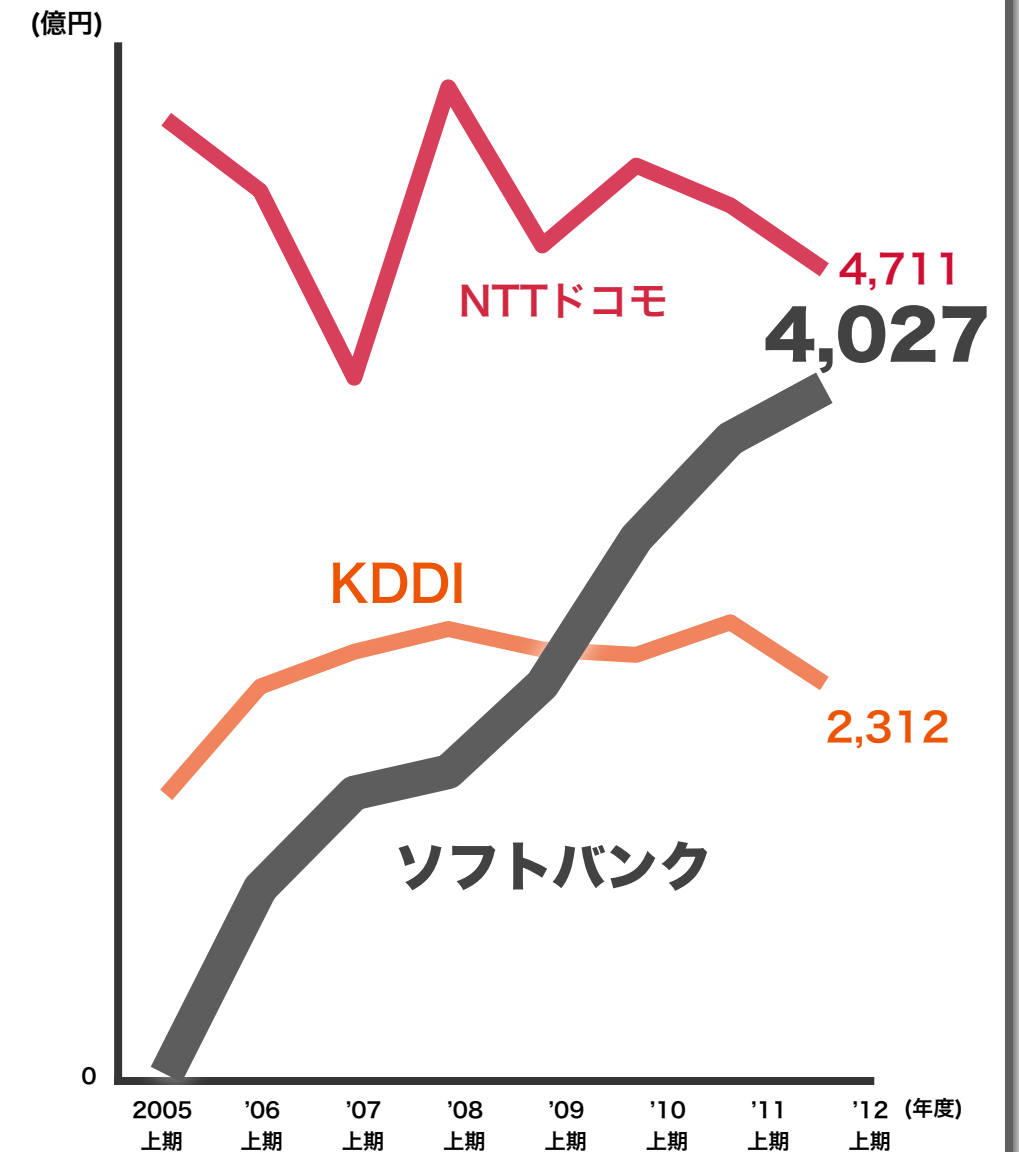
純増数



ARPU



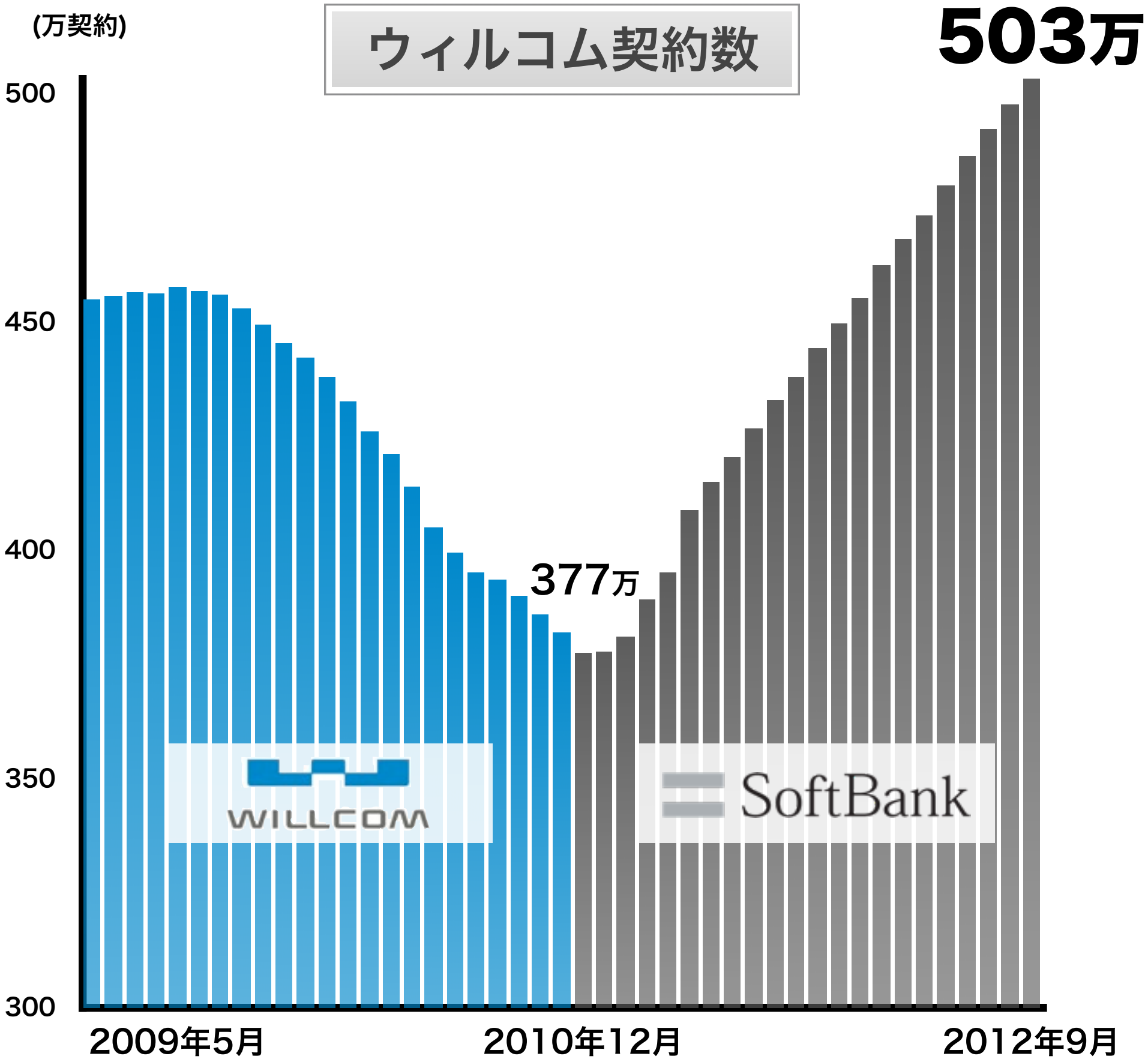
営業利益



※純増数は2012年度上期実績

※ARPUは通信モジュールを除く。各社の開示資料を基に当社作成。
 ※1 ドコモの2012年度Q2は、音声ARPUとパケットARPUの合計。スマートARPUを含まず。
 ※2 auの2012年度は、パーソナルセグメントの通信ARPU。

ちなみに...



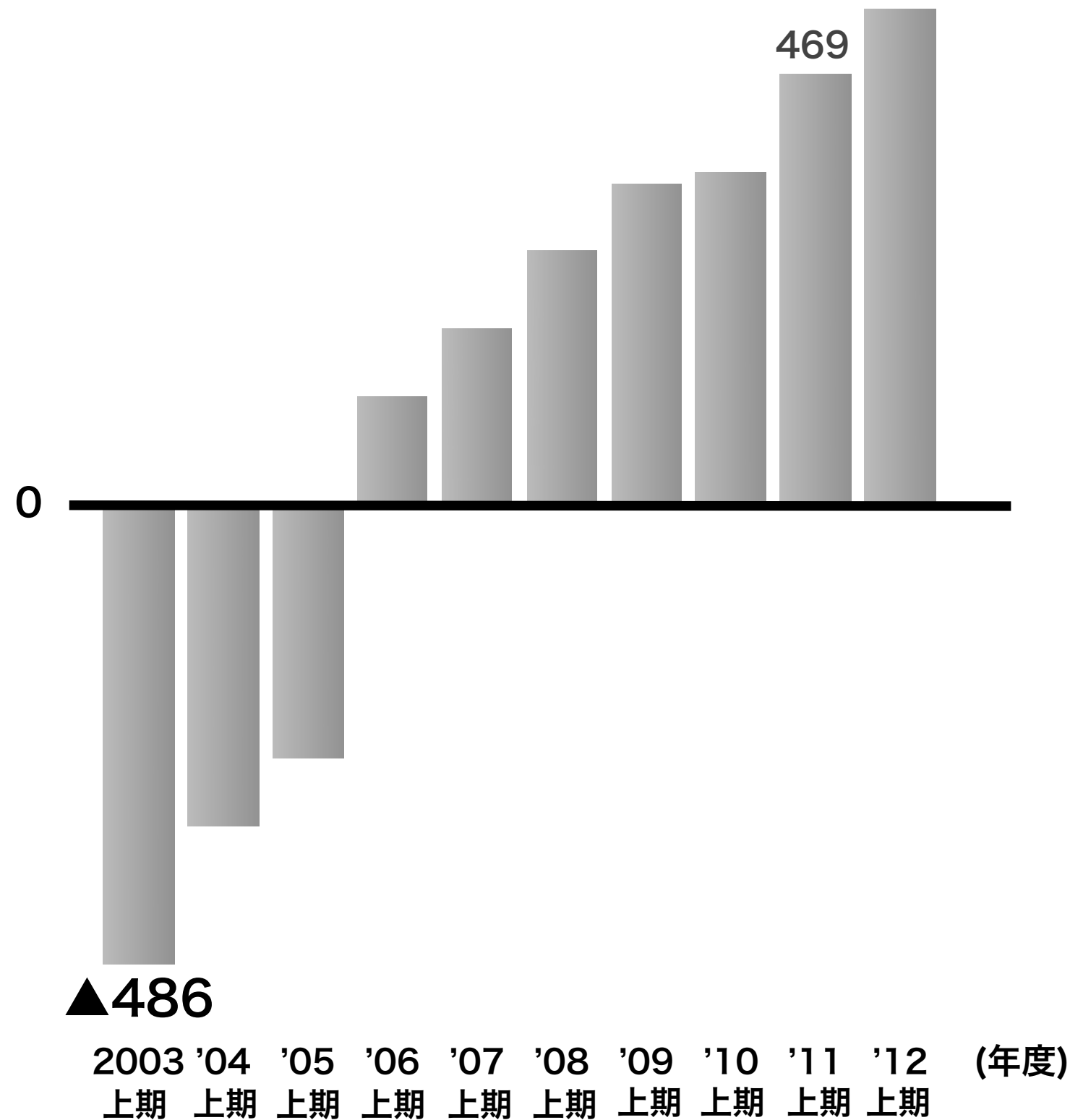
過去最高



(億円)

固定通信 営業利益

541



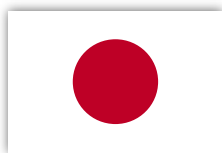
高収益化



※BBインフラ事業を含む

固定通信 営業利益 増減率 (2012年度上期)

ソフトバンク



15.4%

British Telecom



6.2%
(12/Q1)

AT&T



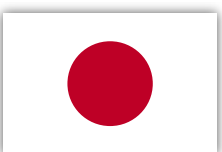
2.3%

BCE



-4.7%

NTT

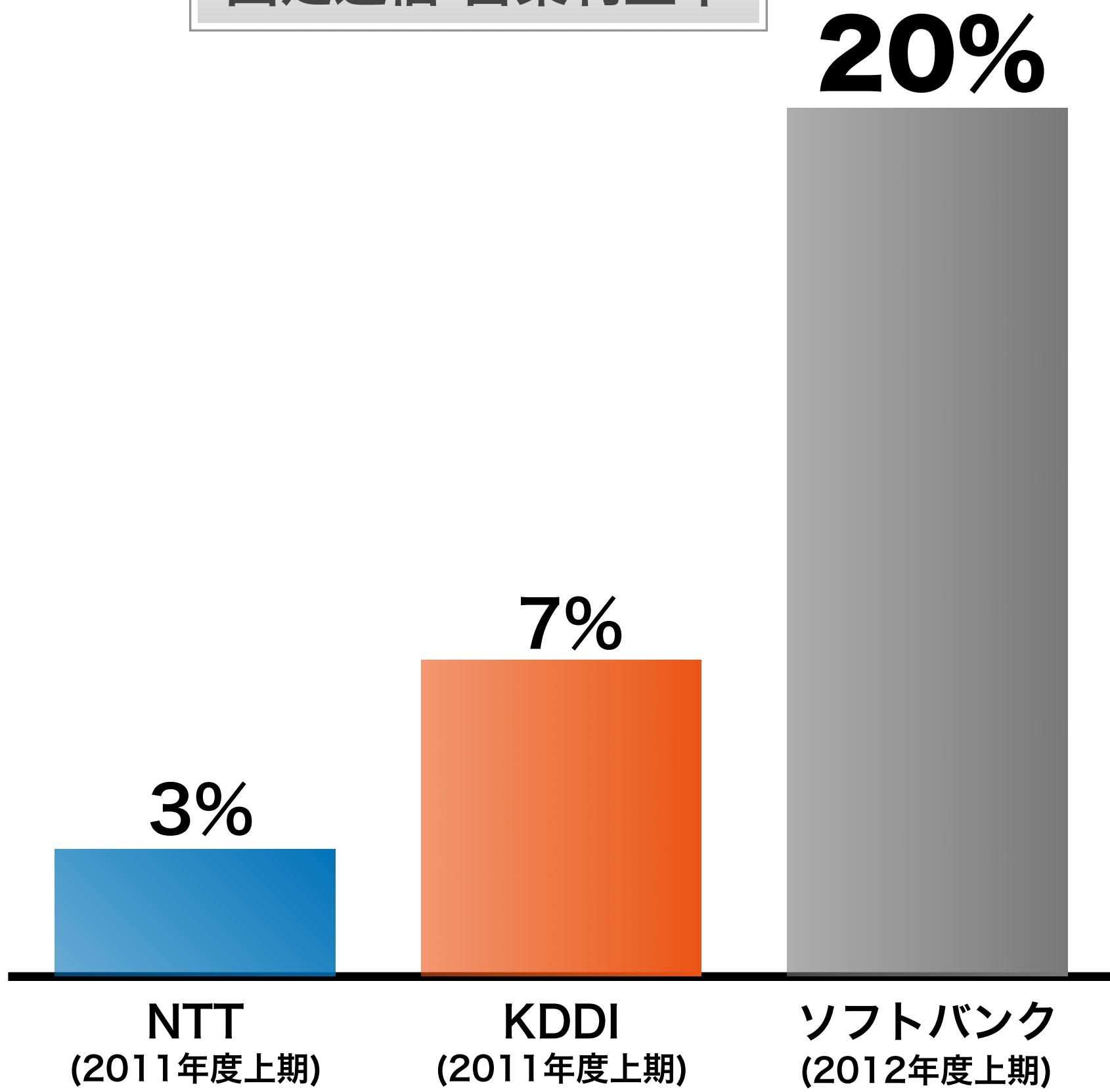


-15.3%
(12/Q1)

世界No.1

※当社はBBインフラ事業を含む。AT&TとBCEはWirelineセグメント。
NTTは地域通信セグメント。
※各社開示資料より当社作成

固定通信 営業利益率



利益率No.1



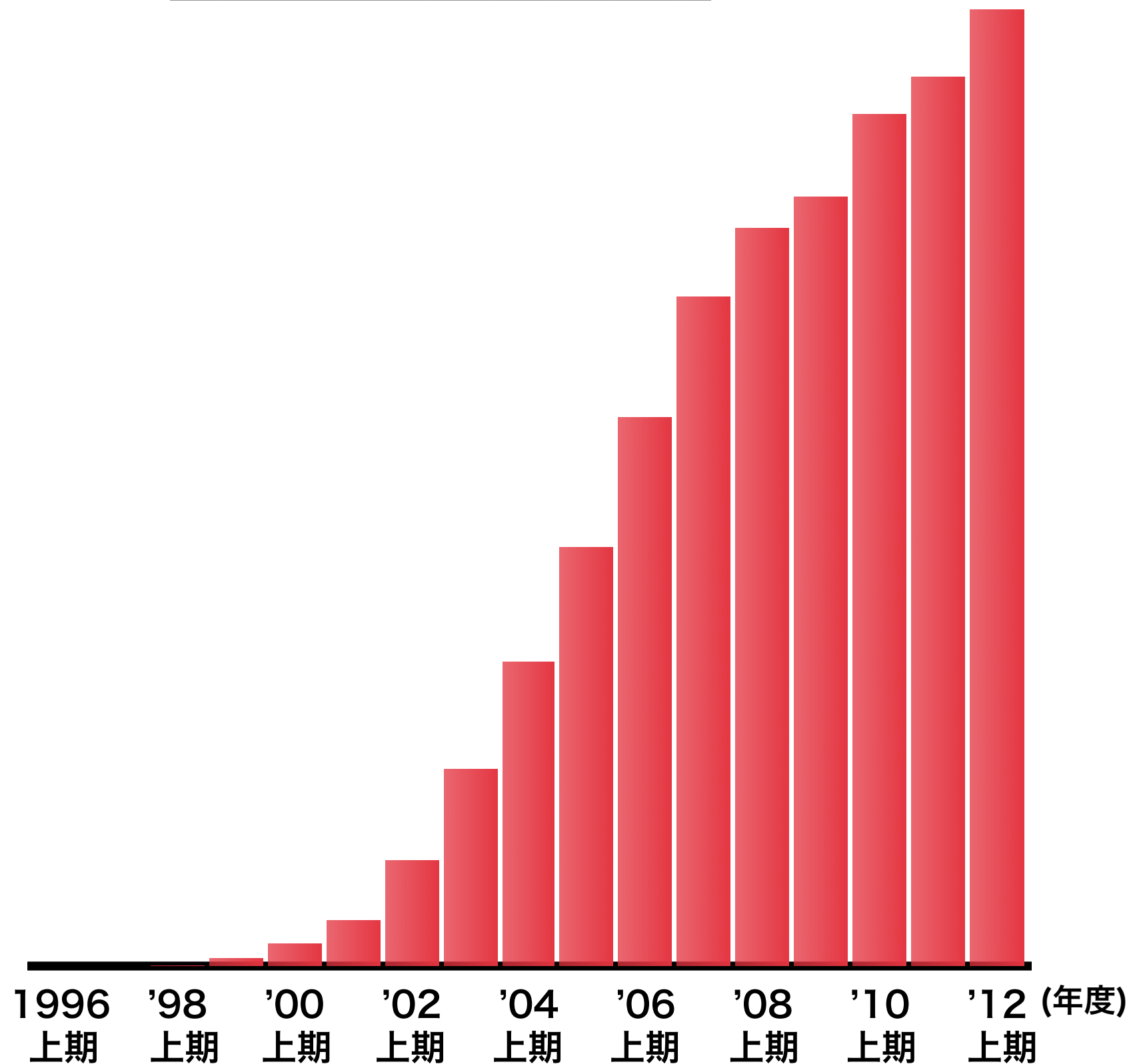
※当社はBBインフラ事業を含む。NTTは地域通信事業セグメント
KDDIは固定通信事業セグメント
※各社開示資料より当社作成

(億円)

ヤフー 営業利益

854

17期連続
最高益を更新



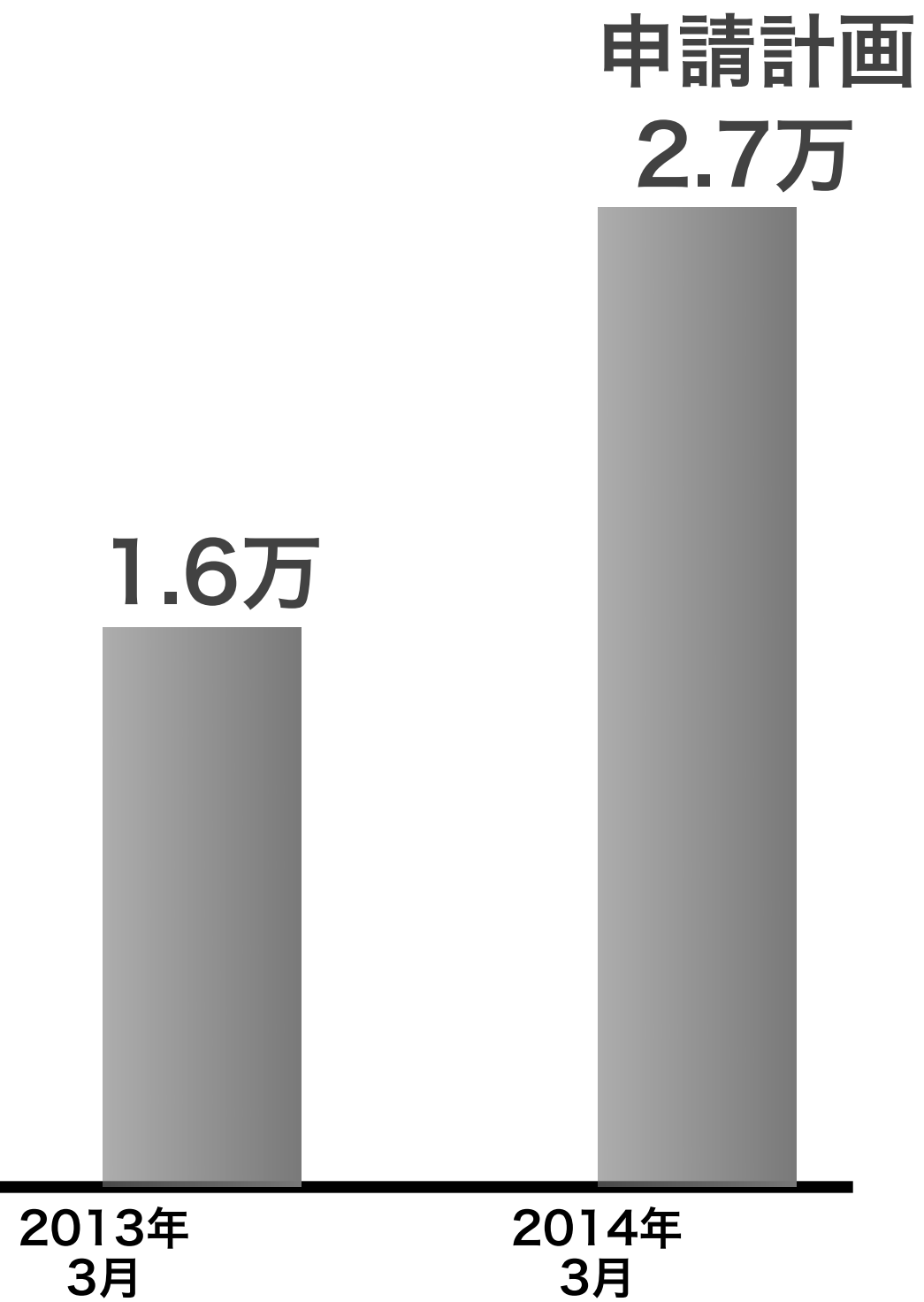


**Sprint買収のために
電波改善を後回しに
しないですか？**

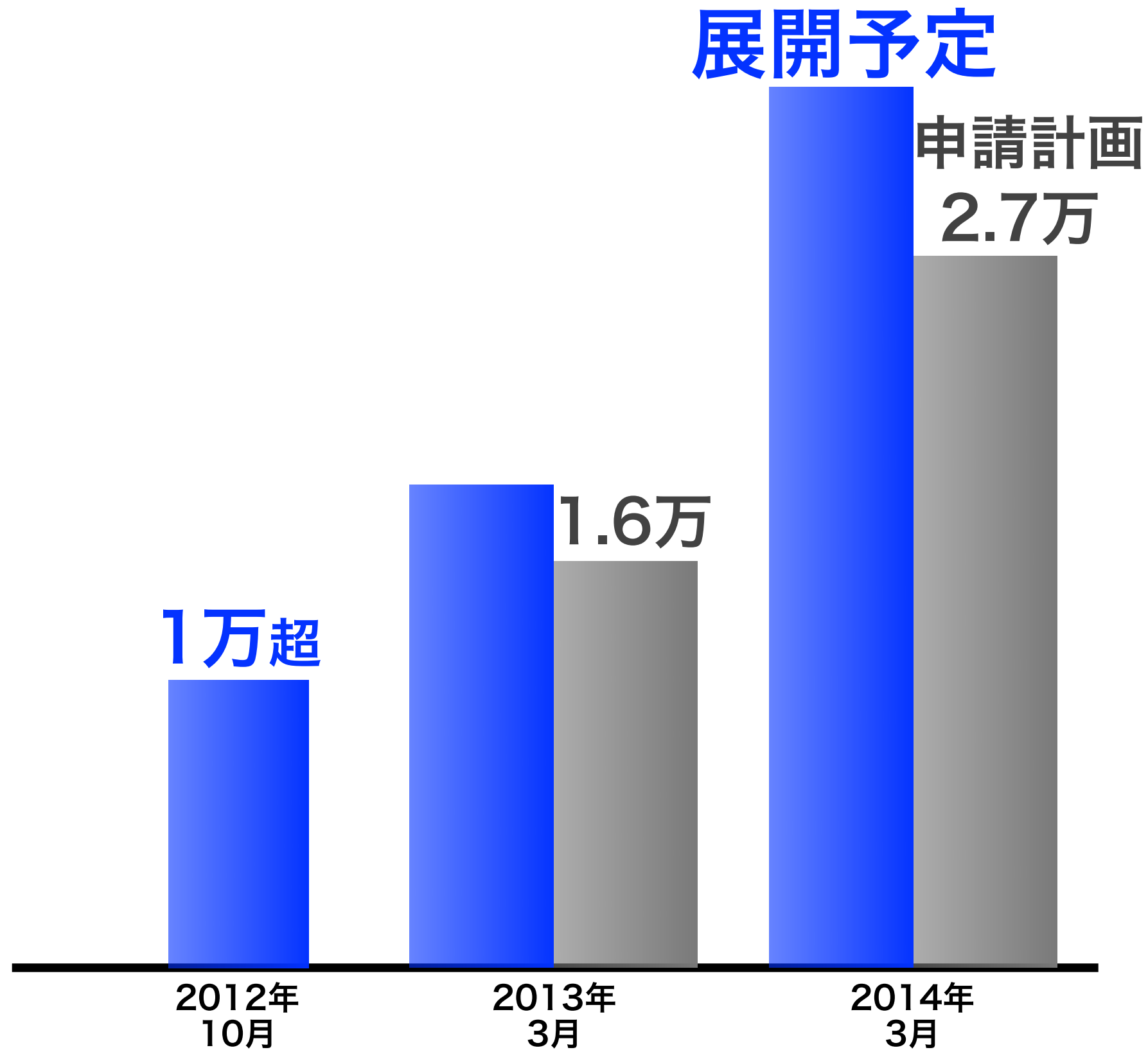
ご安心ください。

ネットワーク改善の進捗

プラチナバンド基地局数



プラチナバンド基地局数

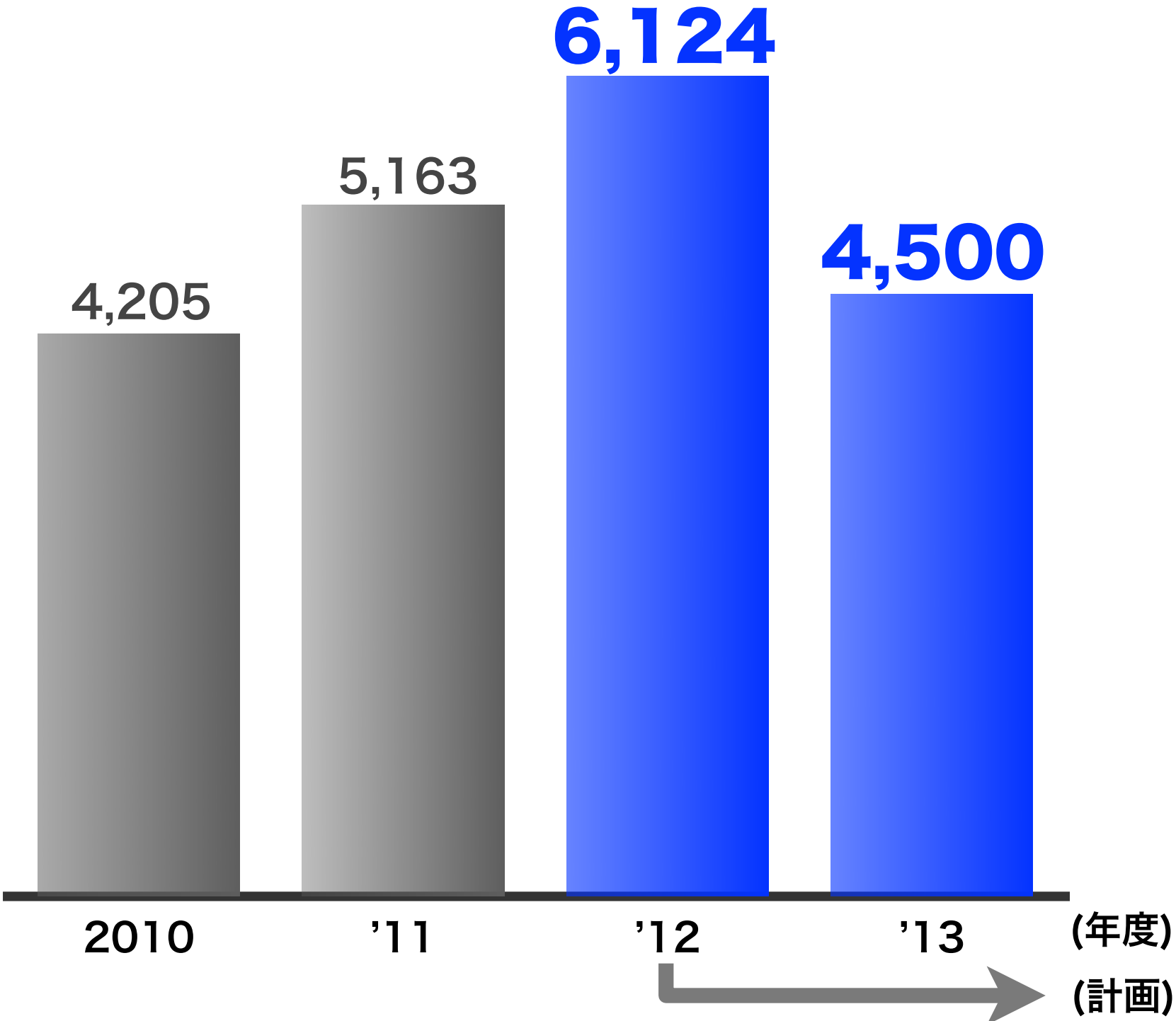


前倒しで 展開中



連結設備投資 (従来)

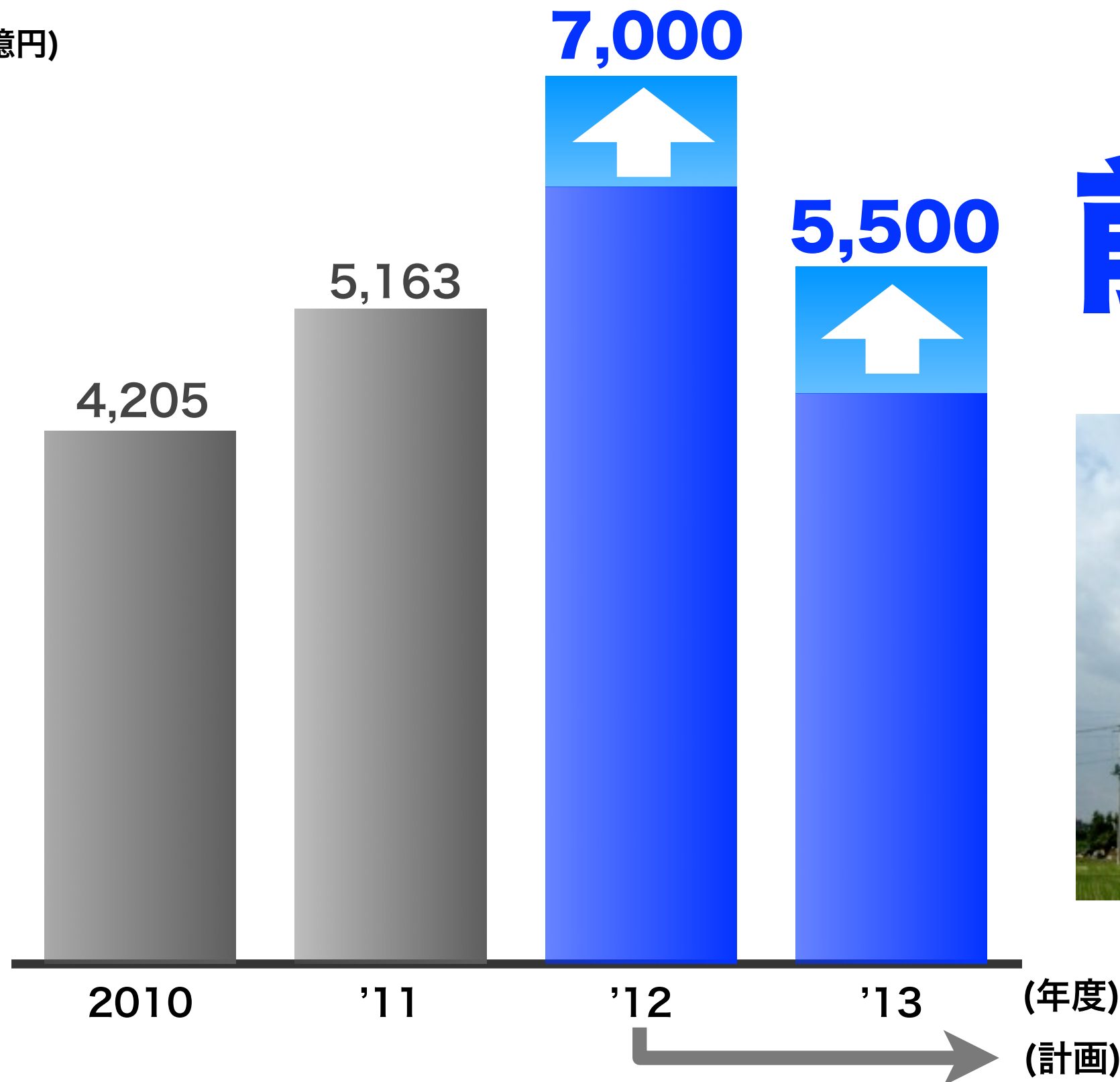
(億円)



※2012年度はヤフードーム関連(876億円)を除く

連結設備投資 (新計画)

(億円)



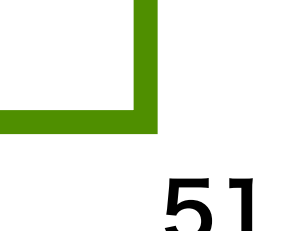
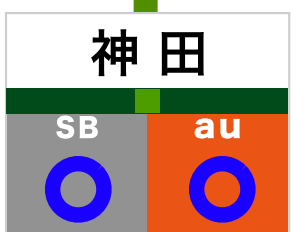
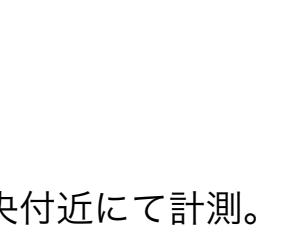
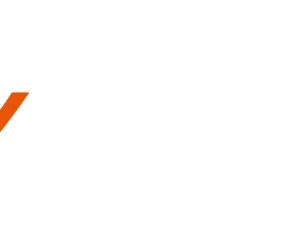
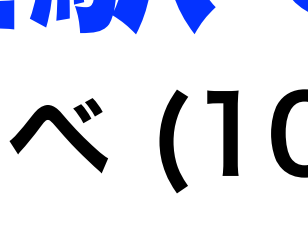
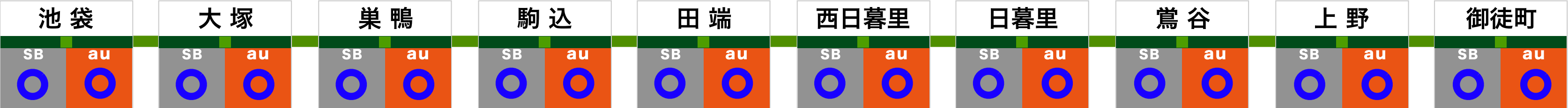
工事が 前倒しで進展



※2012年度はヤフードーム関連(876億円)を除く

LTE展開の進捗

**ソフトバンクの
LTEカバーの広さは？**



山手線全駅でLTE接続可

当社調べ (10月31日時点)

SoftBank

au

29 駅

29 駅

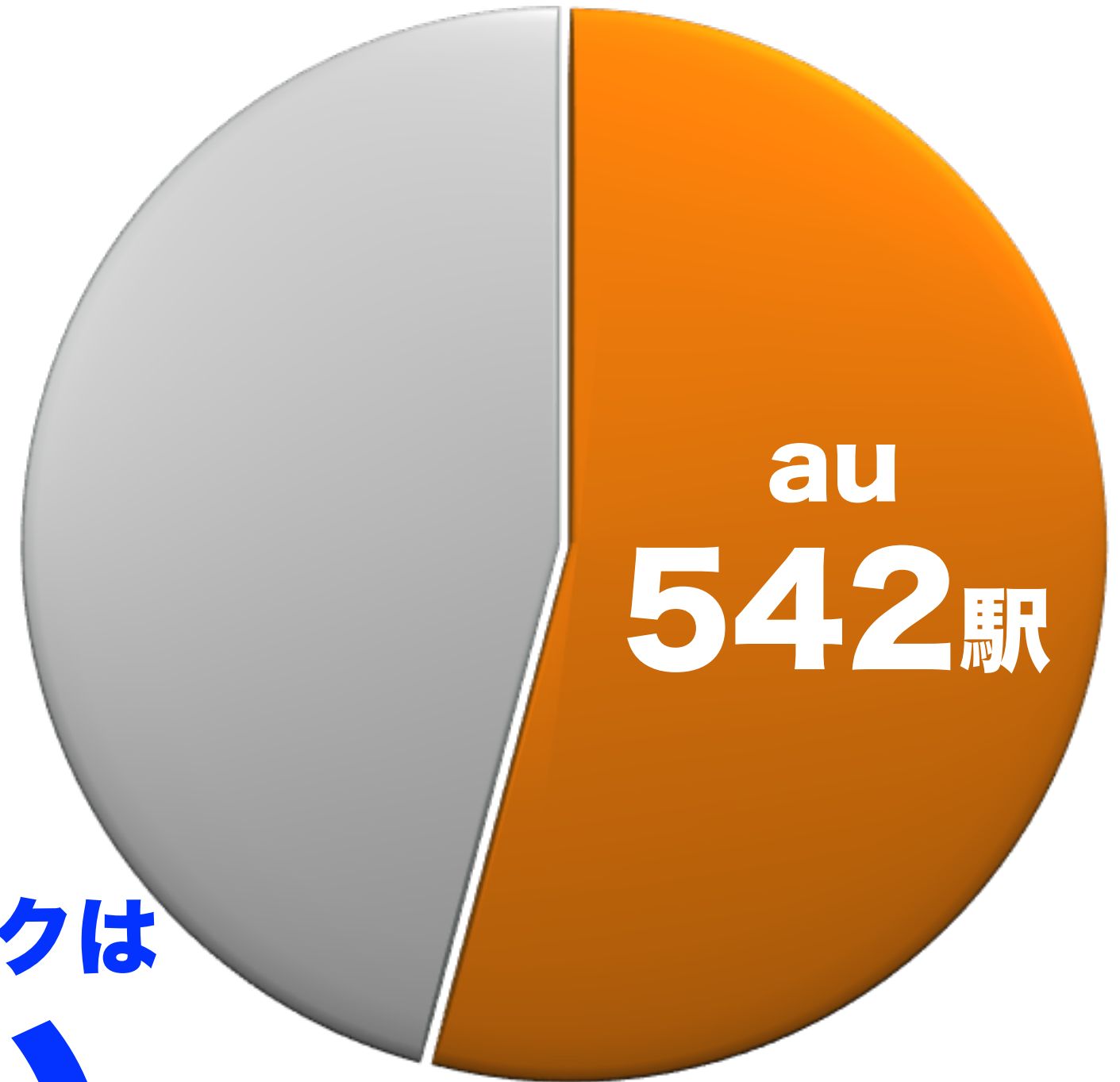
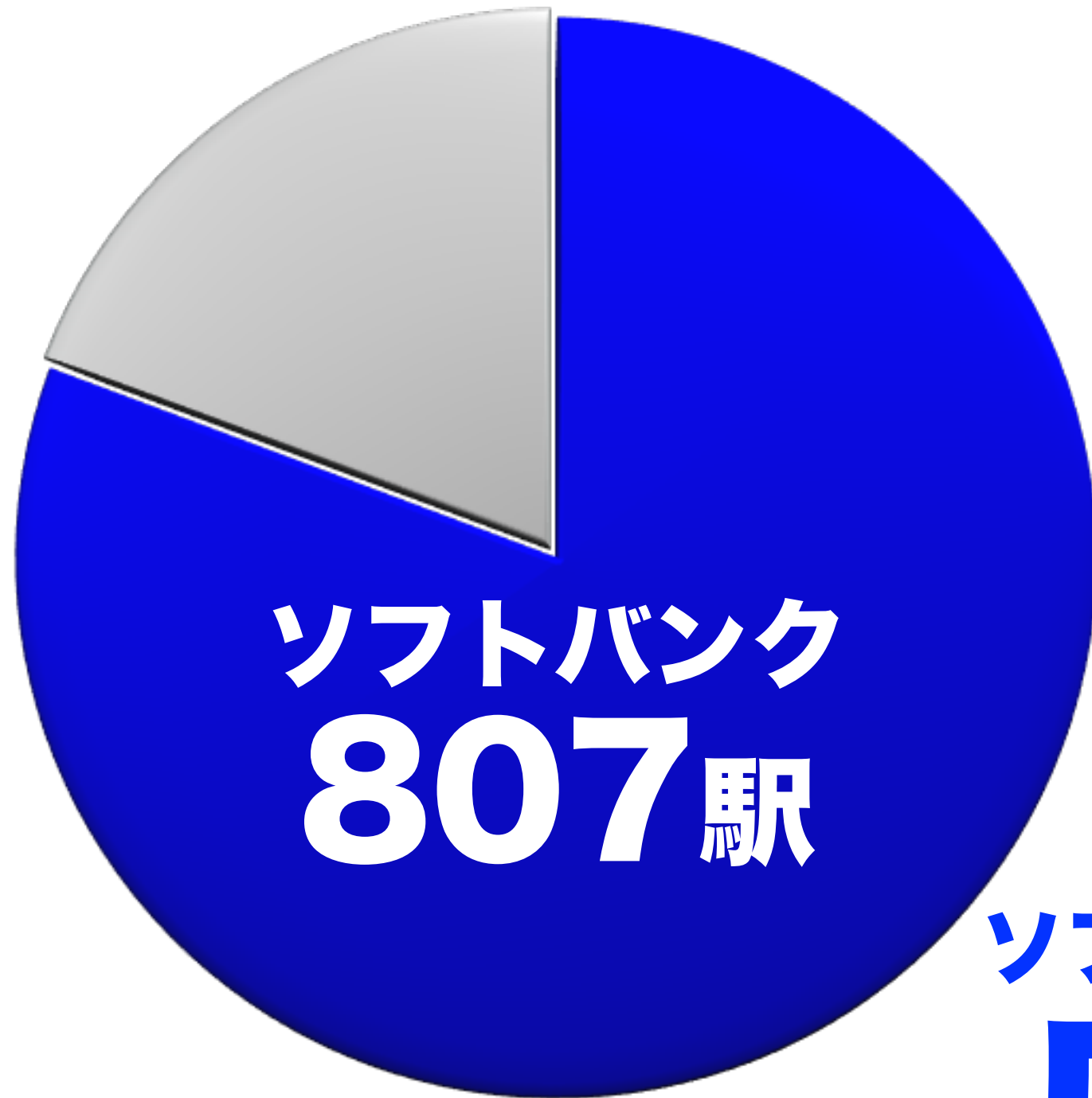
※調査方法: 各駅のホーム中央付近にて計測。

JR 乗降客数トップ1,000駅調査

新宿
池袋
大阪
渋谷
横浜
北千住
名古屋
東京
品川
高田馬場
新橋
天王寺
秋葉原
上野
大宮
三ノ宮
京都
浜松町
川崎
有楽町

町田	小田原	森ノ宮	十条	黒崎	成瀬	香椎	西浦和	大町	蒲郡	上中里	竹下	九州工大前	新富士	鶴見小野	尾頭橋	総社	内野	平和	津幡
飯田橋	大森	小倉	港南台	伊丹	浮間舟渡	南与野	新習志野	佐倉	小樽	青梅	いわき	佐世保	園部	太秦	清洲	西大寺	新田	舞阪	西金沢
御茶ノ水	三鷹	明石	西九条	宮原	本郷台	勝川	呉	安城	北鎌倉	下曾根	新白岡	郡山	笹原	福知山	中津川	並河	高島	新居町	安土
京橋	王子	弁天町	掛川	玉造	南船橋	牛久	大府	本庄	穂積	新山口	宮内串戸	海老津	下館	森林公園	城陽	海南	東三条	垂井	北長瀬
船橋	赤羽	西川口	住道	舞子	幕張	西大路	八幡宿	東岸和田	富士	宿河原	南小倉	比叡山坂本	須磨海浜公園	袖ヶ浦	玉名	番田	新白河	新広	広丘
五反田	代々木	稲毛	幕張本郷	和歌山	吉川	和泉府中	鴨宮	徳庵	星田	宿河原	門司港	高知	九大学研都市	越中島	長者原	安芸中野	矢幅	太子堂	長与
吉祥寺	神戸	北浦和	南柏	摂津本山	八王子みなみ野	放出	久宝寺	宝殿	本千葉	徳山	芦原橋	長浜	東海	J R河内永和	新琴似	妹尾	鴨方	唐津	喜々津
蒲田	八丁堀	新長田	保土ヶ谷	灘	磯子	籠原	吉塚	向日町	行橋	笠寺	津田	東寝屋川	安倍川	笠岡	大河原	白石	和邇	出雲市	土崎
鶴橋	分倍河原	鎌倉	豊田	南草津	四条畷	松本	高松	深谷	東飯能	松山	南多摩	千鳥	高井田	発寒	高萩	豊田町	金谷川	今治	拓北
柏	浅草橋	高円寺	武蔵中原	沼津	鎌取	三郷	鳴野	栗東	法隆寺	能登川	嵯峨嵐山	北伊丹	上諏訪	石巻	下松	蟹江	下山門	安芸長束	結城
藤沢	八王子	高井	武蔵新城	天王台	焼津	岸辺	指扇	焼津	大和小泉	東中神	横須賀	基山	湖北	富木	佐和	本塩釜	軽井沢	畠田	北山
大井町	関内	中山	我孫子	四街道	新日本橋	新三田	岩沼	潮見	八幡	東中神	西焼津	新下関	大阪城北詰	自治医大	雀宮	和泉橋本	坂	篠原	隼人
西船橋	川口	岐阜	西八王子	稲毛海岸	奈良	東所沢	戸畑	甲南山手	二日市	八本松	新前橋	八本松	広	信太山	瀨野	成東	水巻	倉吉	亶理
恵比寿	浦和	稲田堤	蘇我	加古川	東船橋	二宮	安治川口	名取	忍ヶ丘	松永	周船寺	松永	中野栄	庭瀬	木津	安芸阿賀	小宮	小樽築港	亀崎
西日暮里	鶴見	辻堂	東大宮	吹田	大津	成田	熊本	米原	北与野	鶴ヶ丘	石岡	亀田	牛浜	中津	水前寺	加茂	片浜	篠路	岩波
目黒	武蔵境	新八柱	平井	洋光台	桃谷	熱海	草薙	三河島	鳥栖	亀田	恵庭	島田	菊川	新町	足利	米沢	苦竹	柳井	四日市
武蔵溝ノ口	桜木町	武蔵浦和	西明石	東松戸	栗橋	平間	日立	相原	北広島	篠栗	島田	篠栗	幸田	百舌鳥	花巻	手原	鶴崎	宝積寺	福崎
武蔵小杉	新小岩	拝島	南千住	千葉みなと	北赤羽	中野島	野崎	中神	東淀川	陸前高砂	ひたち野うしく	陸前高砂	原田	松田	唐崎	上野幌	宝積寺	福崎	竜王
大崎	広島	茨木	東神奈川	横川	横川	須磨	葛西臨海公園	南福岡	網干	弁天橋	六日町	弁天橋	曽根	福田町	函館	新木	上野幌	福崎	安曇川
札幌	亀戸	高尾	水戸	鹿島田	鹿島田	羽村	勝田	福井	中山寺	東静岡	野木	東秋留	児島	苫小牧	波多江	笠幡	福崎	福崎	安曇川
新大阪	舞浜	阿佐ヶ谷	高崎	蓮田	小作	清水	日進	神領	福岡	行田	土岐市	八戸	弘前	東福山	河瀬	八代	高塚	高塚	安曇川
市ヶ谷	朝霧	田端	板橋	北松戸	府中本町	西大井	長町	西宮名塩	共和	北八王子	市川塩浜	廿日市	今宮	羽犬塚	武蔵高萩	新川	金山	黒磯	安曇川
博多	静岡	尾張一宮	天満	古淵	盛岡	土山	堺市	吹上	共和	三原	宮城野原	旭川	犀潟	遠賀川	スペースワールド	槻木	中間	黒磯	安曇川
国分寺	小岩	豊橋	芦屋	あおぼ通	郡山	柏原	茂原	向洋	上野芝	寒川	上溝	阿品	米子	津田山	吉原	新家	甲西	黒磯	安曇川
立川	駒込	浜松	戸田公園	兵庫	桜ノ宮	手稲	大阪城公園	伊東	南古谷	黄檗	赤塚	御殿場	小松	江別	六合	越後湯沢	甲西	黒磯	安曇川
日暮里	元町	新大久保	東小金井	鹿兒島中央	山手	多治見	尻手	谷保	徳島	黄檗	西小倉	南彦根	小野	津田山	南大高	氏家	武生	黒磯	安曇川
四ツ谷	綾瀬	福島	相模原	鹿兒島中央	山手	多治見	尻手	小机	鷹取	円町	西国立	丹波口	木曾川	江別	南大高	会津若松	武生	黒磯	安曇川
松戸	高槻	東川口	石山	十日市場	大口	守山	秋田	小机	鷹取	円町	西国立	丹波口	木曾川	花岡	谷山	大村	高田	黒磯	安曇川
田町	久喜	西荻窪	草津	新子安	瀬田	甲府	平野	西国立	北鴻巣	諫早	上野原	佐野	一ノ関	塩尻	十王	熱田	浅香	黒磯	安曇川
中野	上尾	桶川	草津	新子安	塚本	北上尾	河内磐船	篠ノ井	磐田	西府	上野原	稲積公園	間々田	あいの里教育大	可部	近江今津	南宮崎	黒磯	安曇川
登戸	市川	垂水	信濃町	大垣	六地藏	与野本町	藤枝	亀岡	稲沢	長浦	同志社前	美章園	防府	恵み野	茶屋町	西阿知	南宮崎	黒磯	安曇川
戸塚	蕨	三國ヶ丘	日野	岡崎	土浦	千歳	下関	加美	宇治	白石	小鶴新田	香川	岩切	友部	小林	北茅ヶ崎	巻	黒磯	安曇川
新木場	東戸塚	逗子	新川崎	摂津富田	船橋法典	土気	新小平	大甕	堅田	稲城長沼	貴生川	大高	紀伊	西那須野	酒々井	原	小針	黒磯	安曇川
錦糸町	姫路	さいたま新都心	立花	千駄ヶ谷	新座	越谷レイクタウン	市川大野	天神川	塩屋	鳥取	宮崎	武蔵五日市	物井	渋川	東仙台	朽網	桂川	黒磯	安曇川
津田沼	大曾根	亀有	大正	北柏	関西空港	古河	東鷲宮	西条	日根野	京田辺	東逗子	馬堀	新津	発寒中央	塩釜	天竜川	はりま勝原	羽鳥	安曇川
御徒町	南浦和	淵野辺	西国分寺	北本	野田	野洲	矢部	海田市	尾久	国府津	神立	大竹	英賀保	陸前原ノ町	敦賀	二川	岩手飯岡	羽鳥	安曇川
千葉	岡山	尼崎	東浦和	長岡京	倉敷	五日市	赤間	新千歳空港	九産大前	西立川	南橋本	那須塩原	篠山口	陸前落合	宮島	安部山公園	高崎問屋町	岩手飯岡	安曇川
神田	金町	鴨居	馬橋	西宮	膳所	膳所	彦根	福工大前	大野城	星置	箱崎	相生	武蔵引田	国見	厚別	陣原	備中高梁	高崎問屋町	安曇川
原宿	武蔵小金井	目白	昭島	川西池田	福生	福生	御幣島	向河原	大麻	松井山手	袋井	岩見沢	相野	下馬	小木津	陣原	備中高梁	高崎問屋町	安曇川
巢鴨	茅ヶ崎	三島	高蔵寺	金沢	新三郷	新三郷	千早	河原	藤代	野幌	白山	春日	箱根ヶ崎	安食	中野東	陣原	備中高梁	高崎問屋町	安曇川
新今宮	宝塚	刈谷	都賀	桑名	佐貫	佐貫	琴似	河辺	伊勢崎	別府	坂出	高麗川	桐生	久里浜	上熊本	浦上	肥後大津	高崎問屋町	安曇川
荻窪	新浦安	取手	北小金	鴻巣	ユニバーサルシティ	佐賀	宮島口	佐賀	古賀	おごと温泉	豊川	西大宮	小金井	久里浜	浦上	和臼	愛野	高崎問屋町	安曇川
長津田	新杉田	新潟	三田	五井	戸田	八尾	大網	八尾	大磯	八街	東刈谷	瑞浪	下祇園	豊栄	和臼	和臼	愛野	高崎問屋町	安曇川
新横浜	山科	熊谷	与野	二条	北戸田	長崎	長岡	魚住	高岡	北信太	大月	松江	播州赤穂	苗穂	鷲津	岐阜羽鳥	富土宮	高崎問屋町	安曇川
菊名	千種	新松戸	六甲道	大分	鳳	東加古川	魚住	姉ヶ崎	門司	東郷	片倉	直方	六十谷	相模湖	恵那	美濃太田	三郷	高崎問屋町	安曇川
仙台	国立	鶴舞	西千葉	近江八幡	富山	JR難波	姉ヶ崎	熊取	加島	さくら夙川	今宿	古川	丸亀	海芝浦	春田	大門	和泉鳥取	石狩当別	安曇川
水道橋	大塚	王寺	大久保	福山	寺田町	白岡	熊取	新井口	桜島	湯河原	我孫子町	南田辺	東金	北上	幡生	直江津	長府	石狩当別	安曇川
本八幡	海浜幕張	石川町	下総中山	千里丘	検見川浜	久地	新井口	山形	新守山	岩国	和泉砂川	東金	新飯塚	愛子	岡部	直江津	長府	石狩当別	安曇川
大船	両国	福島	鷺谷	甲子園口	矢向	北府中	山形	山形	秋川	岩国	西高屋	新飯塚	新発田	茅野	枝光	神保原	内原	石狩当別	安曇川
橋本	東中野	宇都宮	新検見川	折尾	春日井	土呂	志紀	猪名寺	矢川	浜野	三河安城	城野	布佐	新所原	的場	J R藤森	J R後徳道	須賀川	安曇川

(JR 乗降客数トップ1,000駅)



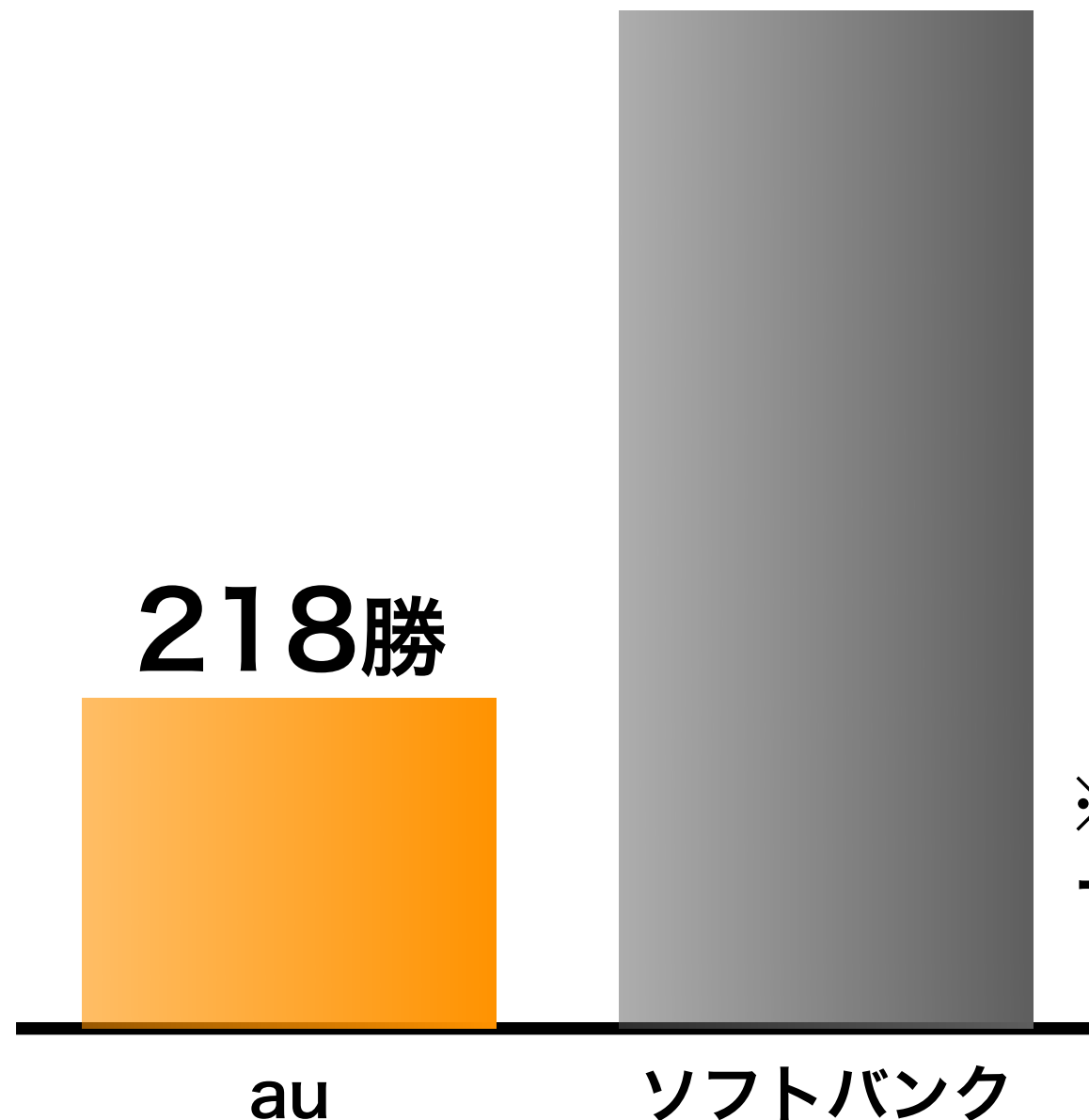
ソフトバンクは
広い

※調査方法: 各駅で降車し、ホーム中央付近にて計測。
※当社調べ(2012年10月25日~30日)。

(JR 乗降客数トップ1,000駅)

674勝

ソフトバンクは
速い



※引き分け
108カ所を除く

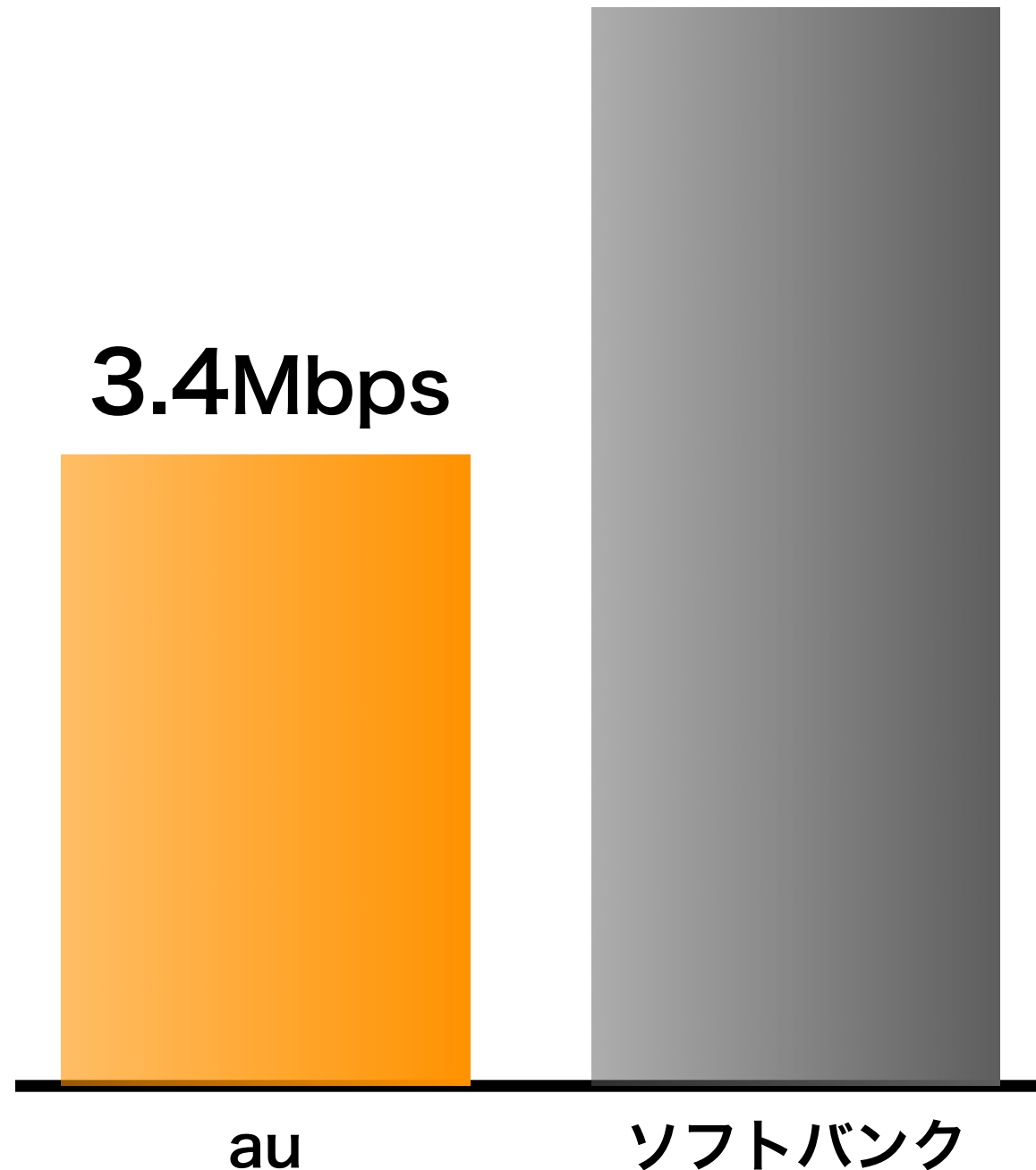


※当社調べ(2012年10月25日~30日)。
※調査方法: 各駅で降車し、ホーム中央付近にて計測。
下り速度測定(3回)の平均値で比較。差が500kbps以内の場合は引き分けと判定。
LTE接続できない場合、3G速度で比較。

iPhone 5 LTE平均速度(下り)

(JR 乗降客数トップ1,000駅)

5.8Mbps



ソフトバンクは
速い



※当社調べ(2012年10月25日~30日)。
※調査方法: 各駅で降車し、ホーム中央付近にて計測。
下り速度測定(3回)の平均値で比較。LTE接続できない場合、3G速度で比較。

iPhone 5 LTE対応 周波数帯

＝ SoftBank + 

au

2.1
GHz

1.7
GHz

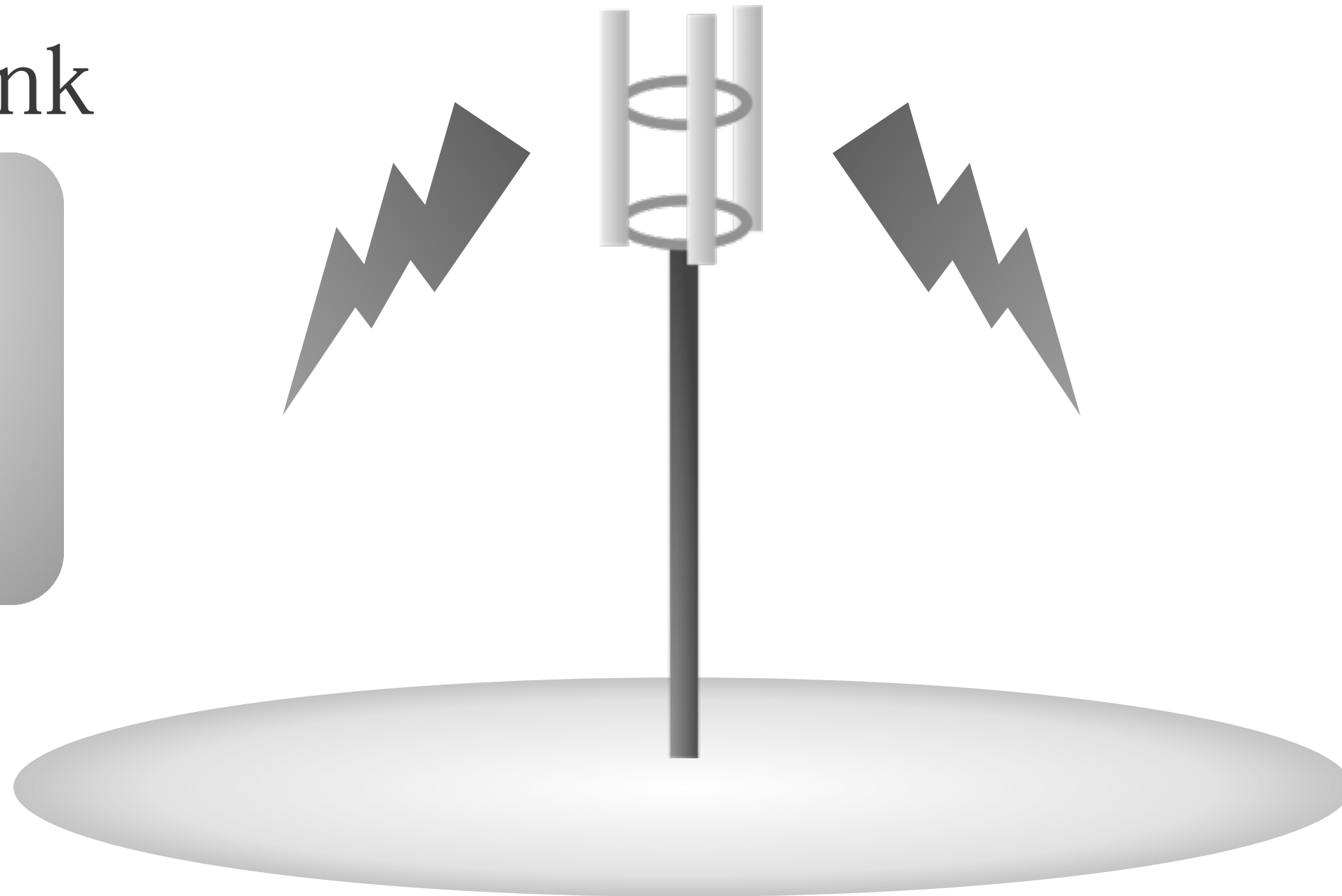
2.1
GHz

さらなるLTE強化へ

iPhone 5 対応LTE

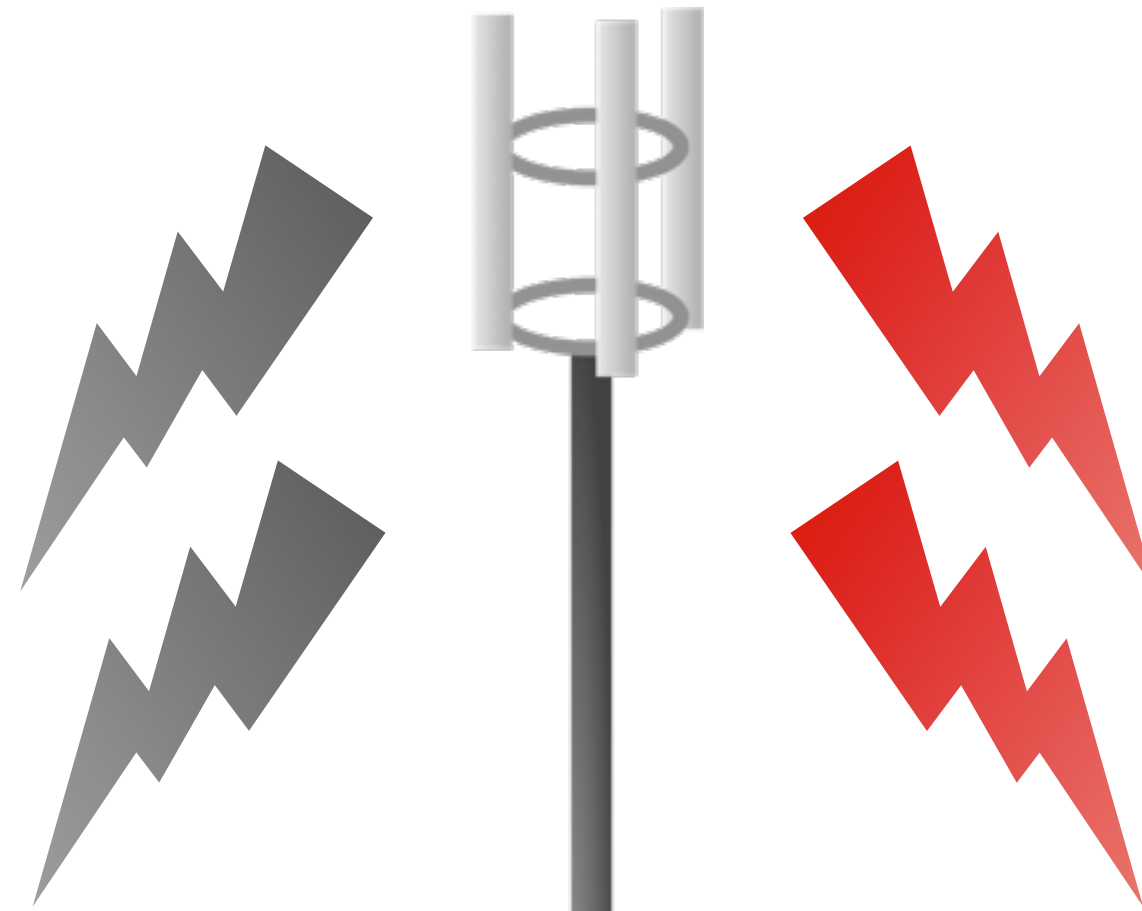
SoftBank

2.1
GHz



iPhone 5 対応LTE

SoftBank



LTEをより快適に

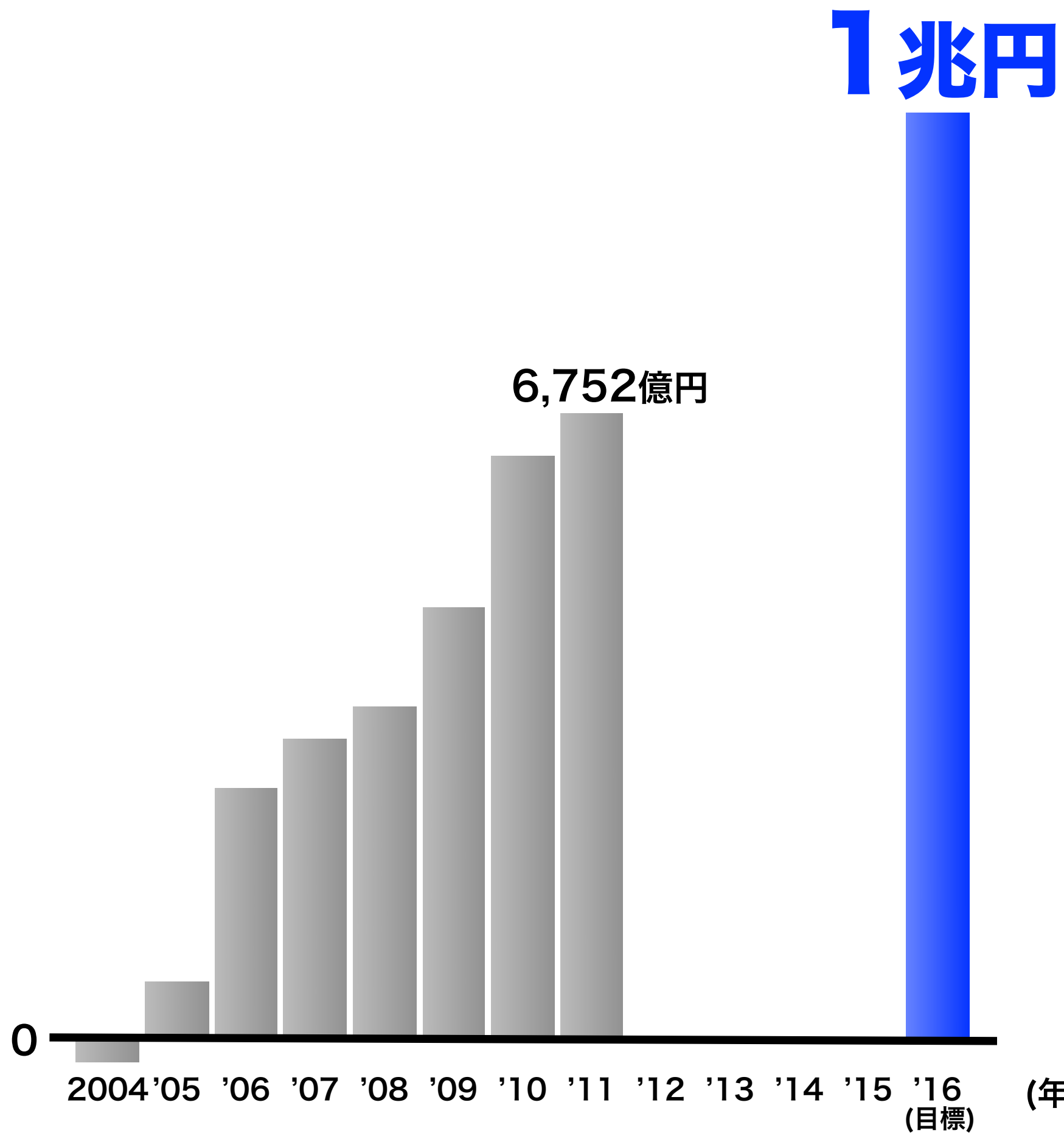
連結業績の見通し

2012年度 目標

連結営業利益(国内)

7,000億円を確実に上回り

増収増益を継続



連結営業利益

2016年度

国内1兆円へ



さらなる成長へ

ソフトバンクの対象市場



ソフトバンクの対象市場

Alibaba.com
阿里巴巴

renren

淘宝网

BSB

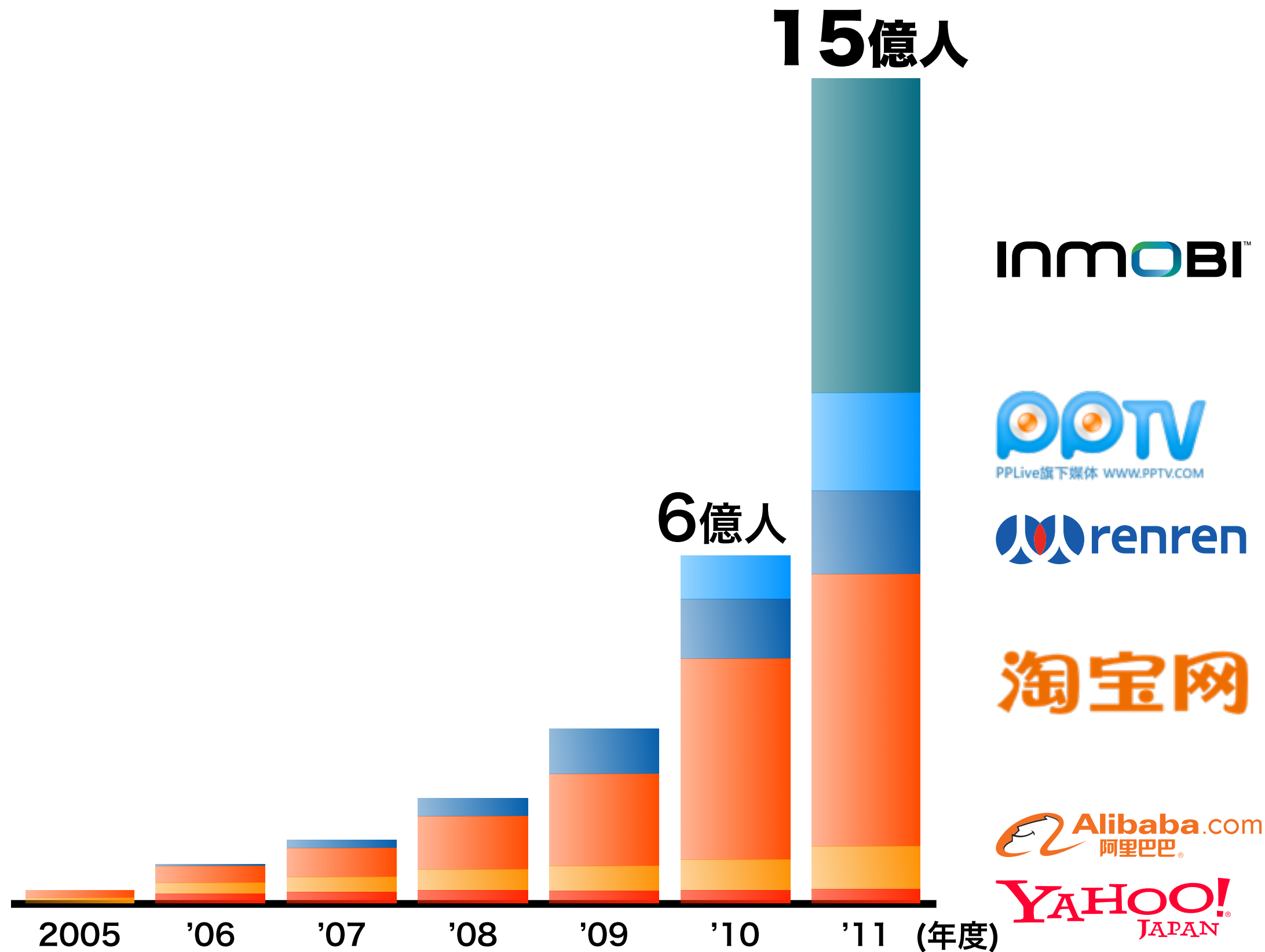
inMOBI™

SoftBank

YAHOO!
JAPAN

日本から
アジアへ

ソフトバンクグループ ユーザ数



圧倒的な 顧客基盤

※各社開示資料を基に当社作成
※InMobiはリーチ数

ソフトバンクの対象市場

Alibaba.com
阿里巴巴

renren

淘宝网

BSB

Inmobi™

SoftBank

YAHOO!
JAPAN

Sprint®



さらなる成長へ

2012年10月15日

Sprintの 戦略的買収



**本日は世界中の皆様からの
ご質問にお答えします**



質問1

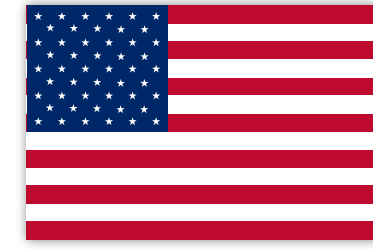
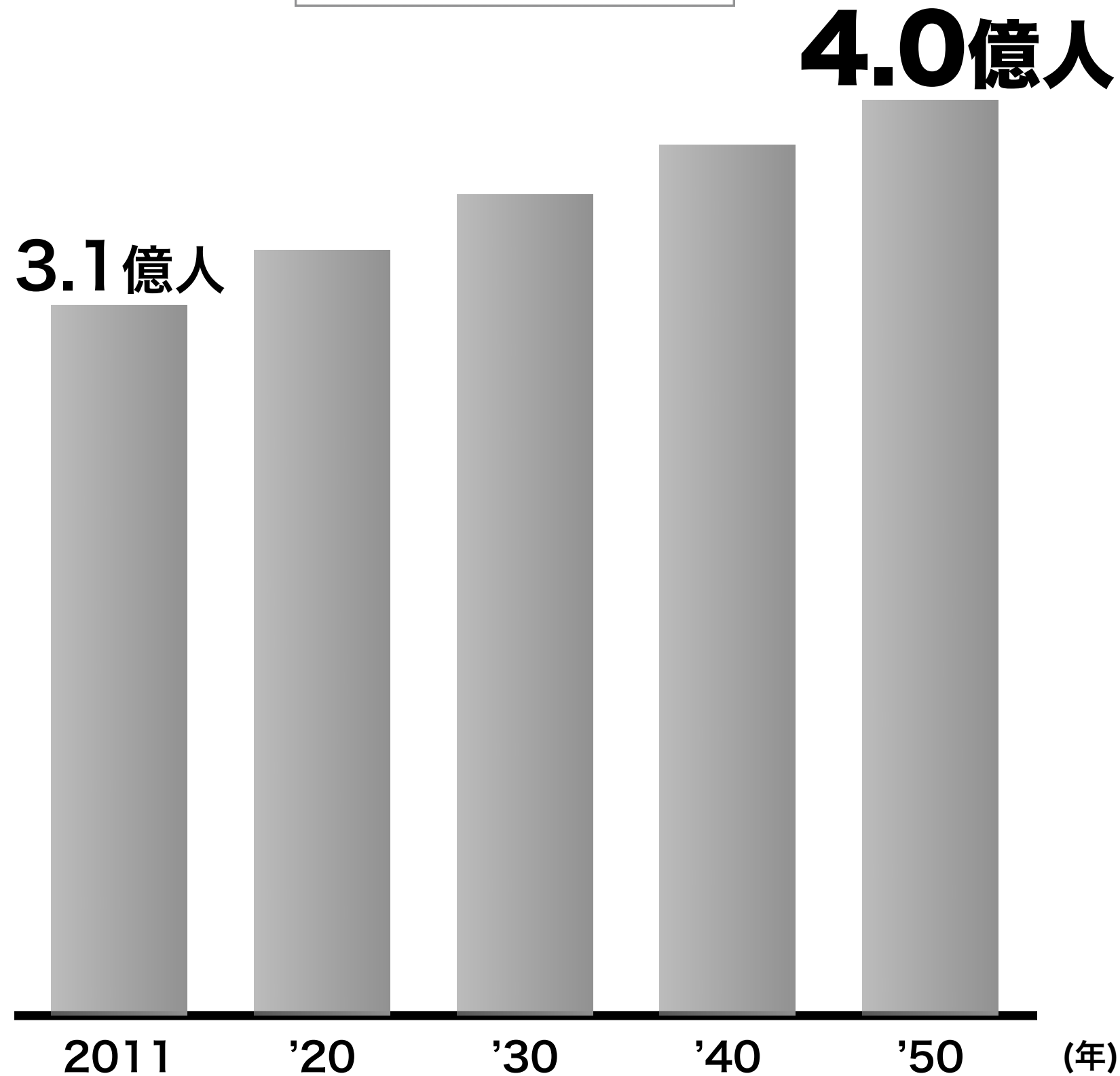
なぜ米国に
進出するのか？



答え

成長著しいモバイル先進国で
持続的成長を実現

人口の予測



人口増加

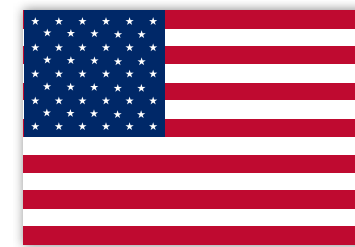
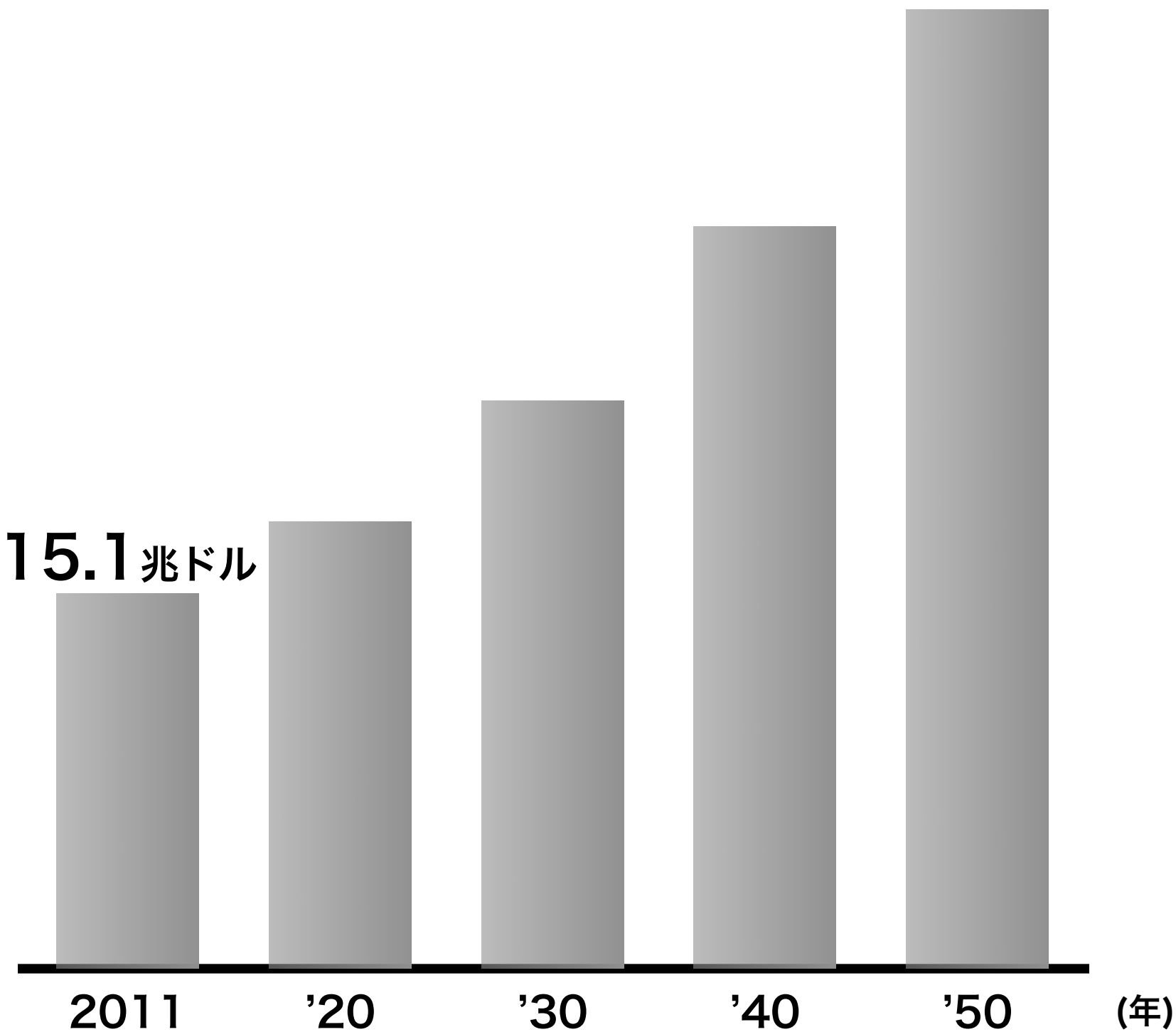


※出所: 国連「World Population Prospects, the 2010 Revision」
出生率MEDIUMの推計値

名目GDP

38.3兆ドル

15.1兆ドル

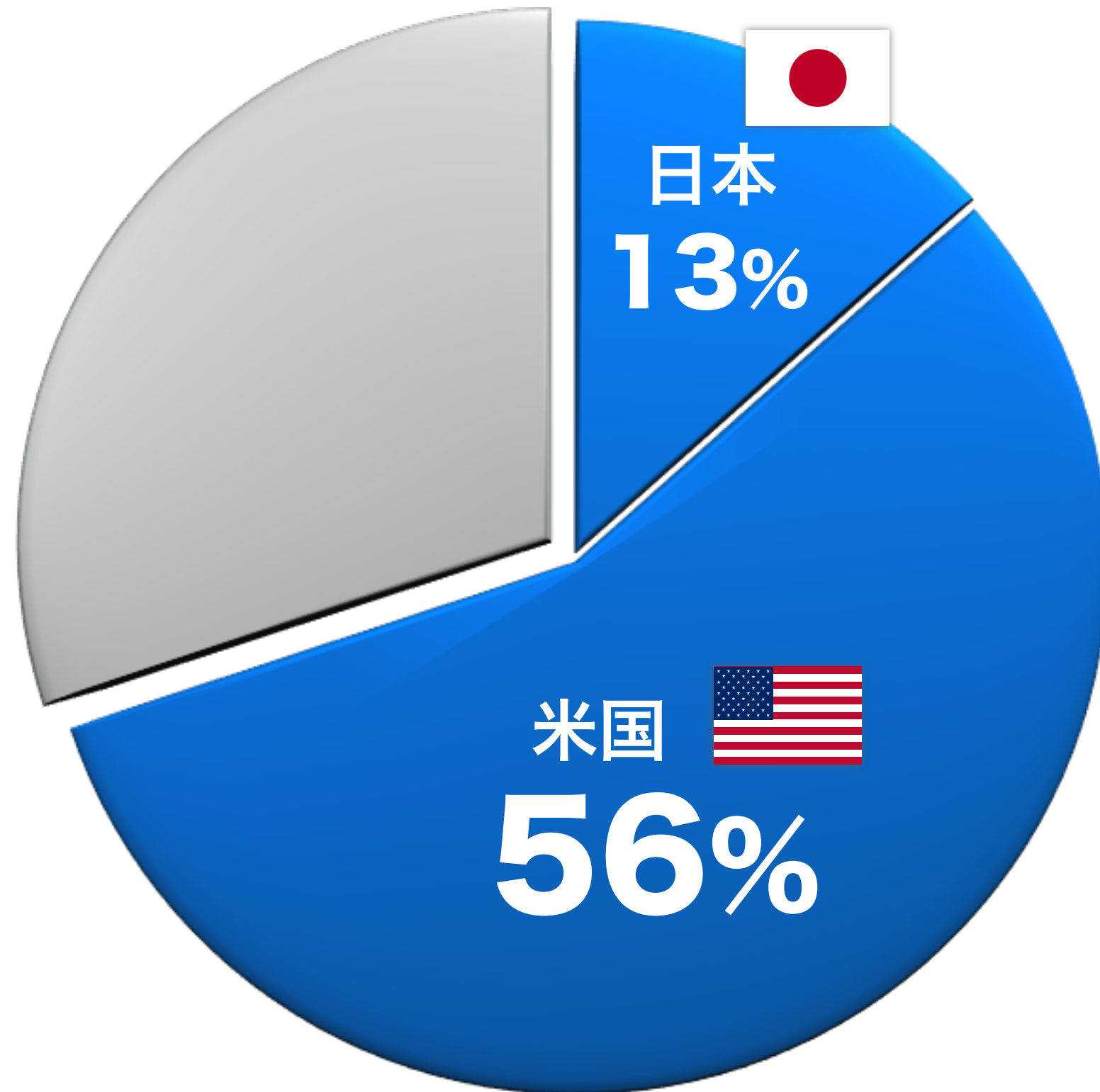


成長市場



※出所
2011年: 外務省 経済局国際経済課(2012年10月25日)
2020年以降予測: Goldman Sachs 「Global Economics
Paper No: 153」 March 28,2007

LTE契約数(世界)

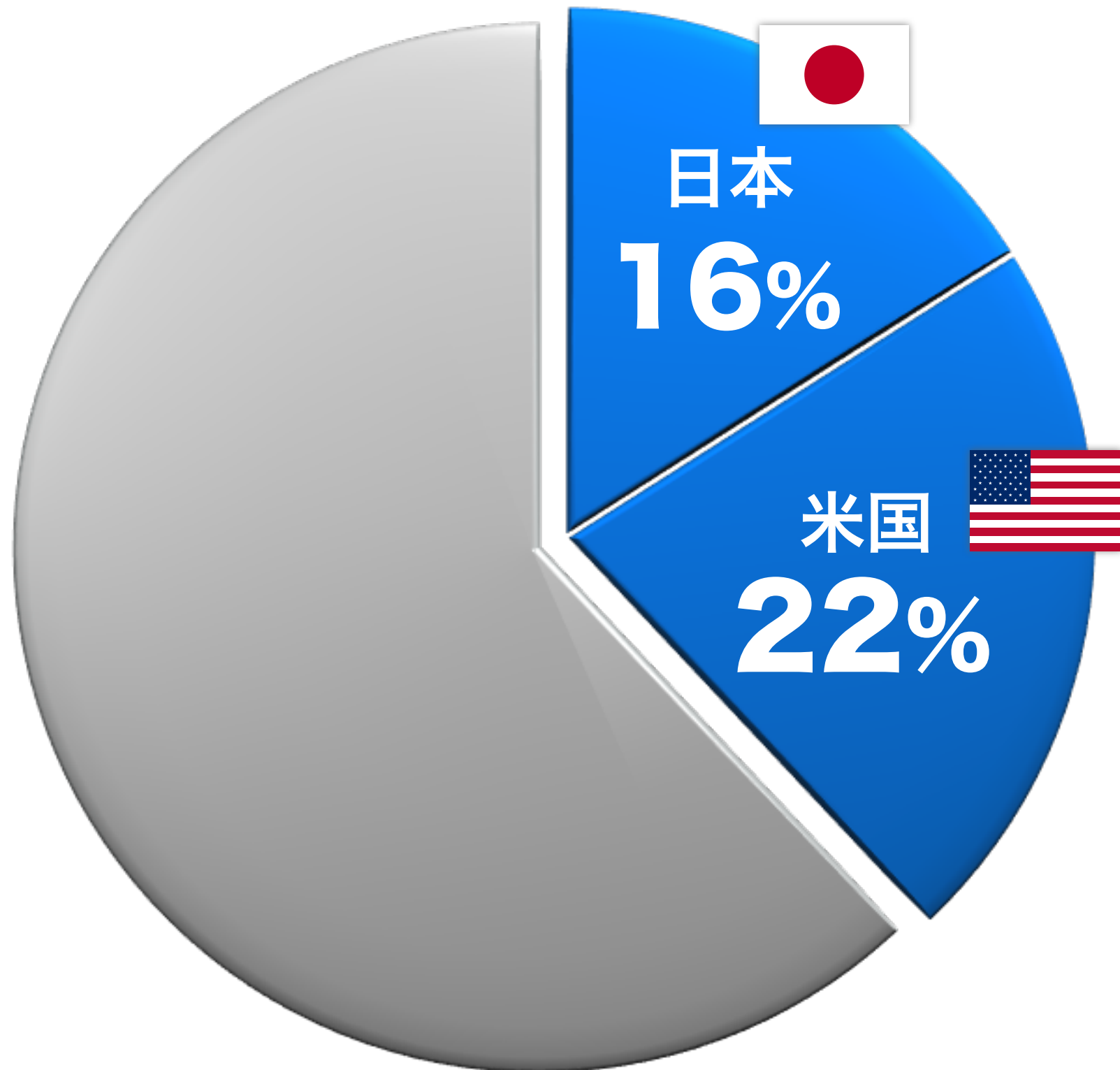


日米は LTE先進国



※出所: Wireless Intelligence(2012年3月末現在)
※FDD-LTE、TD-LTE、AXGPの契約数

モバイルデータトラフィック

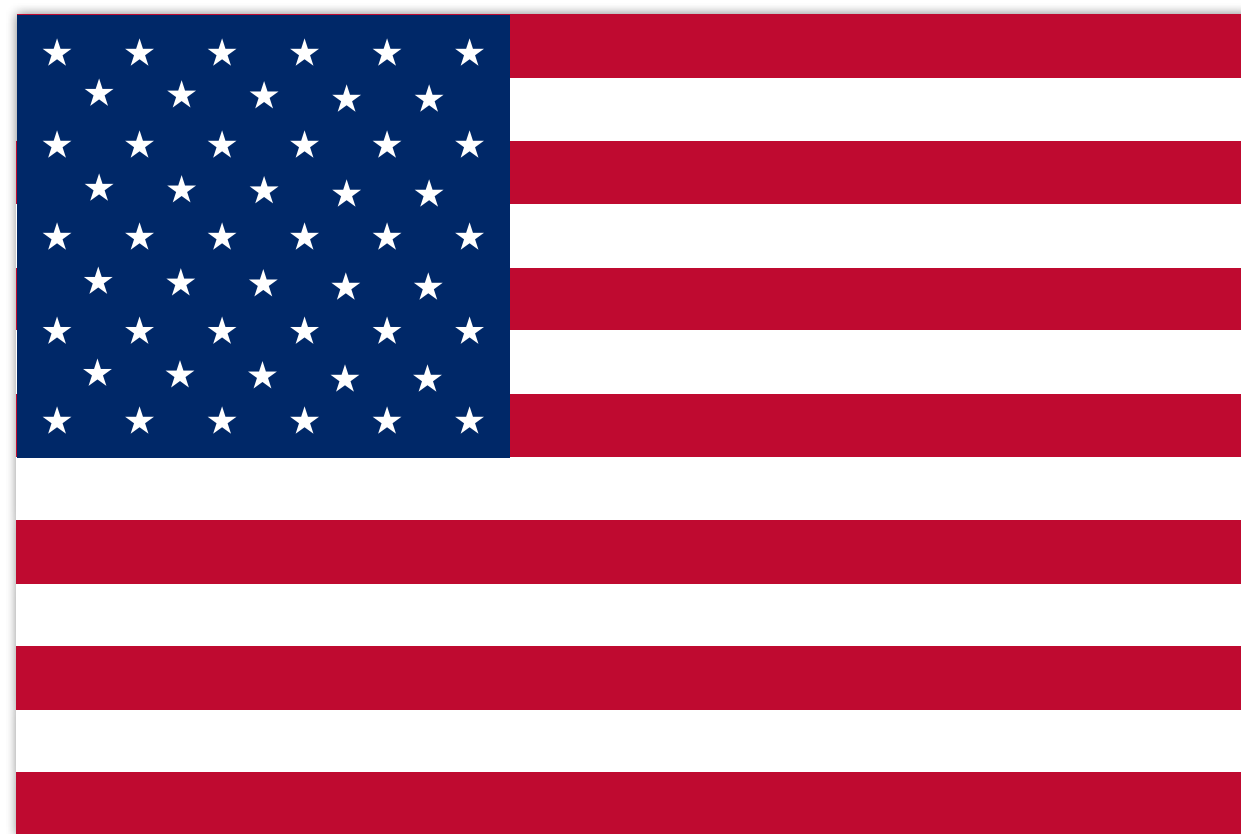


日米は モバイル通信 先進国



※出所:
CISCO VNI Mobile, 2011の統計資料。
2011年の世界のモバイルデータトラフィックの地域別割合より当社作成。

カントリーリリスク？



質問2

なぜSprintなのか？



答え

高い成長ポテンシャル

3つの成長ポテンシャル

1. **売上の増加**
2. **財務改善と成長への投資**
3. **経営効率の改善**

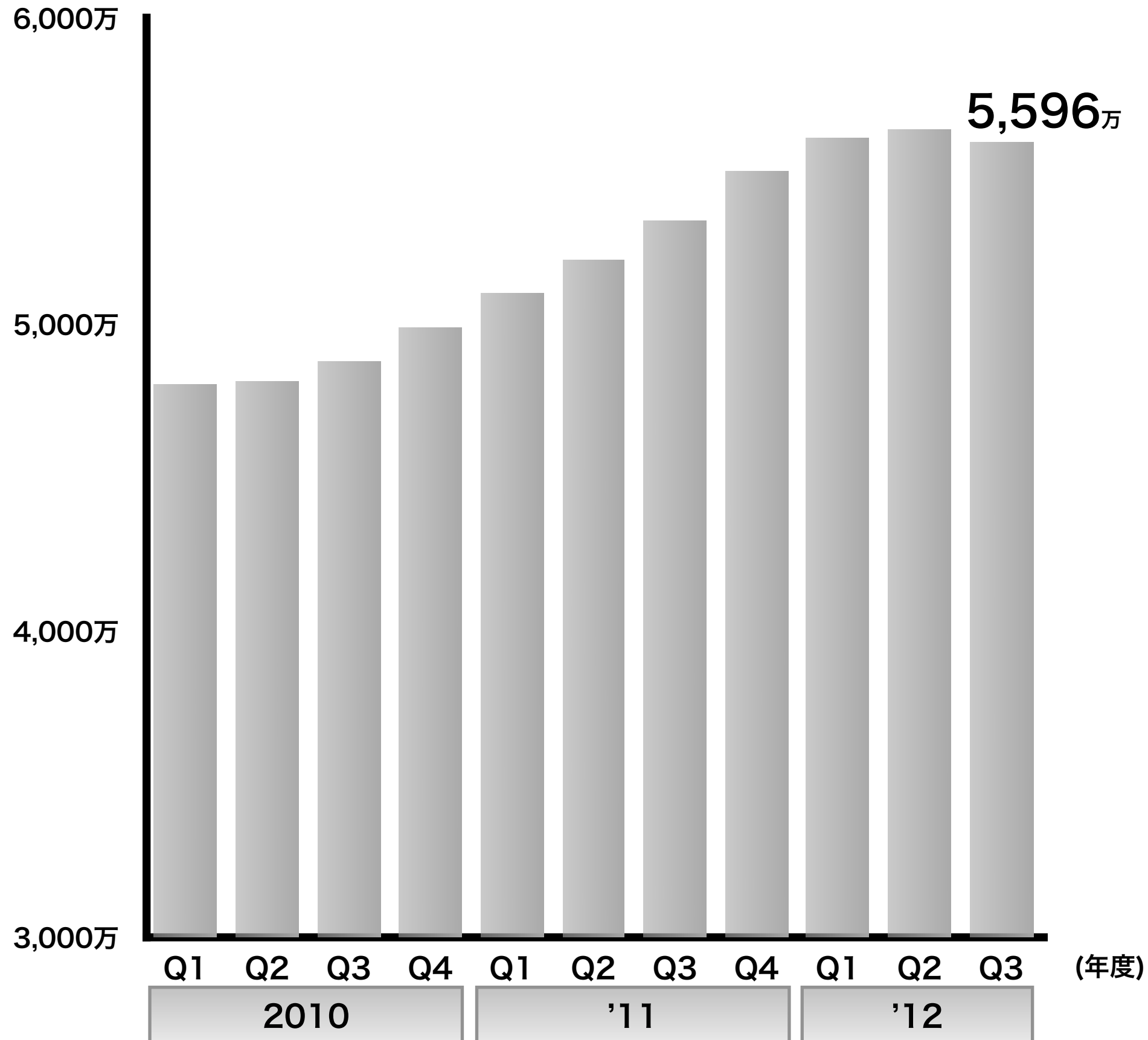
3つの成長ポテンシャル

1. **売上の増加**
2. 財務改善と成長への投資
3. 経営効率の改善

売上 = 契約数 × ARPU

累計契約数

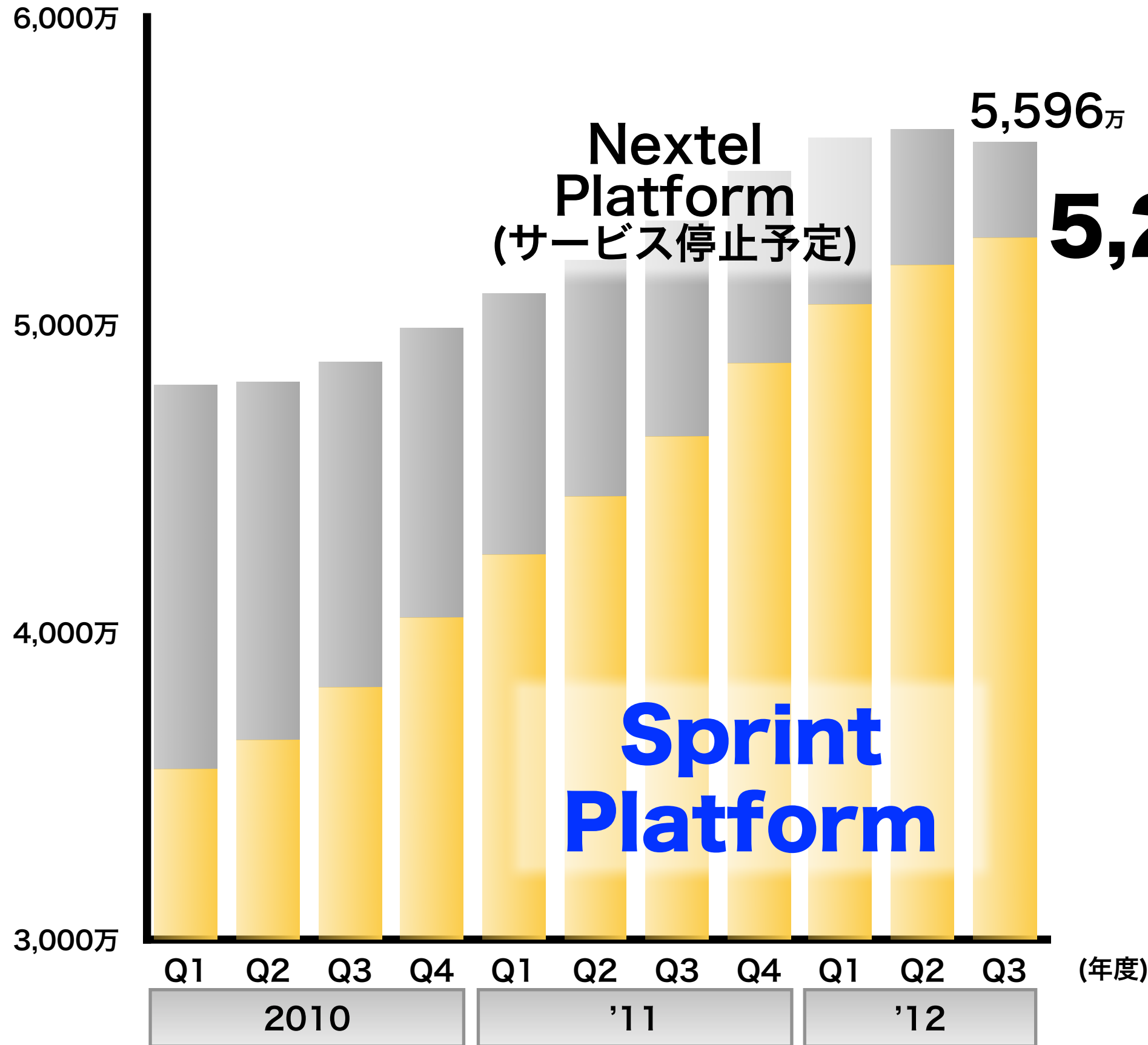
契約数



※出所: Sprint開示資料

累計契約数

契約数



5,286万

5,596万

順調に増加



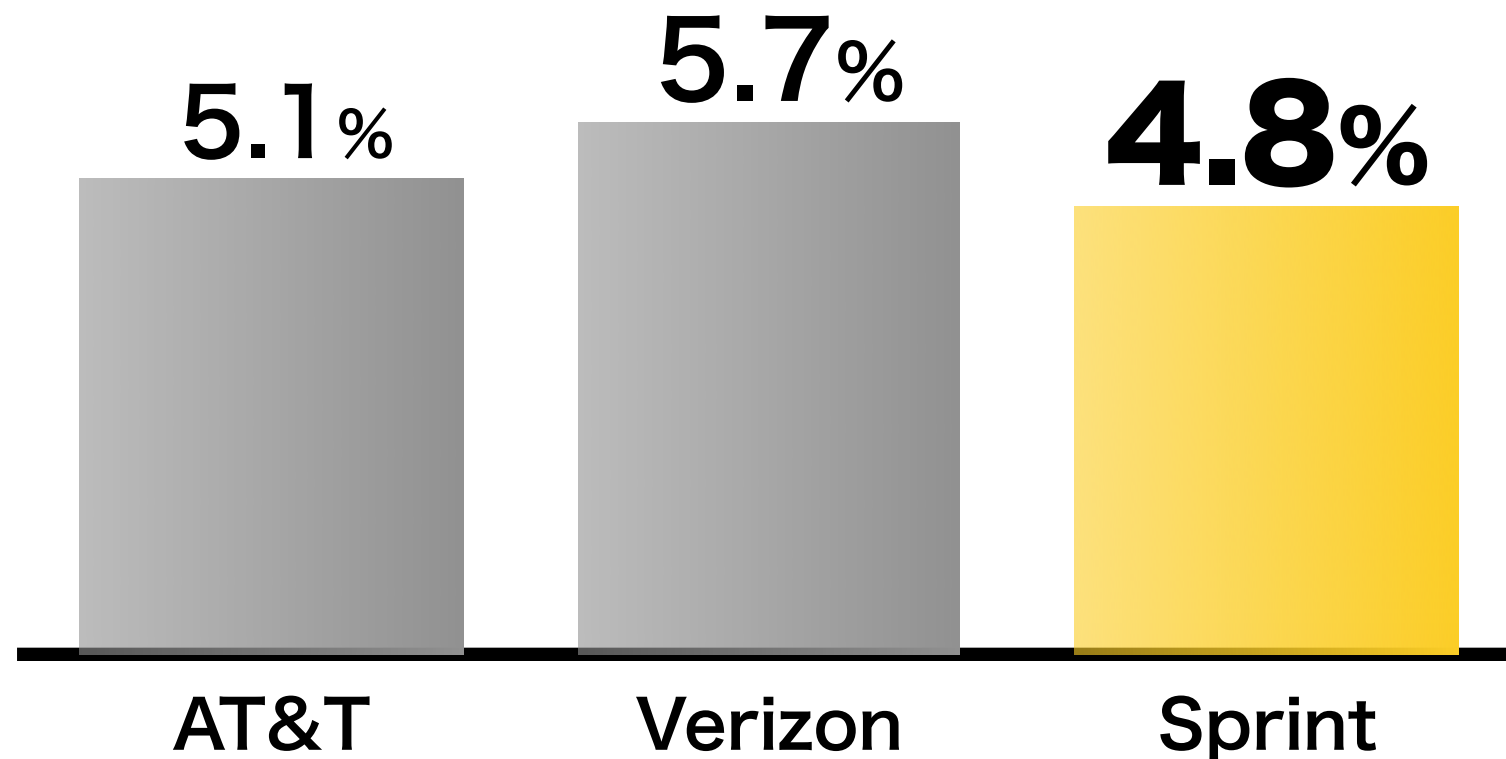
※出所: Sprint開示資料

累計契約者 増加率
(2011年9月末-2012年9月末)

契約数

他社と同等

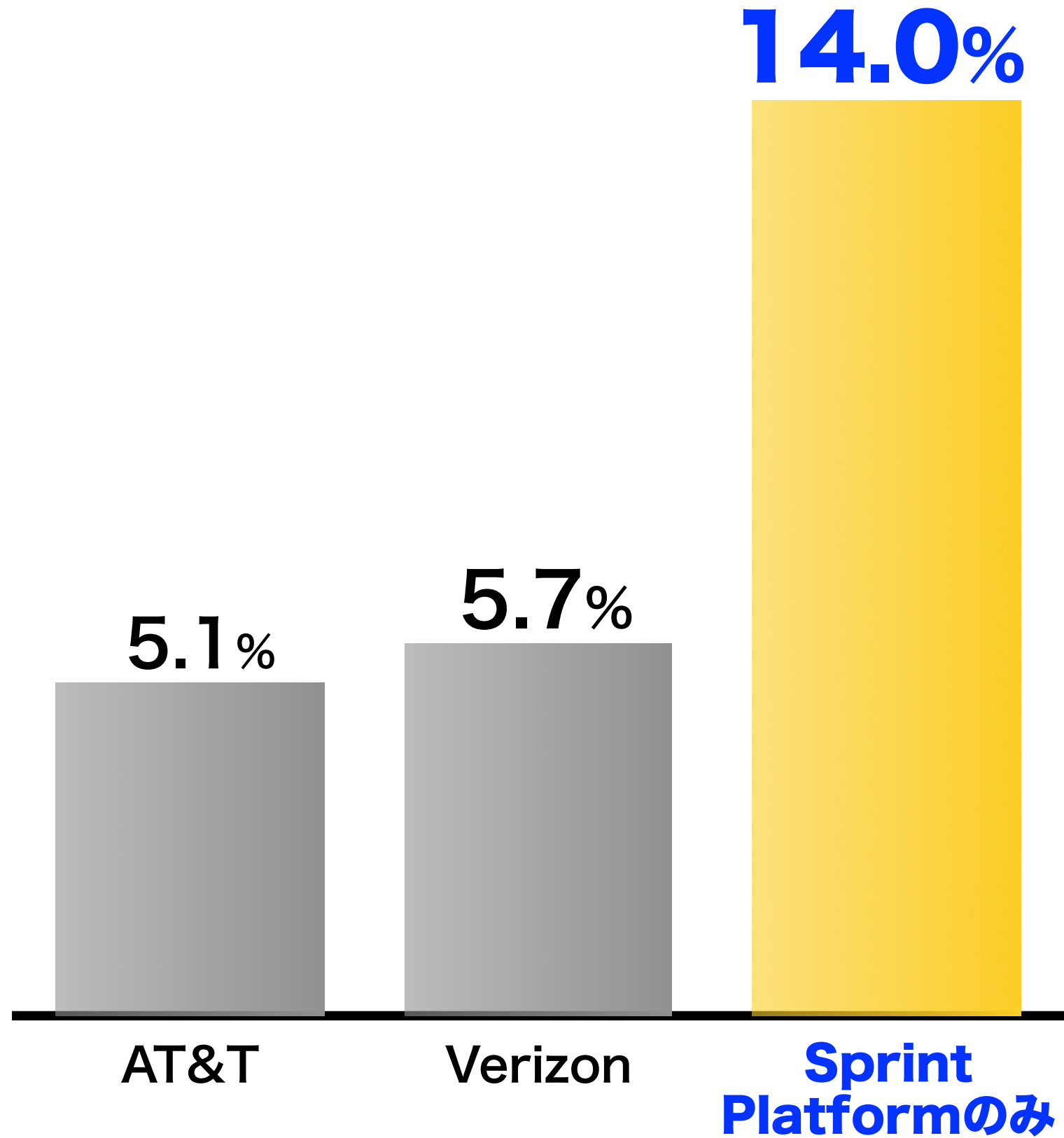
(Sprint Platform)
+
(Nextel Platform)



※各社開示資料を基に当社作成
※Verizon: リテールのみ
AT&T: リセール等を含む総契約数
Sprint: Sprint PlatformとNextel Platformの合計契約数

累計契約者 増加率
(2011年9月末-2012年9月末)

契約数



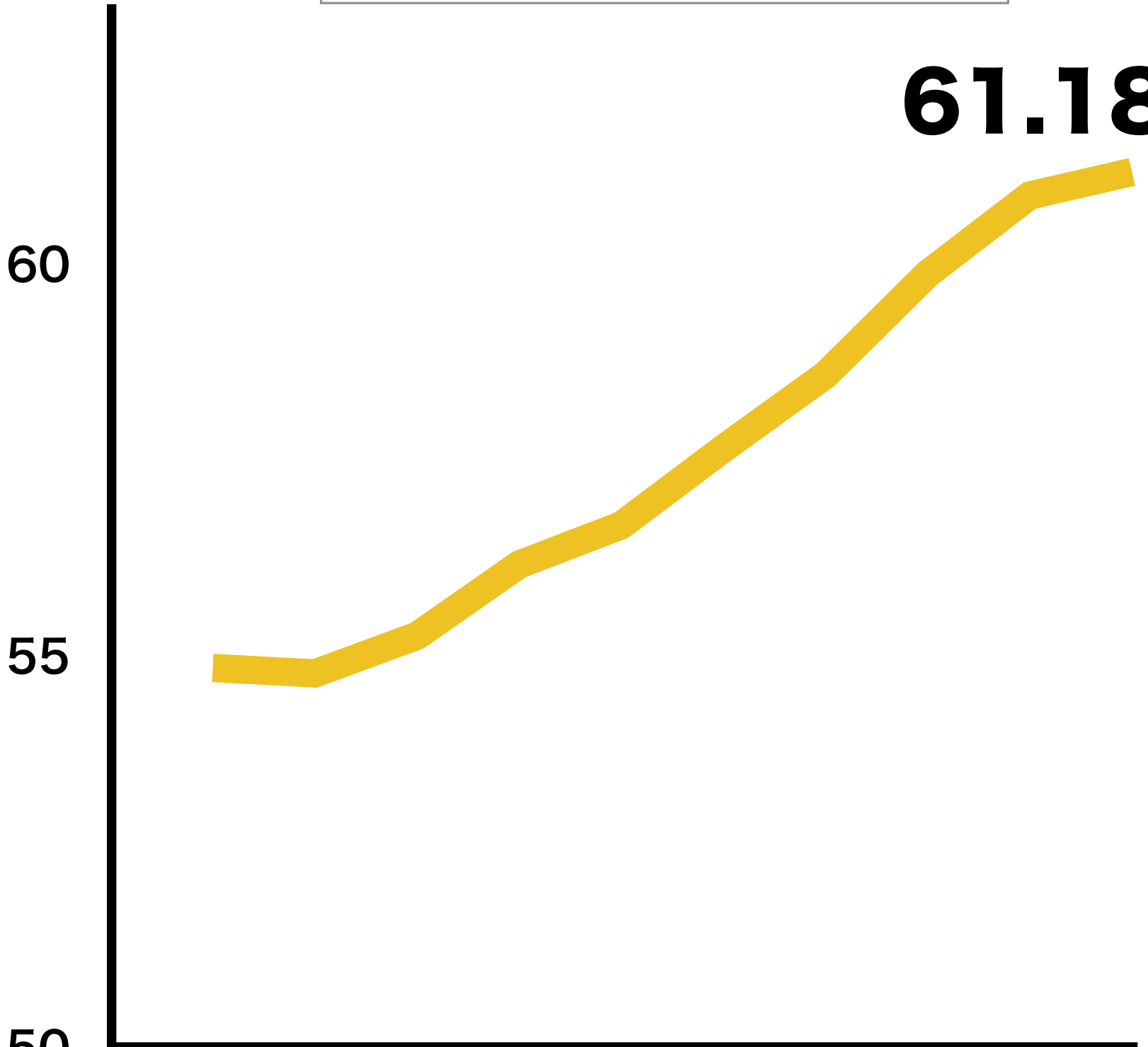
No.1
(Sprint Platformのみ)



※各社開示資料を基に当社作成
※Verizon: リテールのみ
AT&T: リセール等を含む総契約数
Sprint: Sprint Platformのみの累計契約数

トータルARPU

(ドル)



61.18ドル

順調に増加



(年度)

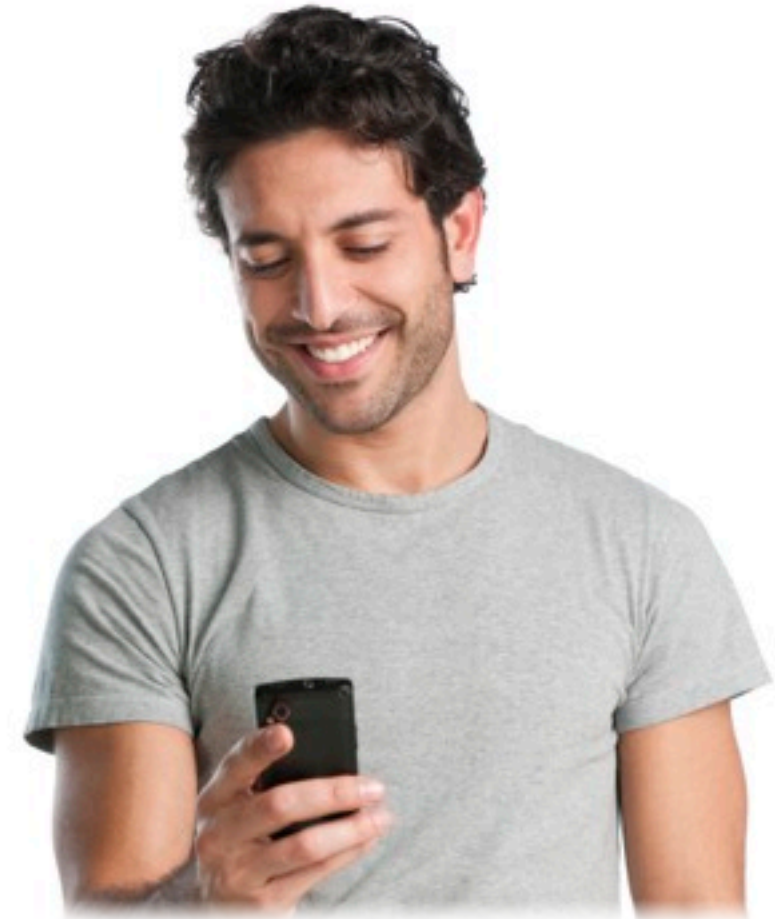
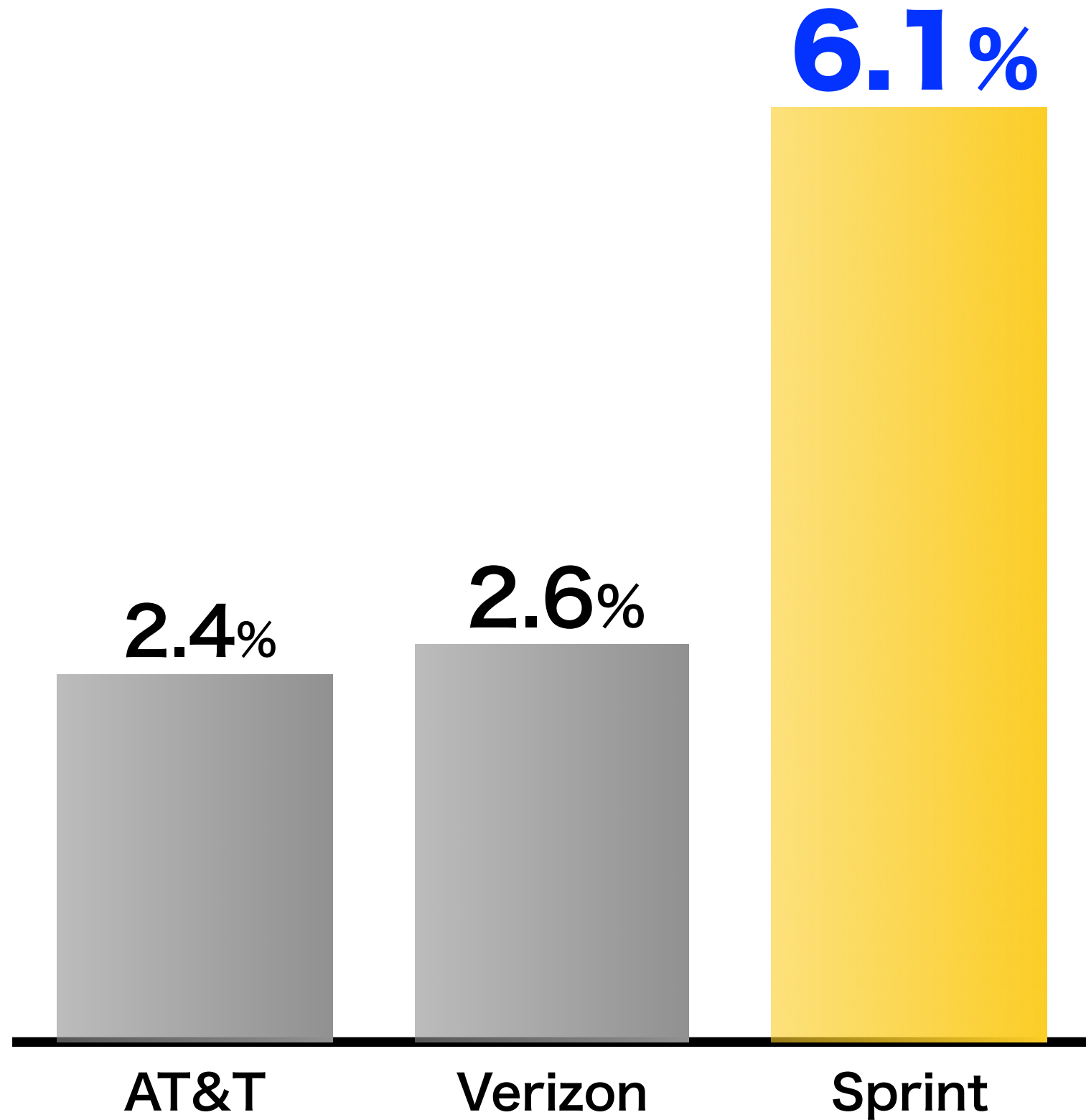
Q2 Q3 Q4 Q1 Q2 Q3 Q4 Q1 Q2 Q3
2010 '11 '12

※出所：Sprint開示資料
※トータルリテールポストペイドARPU
(Sprint PlatformとNextel Platformを含む)

トータルARPU 増減率
(2012年7月-9月期)

ARPU

No.1



※出所：各社開示資料
※Verizon: 開示資料より当社作成 AT&T: ポストペイド契約ARPU
Sprint: トータルリテールポストペイドARPU
(Sprint PlatformとNextel Platformを含む)

(ドル)
70億

Sprint Platform
モバイルサービス売上

69億ドル

売上

順調に増加

60億

50億

53億ドル

Q4 Q1 Q2 Q3 Q4 Q1 Q2 Q3

(年度)

2010

'11

'12



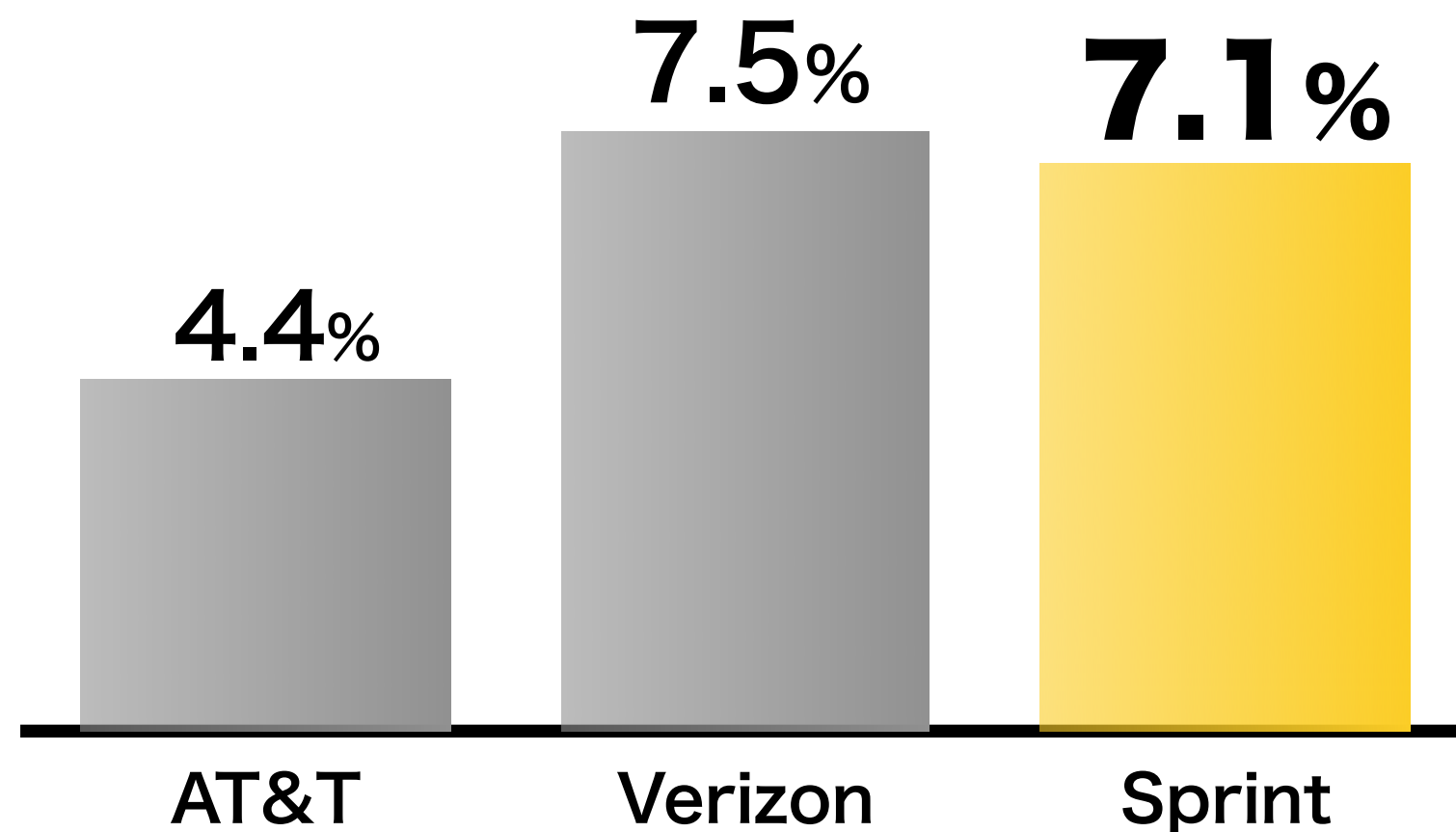
※出所: Sprint開示資料

モバイルサービス売上高 増減率
(2012年1月-9月期)

売上

他社と同等

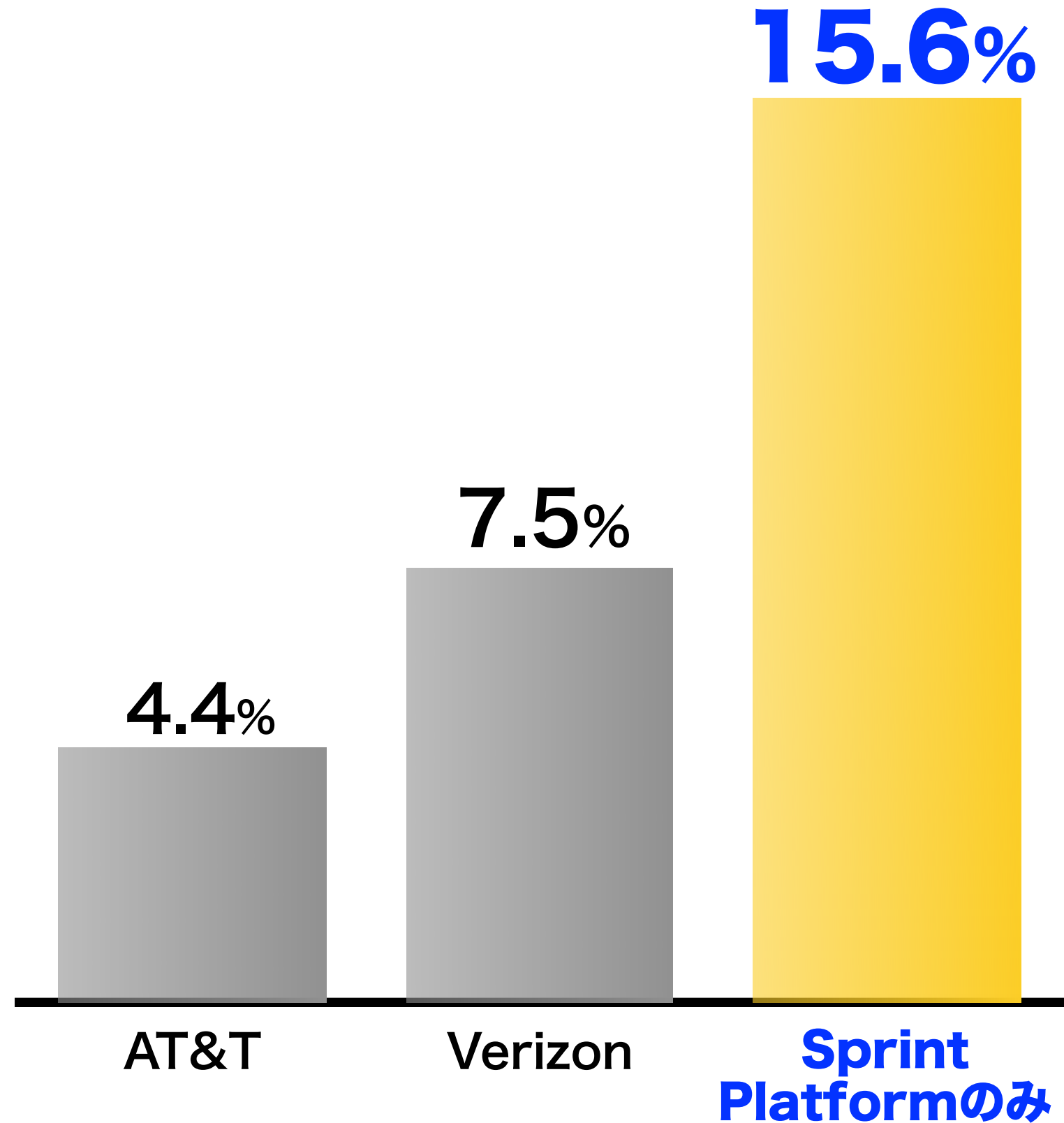
(Sprint Platform
+
Nextel Platform)



※各社開示資料を基に当社作成
※Verizon: Wirelessセグメントのサービス売上高
AT&T: Wirelessセグメントのサービス売上高
Sprint: Sprint PlatformとNextel Platformのサービス売上高の合計

モバイルサービス売上高 増減率
(2012年1月-9月期)

売上



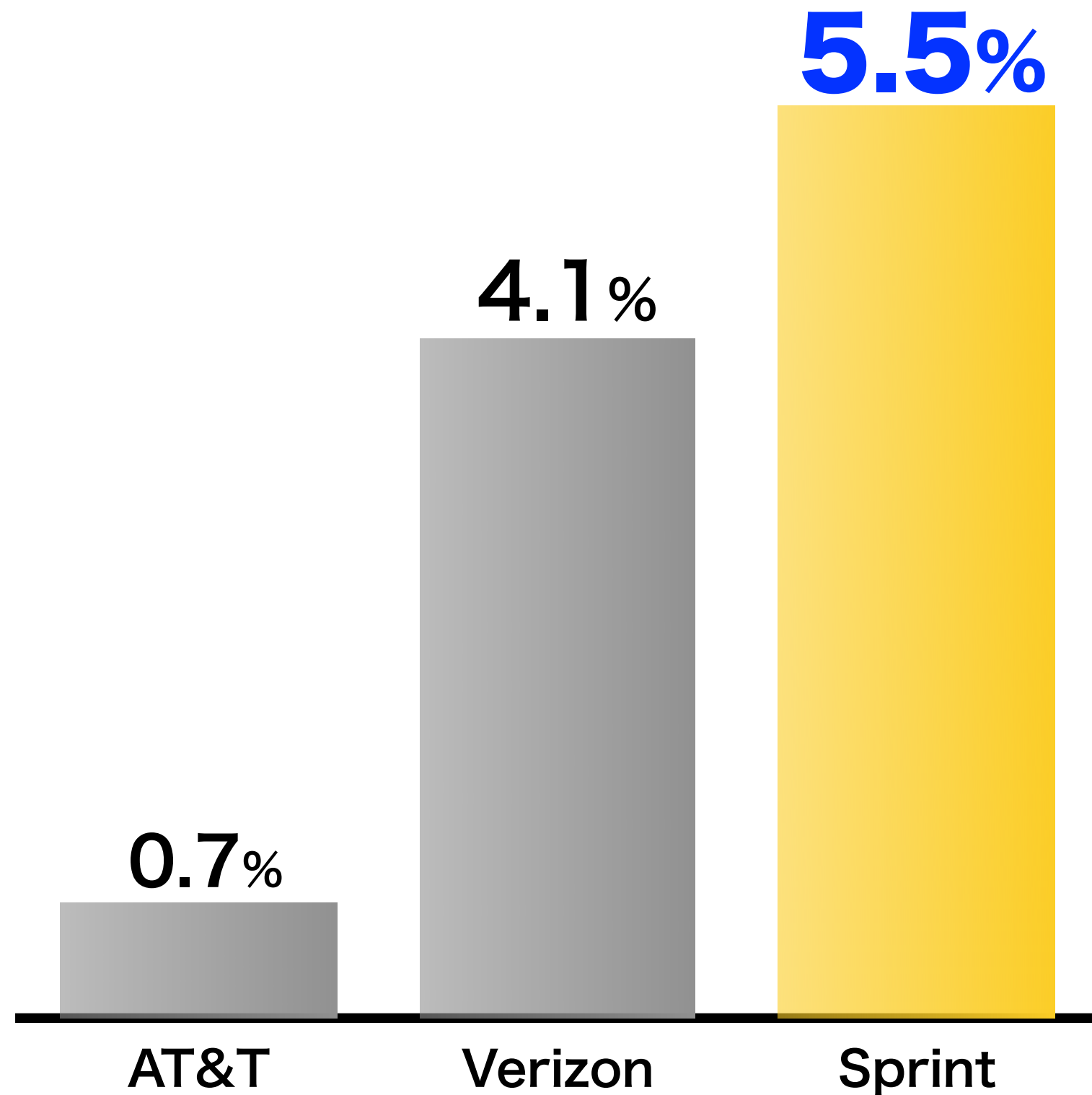
No.1
(Sprint Platformのみ)



※各社開示資料を基に当社作成
※Verizon: Wirelessセグメントのサービス売上高
AT&T: Wirelessセグメントのサービス売上高
Sprint: Sprint Platformのサービス売上高

連結売上高 増減率
(2012年1月-9月期)

売上



連結でも
No.1



3つの成長ポテンシャル

1. 売上の増加
2. **財務改善と成長への投資**
3. 経営効率の改善

純有利子負債

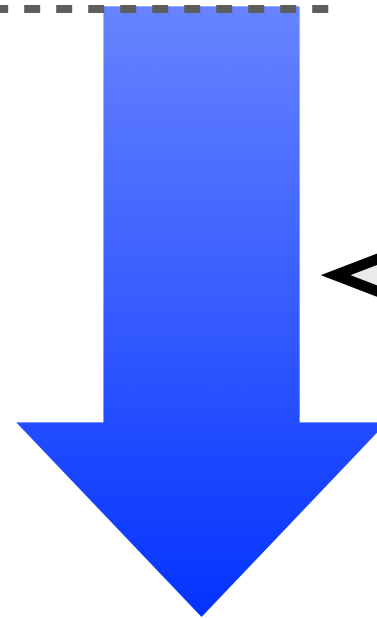


1.2兆円
(150億ドル)



増資前

(2012年9月末時点)



SBからの増資
0.6兆円(80億ドル)

0.6兆円
(70億ドル)



増資後

大幅に減少

3.13倍



1.46倍



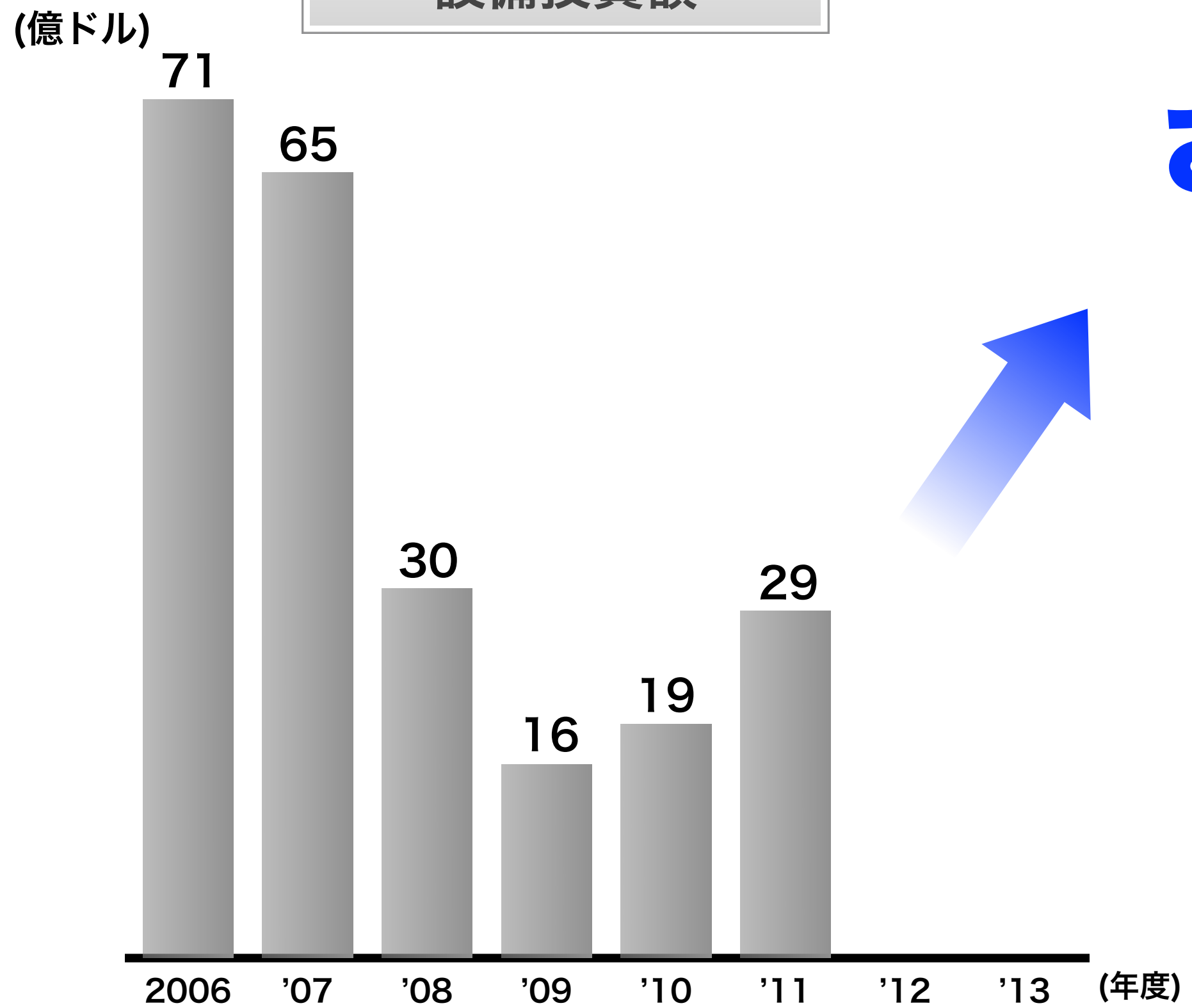
大幅に低下

増資前

(2012年9月末時点)

増資後

設備投資額



さらなる成長への 設備投資

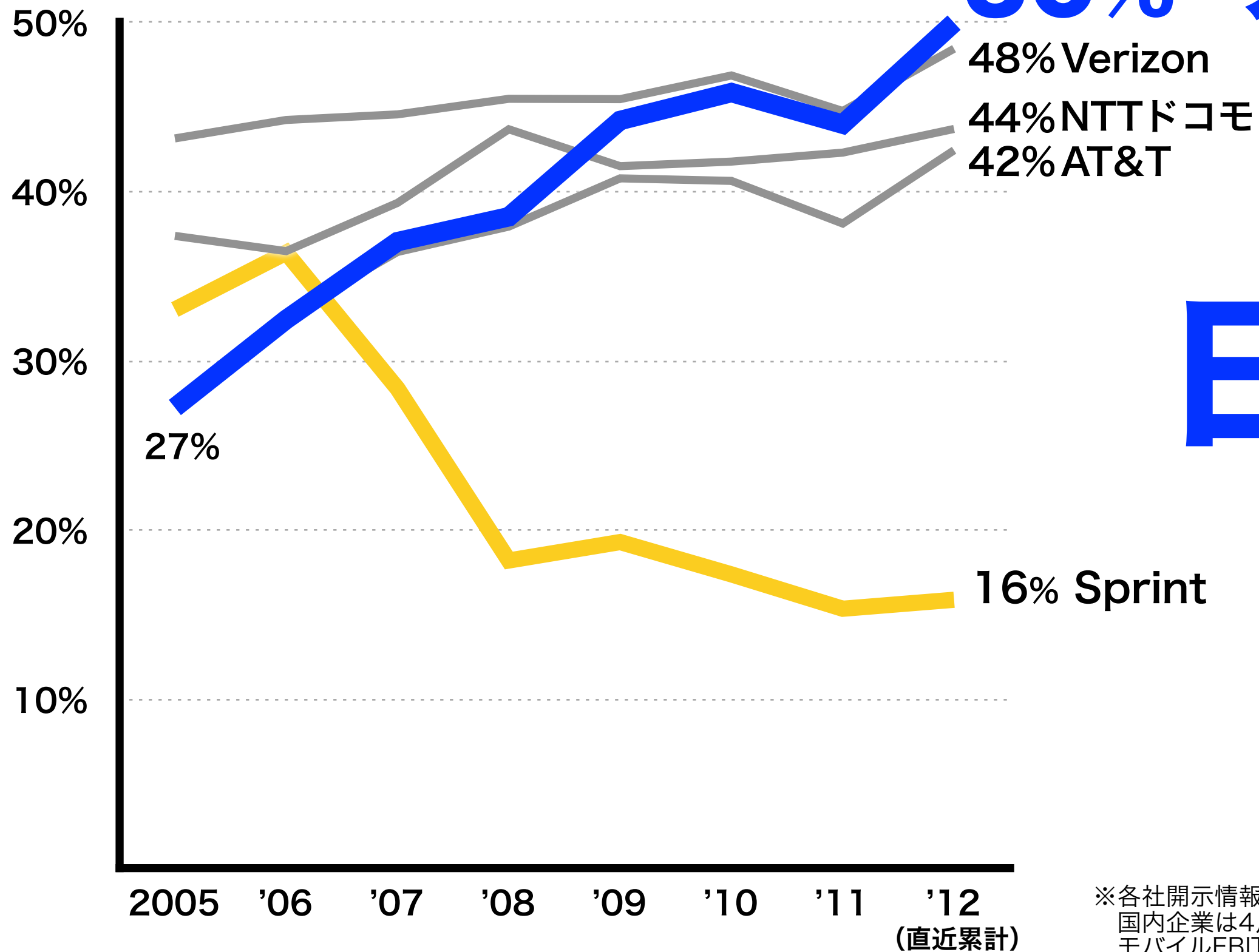


3つの成長ポテンシャル

1. 売上の増加
2. 財務改善と成長への投資
3. **経営効率の改善**

モバイル営業利益率(償却前)

[モバイルEBITDAマージン]



50% ソフトバンク

48% Verizon

44% NTTドコモ

42% AT&T

日米No.1

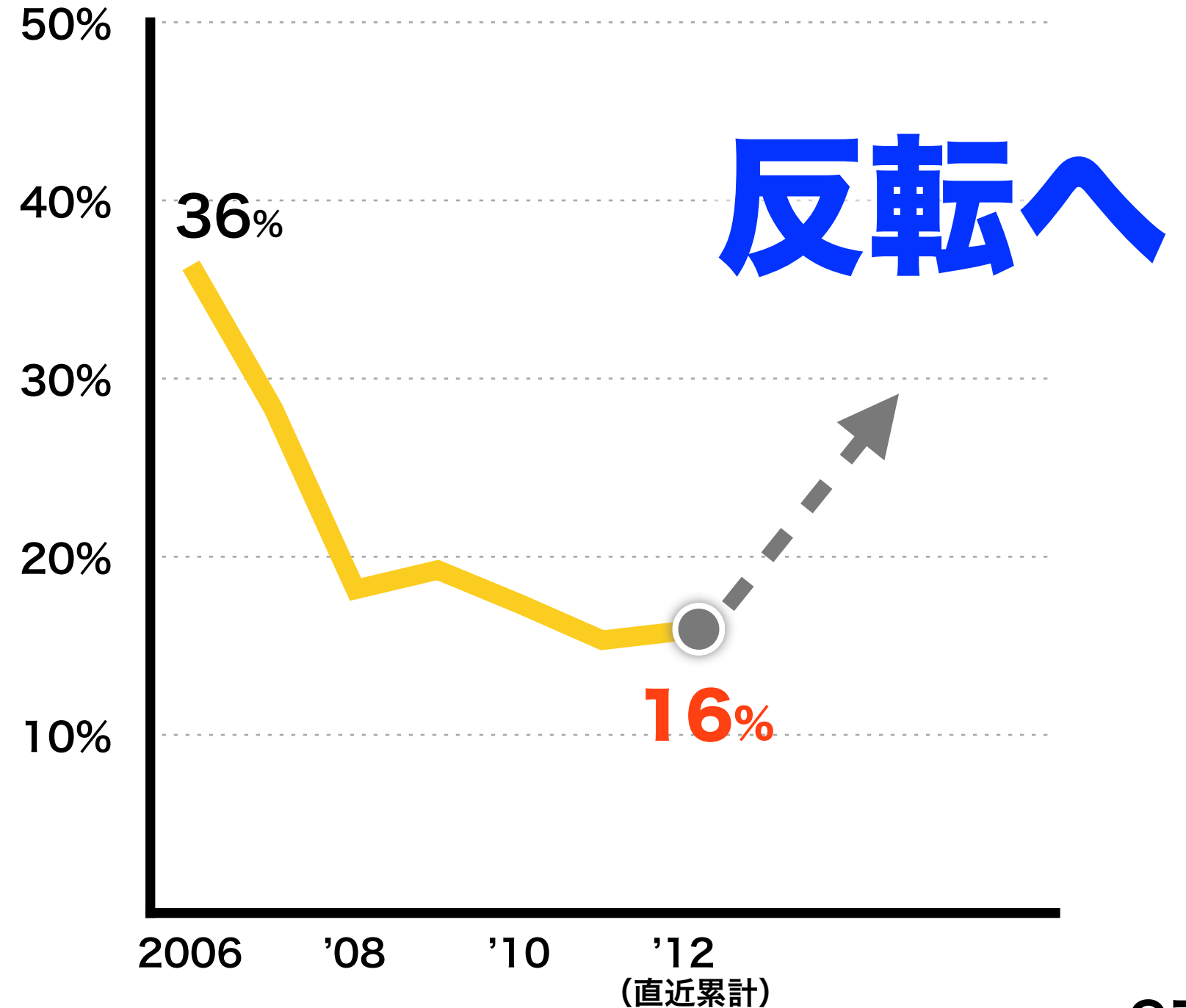
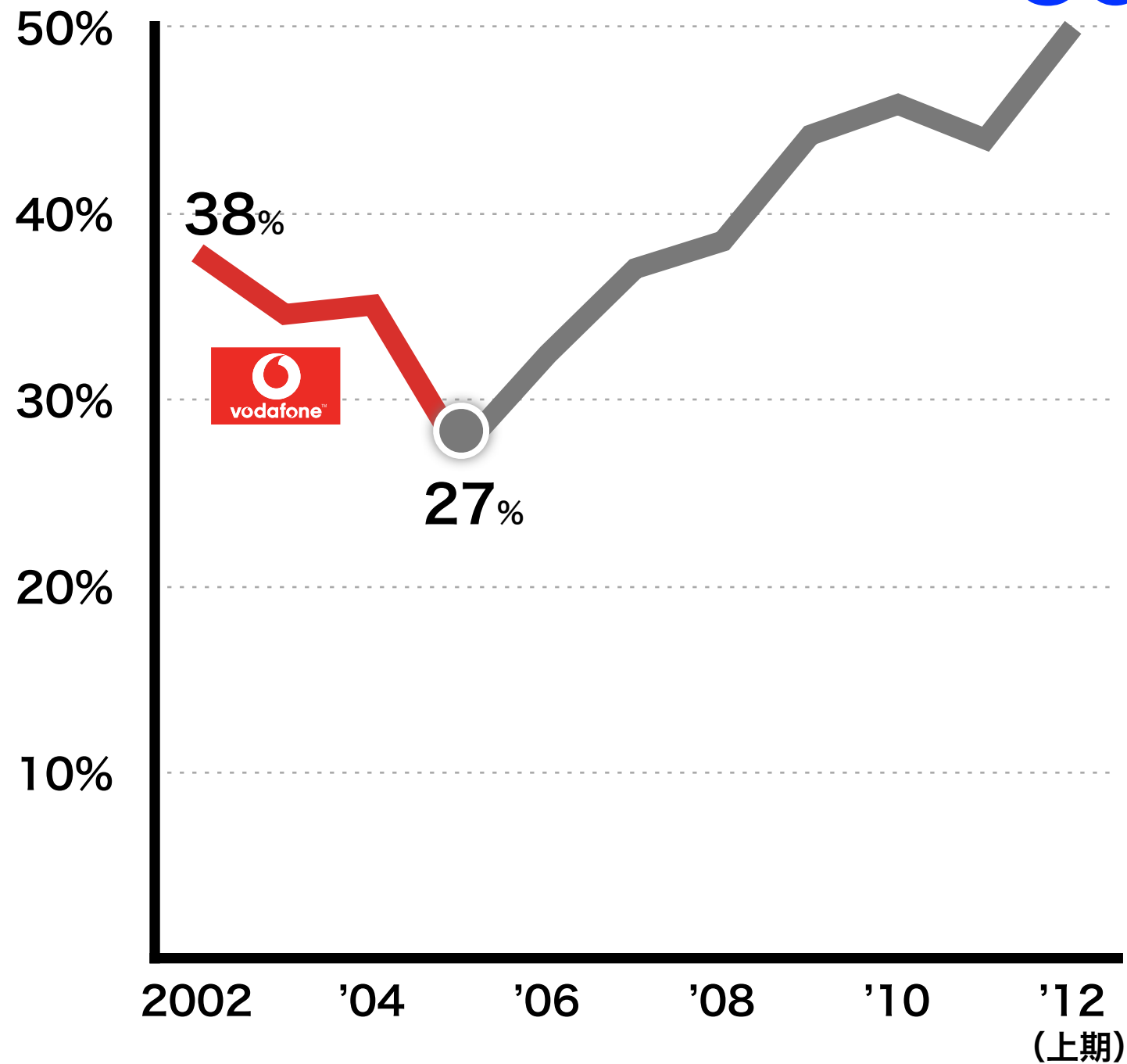
16% Sprint

※各社開示情報より当社作成。
国内企業は4月-3月期、米国企業は1月-12月期にて表示。
モバイルEBITDAマージン=モバイルEBITDA/モバイル通信料売上

モバイル営業利益率(償却前)

[モバイルEBITDAマージン]

SoftBank **50%**



※モバイルEBITDAマージン=モバイルEBITDA/モバイル通信料売上

Sprint 連結業績
(2012年7-9月期)

-2.31億ドル

-7.67億ドル

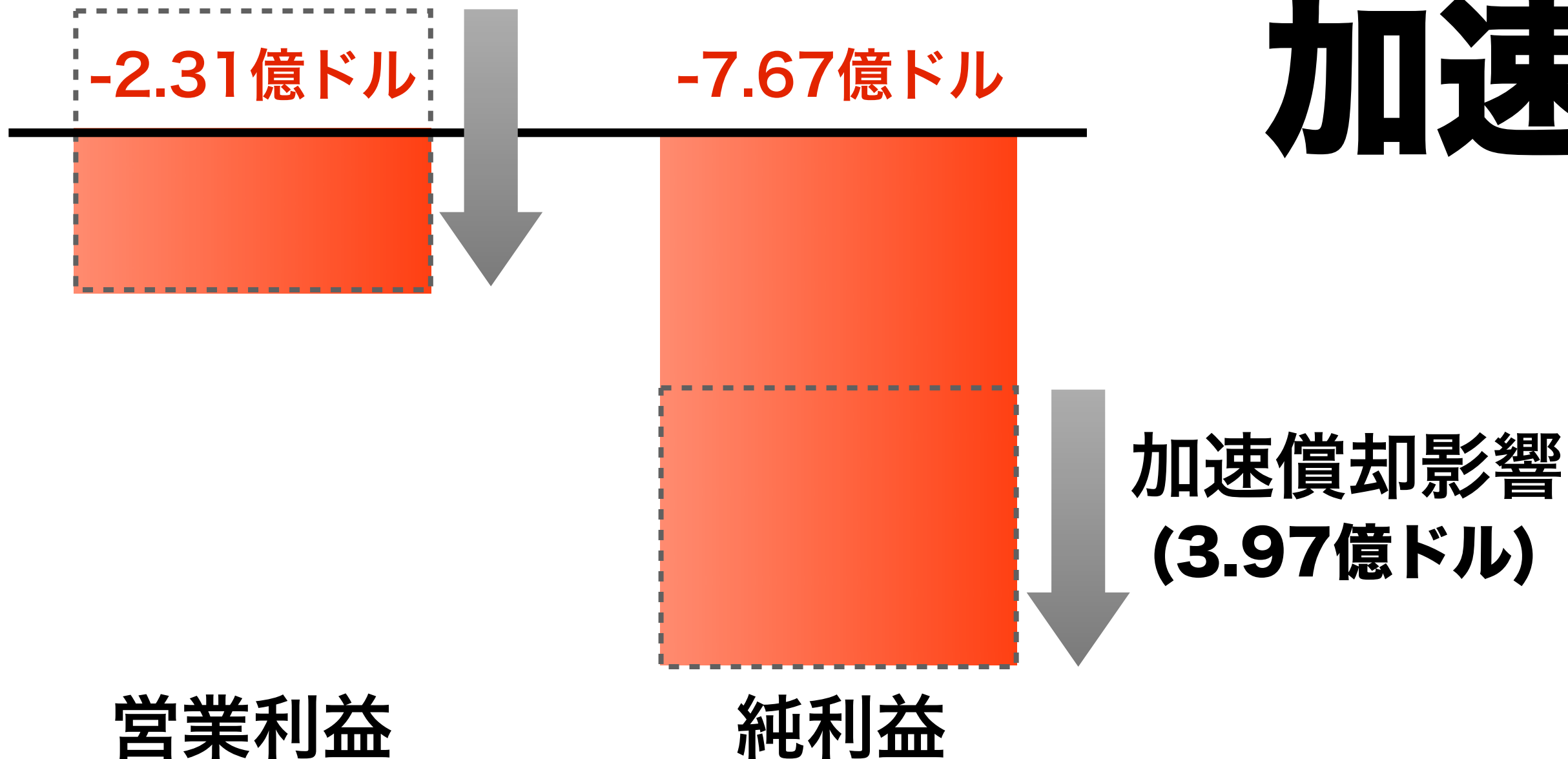
営業利益

純利益

Sprintは
大幅赤字?

Nextelサービス停止等による

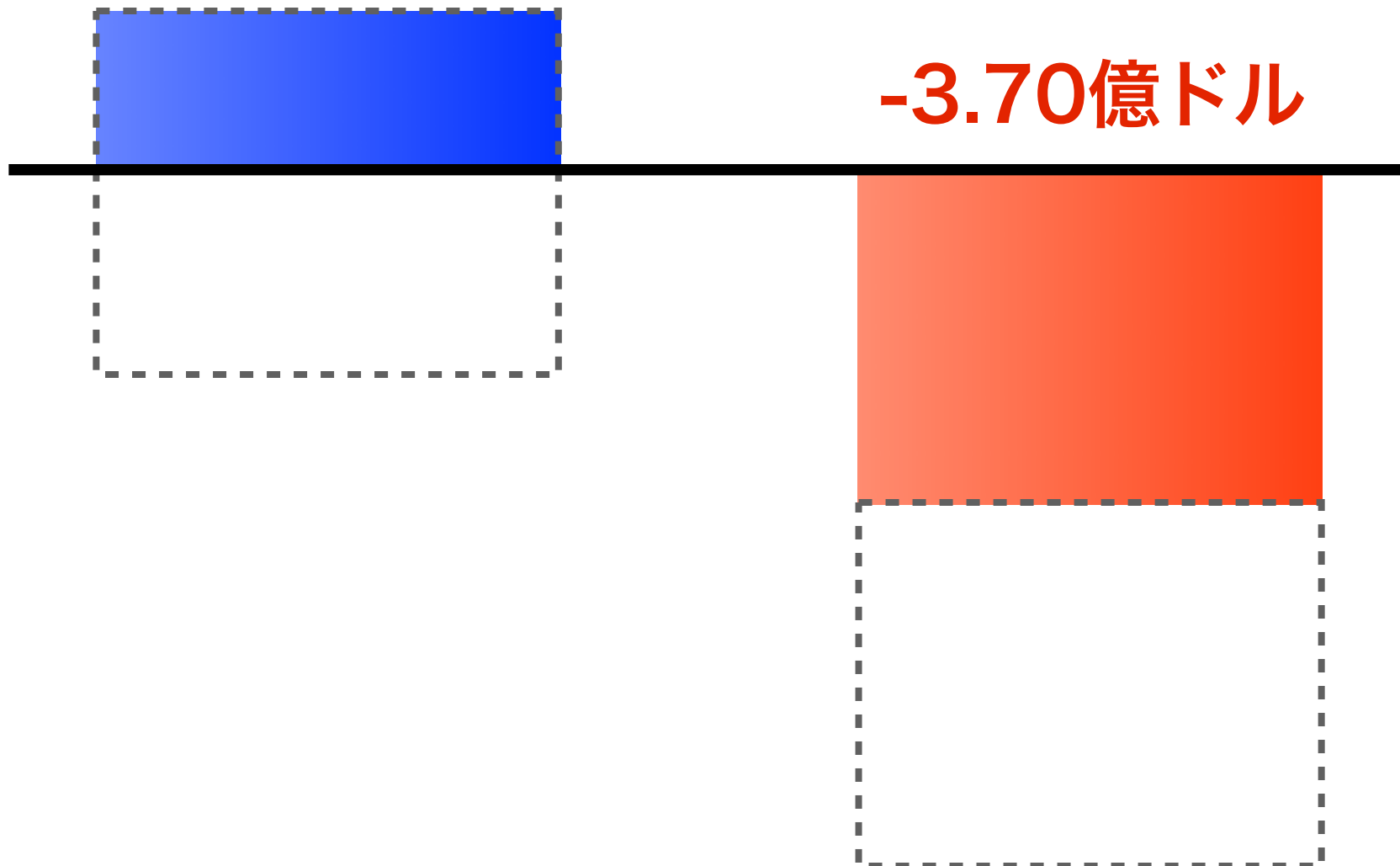
加速償却



Sprint 連結業績
(2012年7-9月期)



1.66億ドル



営業利益

純利益

営業黒字
(加速償却前)

3つのフェーズ

1. 再建

- ブランド改善
- 加入者数純増へ
- 売上増加へ
- コスト削減
- 投資フェーズに備えた資金確保

2. 投資

- 世界水準のNW構築
- NW重複コスト見直し
- コア事業への集中



SoftBank

3. 利益成長

- ネットワークビジョンによる売上拡大及び利益成長

2008~2011年

2012~2013年

2014年~

質問3

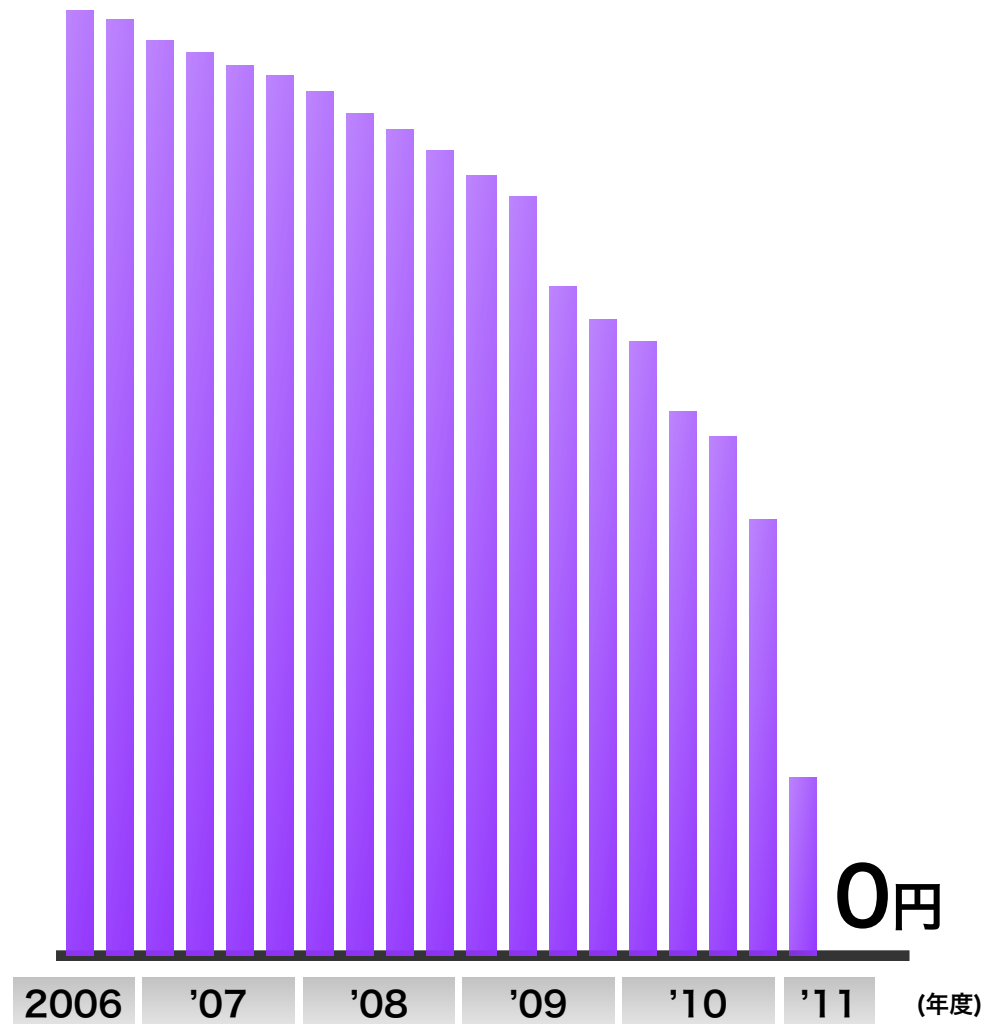
ソフトバンク株の
実力は？



ソフトバンク株の実力は？

Vodafone買収の借入金

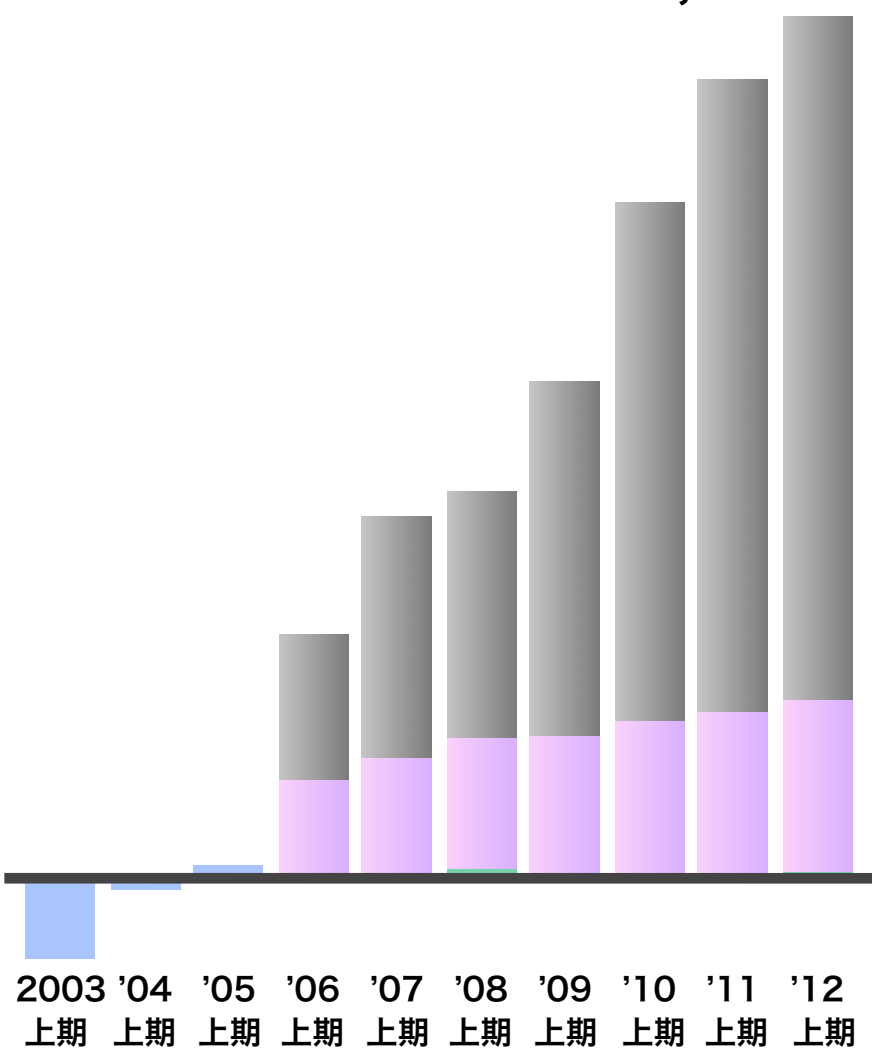
1.3兆円



大幅前倒し返済

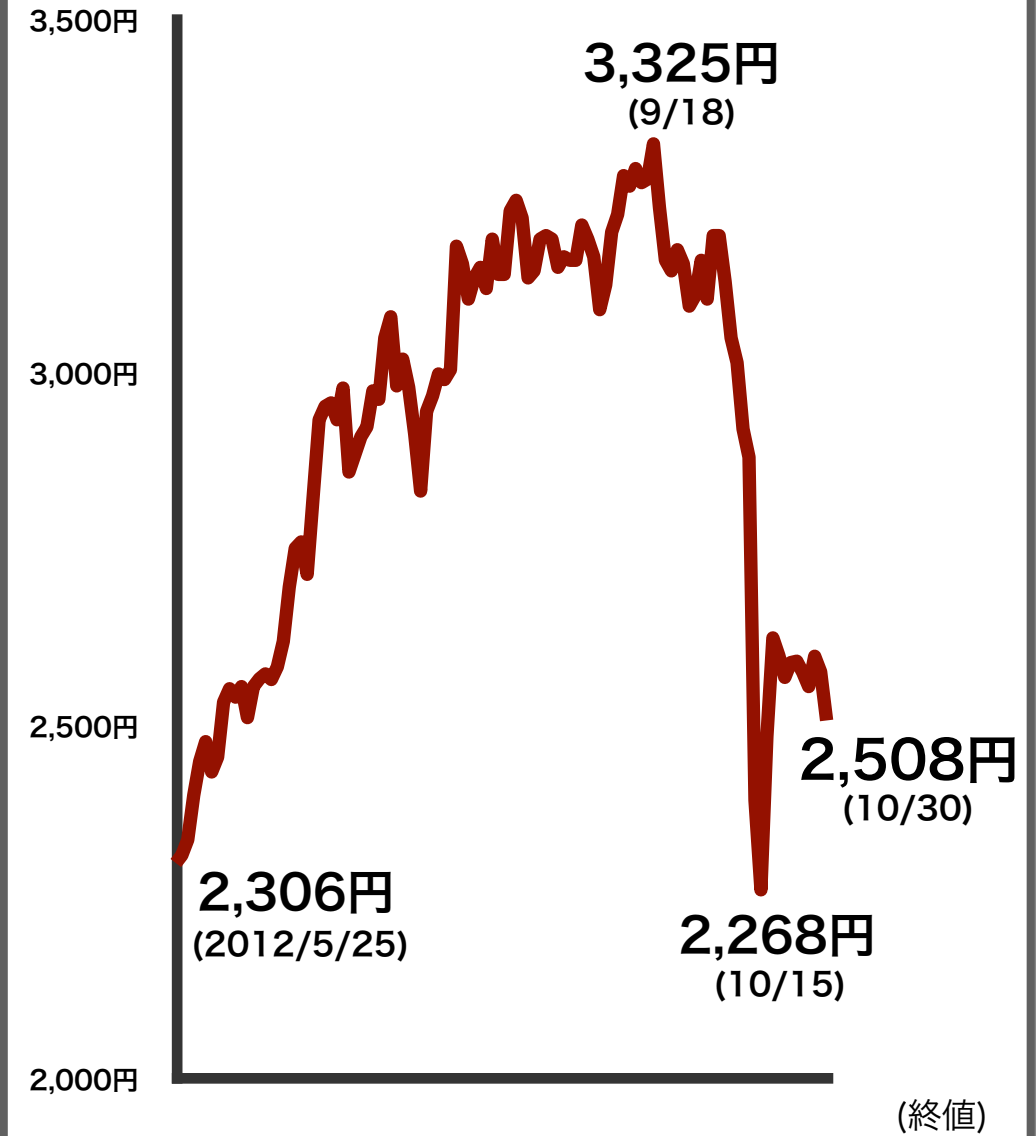
営業利益

4,027億円



7期連続最高益

ソフトバンク株価



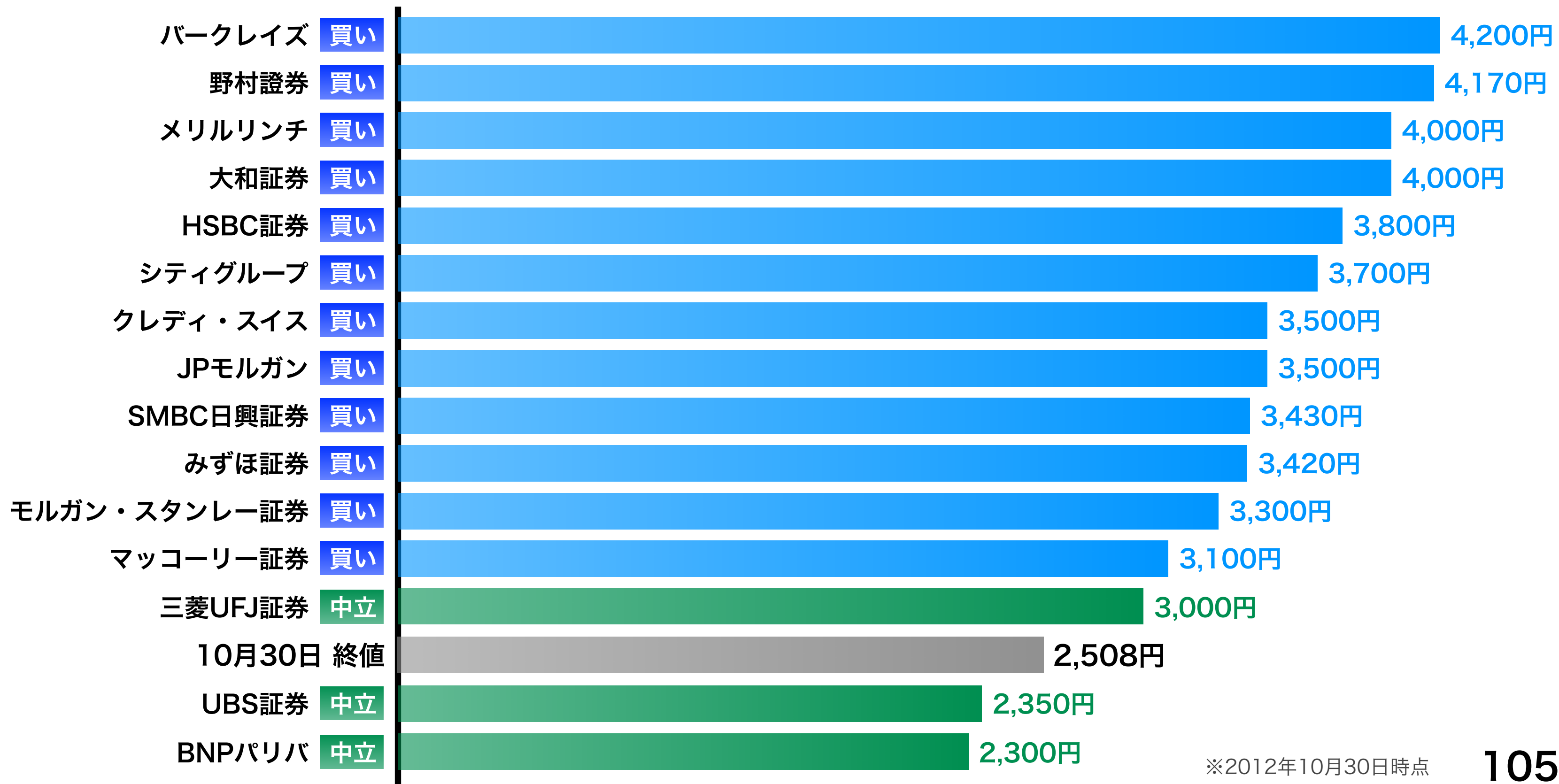
株価は下落

アナリストの目標株価

10月30日 終値

2,508円

アナリストの目標株価



※2012年10月30日時点

1. 成長期待

**Sprintの業績反転と財務改善
スマホとLTEの競争力強化**

2. 負債水準

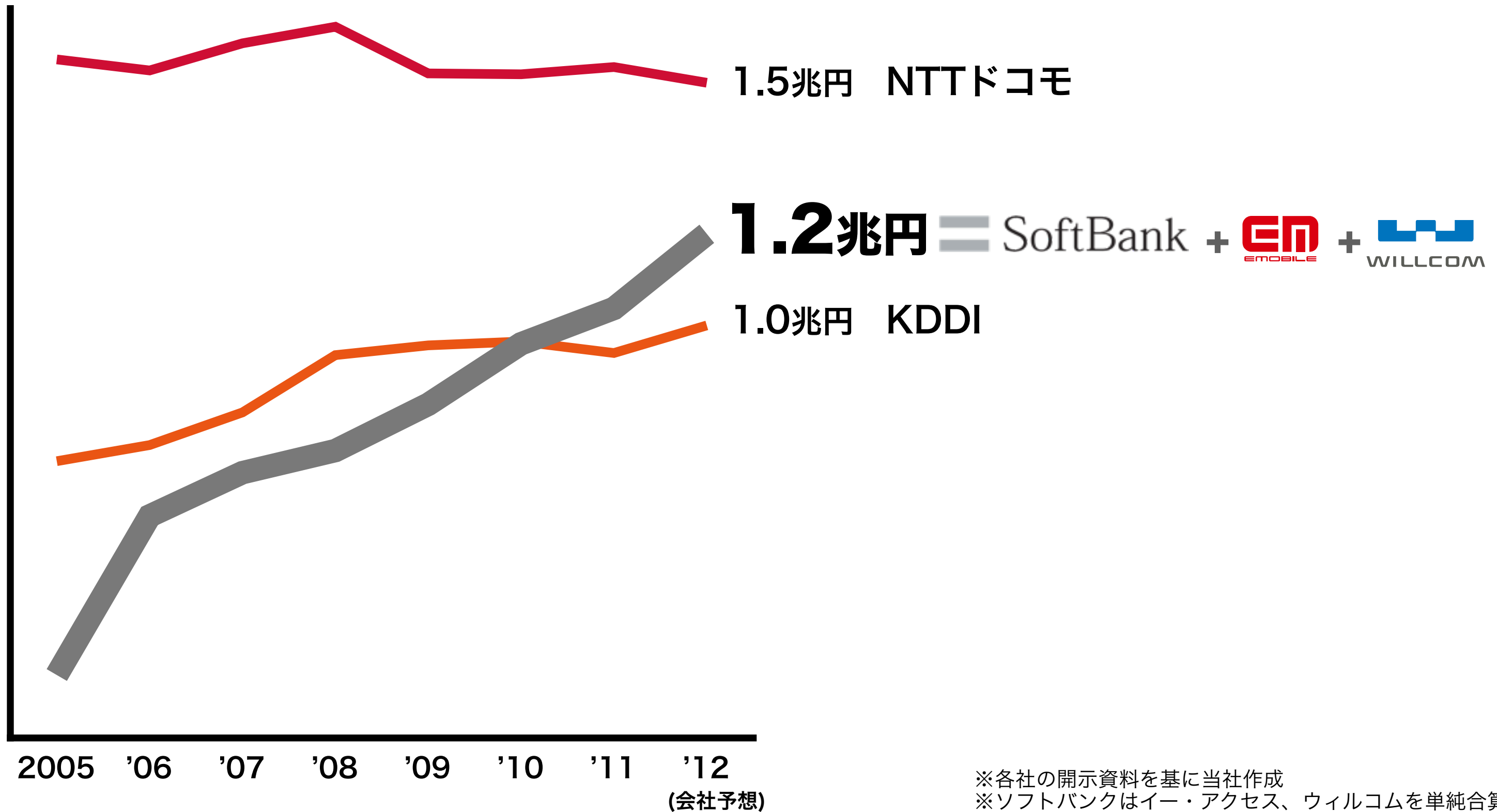
全く問題ないレベル

3. 株価

歴史的な買い場

連結営業利益(償却前)

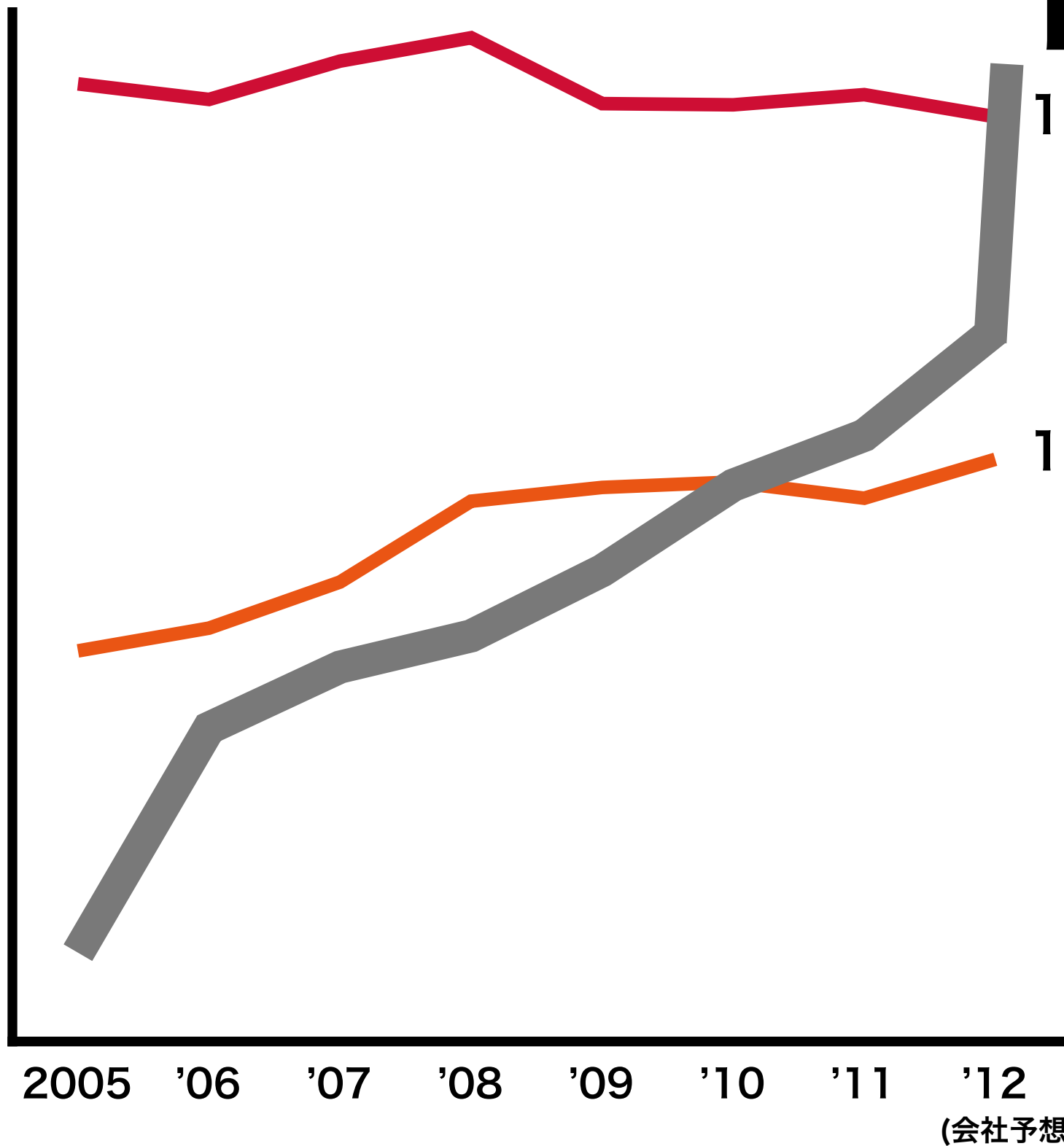
[EBITDA]



※各社の開示資料を基に当社作成
※ソフトバンクはイー・アクセス、ウィルコムを単純合算

連結営業利益(償却前)

[EBITDA]



1.6兆円 = SoftBank +  +  + Sprint 

1.5兆円 NTTドコモ

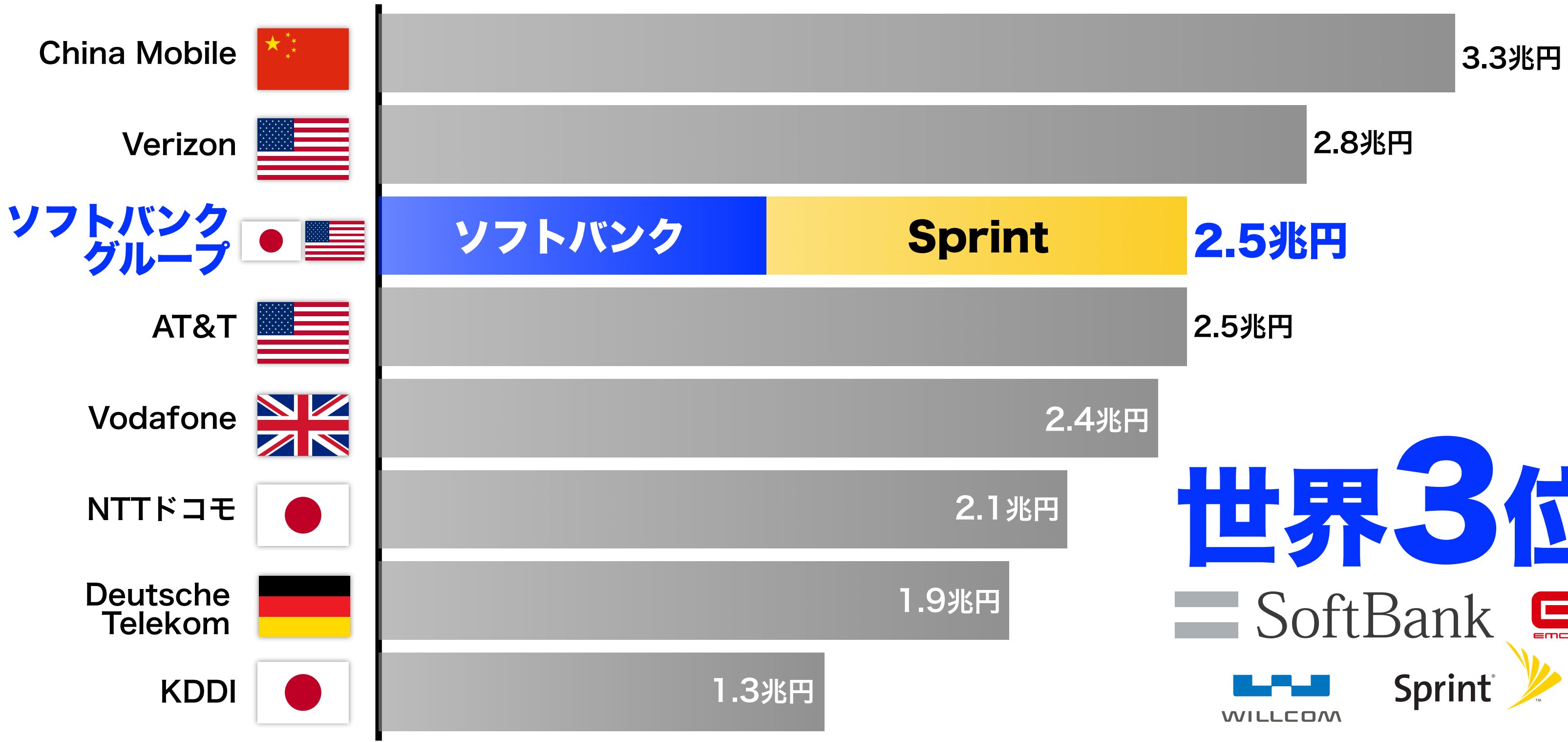
1.0兆円 KDDI

ドコモを逆転

※各社の開示資料を基に当社作成
※1ドル=80円で換算
※ソフトバンクはイー・アクセス、ウィルコム、Sprint(調整後OIBDA)を単純合算

ソフトウェアバンクの企業価値

モバイル 売上高(2012年1-6月期)



世界3位

SoftBank 

※ソフトバンクグループはイー・アクセス、ウィルコム、Sprintを単純合算

※出所: 各社開示資料を元に当社作成

モバイル 営業利益(償却前)

[EBITDA]

China Mobile



3.1兆円

Verizon



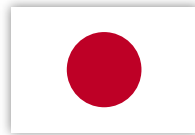
2.1兆円

AT&T



1.7兆円

NTTドコモ



1.5兆円

ソフトバンク
グループ

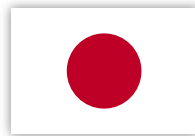


ソフトバンク

Sprint

1.2兆円

KDDI



0.7兆円

Bharti Airtel



0.2兆円

世界5位

SoftBank

WILLCOM

Sprint

※出所: 各社開示資料を元に当社作成

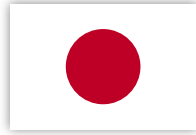
※2011年度実績。ドコモとソフトバンクグループは2012年度予想。

ソフトバンクグループはイー・アクセス、ウィルコム、Sprint(調整後OIBDA)を単純合算

EBITDA 平均成長率(CAGR)

(2005年度～2011年度)

ソフトバンク



47%

Bharti Airtel



32%

America Movil



25%

AT&T



14%

SingTel



8%

Telefonica



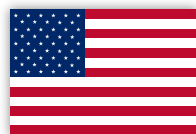
6%

Vodafone



4%

Verizon



2%

成長率 世界No.1



しかし...

モバイル 時価総額ランキング

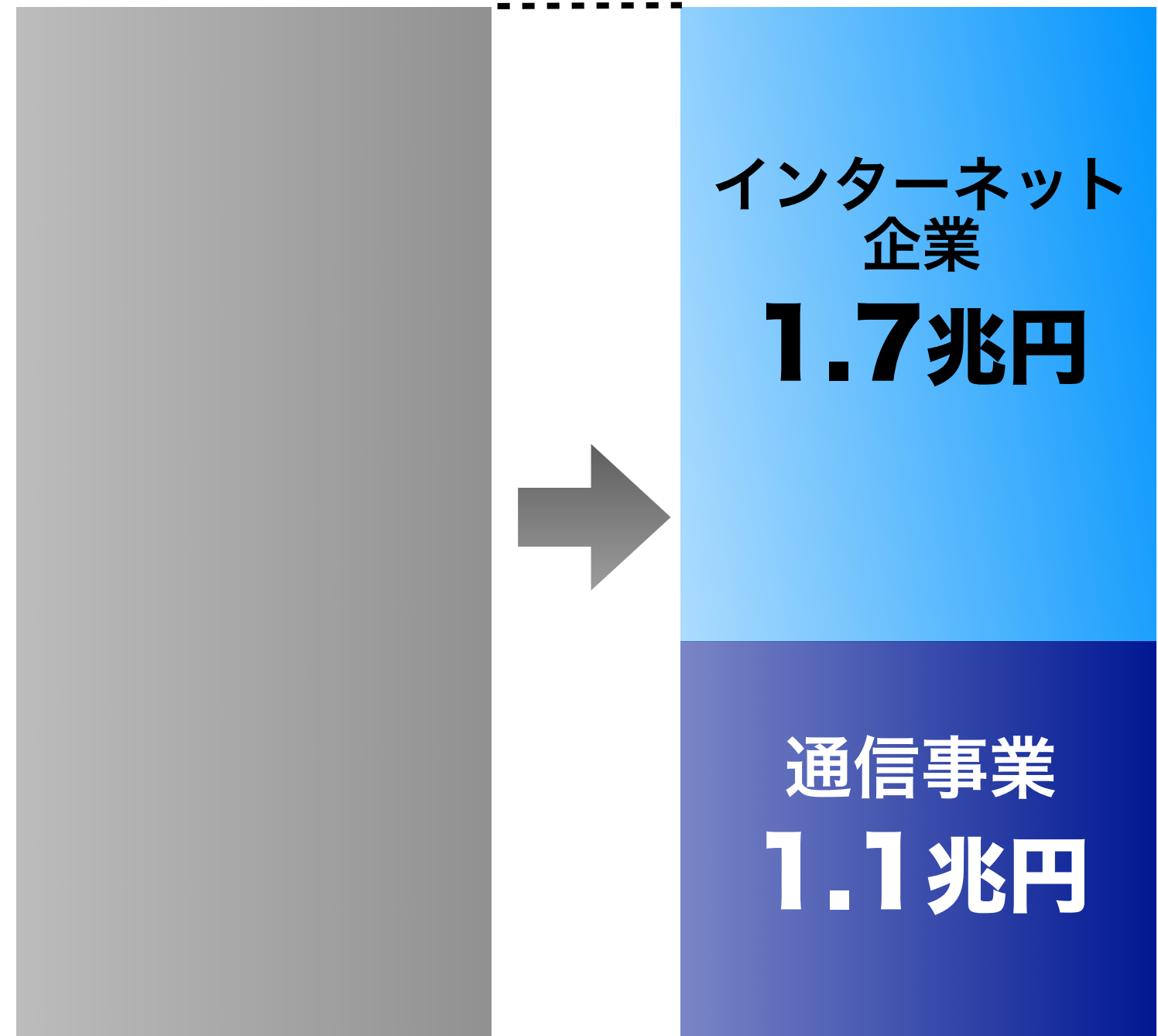
順位	社名	金額(兆円)
1	China Mobile	17.6
2	AT&T	15.7
3	Vodafone	10.6
4	Verizon	10.1
5	America Movil	7.7
6	NTTドコモ	5.1
7	Telefonica	4.7
8	Telstra	4.2
9	Deutsche Telekom	3.9
10	SingTel	3.4
	⋮	
38	ソフトバンク(通信事業)	1.1

世界38位?

※Bloombergデータより当社作成(2012年10月30日時点)

ソフトバンクの時価総額

2.8兆円



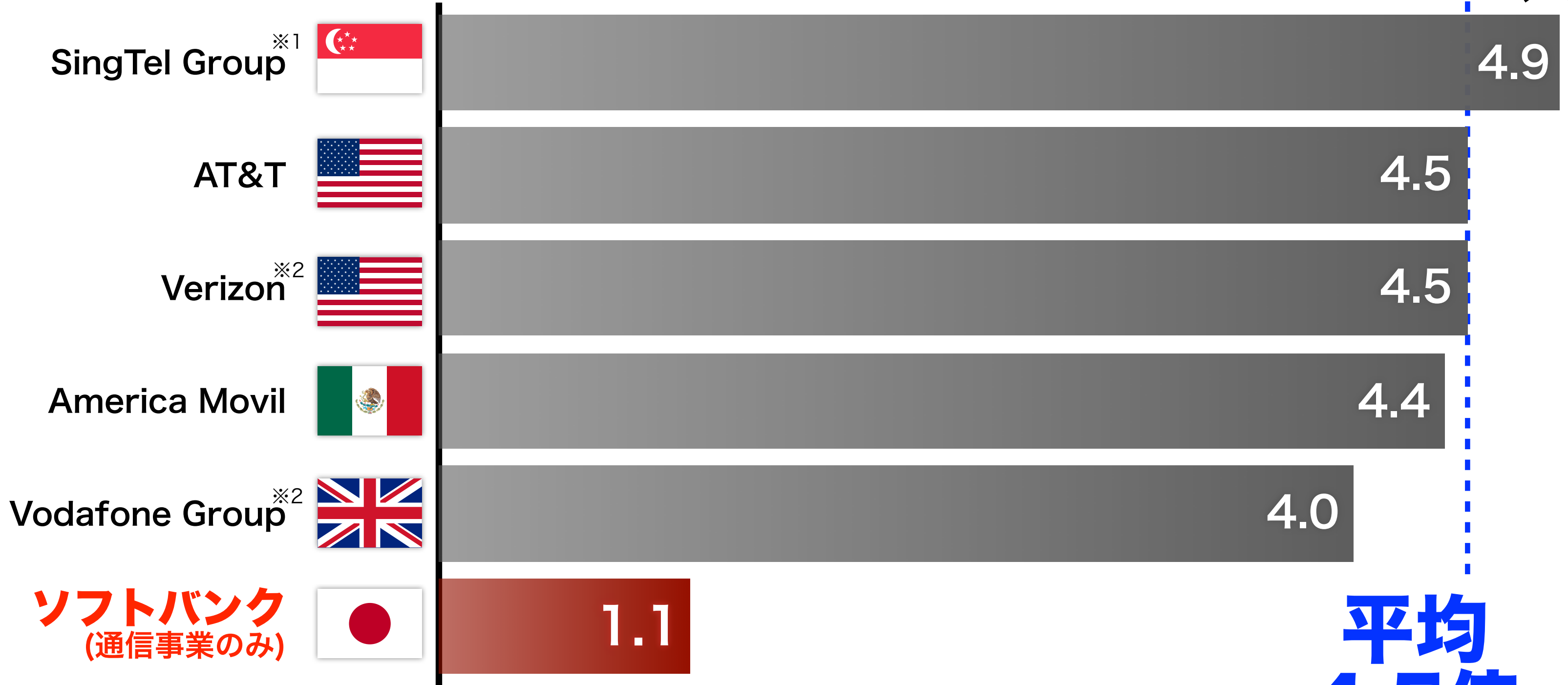
ヤフージャパン	0.67兆円
アリババグループ	0.90兆円
その他上場企業	0.08兆円

通信事業の価値 (2013年度アナリスト予想平均)

EBITDA 1兆円 x **1.1倍**

時価総額/EBITDA 倍率

(倍)



平均
4.5倍

※1 関連会社のEBITDAを持分比率に応じて加算
※2 Verizon Wirelessの2011年度EBITDA \$26.4bn (2兆592億円) × 45% (Verizonからは減算し、Vodafoneには加算)
※ Bloombergのデータを基に当社作成(2012年10月30日) * EBITDAは2013年度のBloomberg予想を使用

質問4

なぜ事業規模を
拡大するのか？



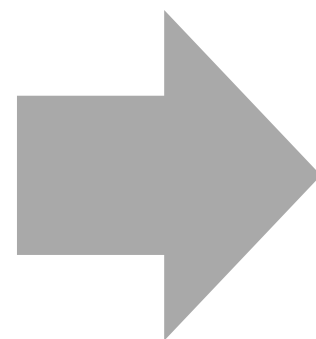
答え

**経営基盤・投資体力を強化し
最高のサービスを提供**

競争環境の変化



ガラパゴス携帯
×
2G/3G



スマートフォン
×
LTE

世界規模でスケールメリットを発揮

日米のお客様へ

1. 世界最先端のLTEネットワーク
2. 世界共通のスマートフォン
3. 世界市場で最も革新的なサービス

**世界最先端の
モバイルブロードバンドを提供**



モバイルインターネットで 人々のライフスタイルを革新



情報革命で人々を幸せに



SoftBank

1. 「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用について

2010年度第1四半期から「セグメント情報等の開示に関する会計基準」および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用しています。2009年度の業績は、これらの基準が適用されていたと仮定して算出した数値を掲載しています。

2. 本資料中の用語の定義等について

フリーキャッシュフロー(FCF、純現金収支)=営業活動によるキャッシュフロー+投資活動によるキャッシュフロー

EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却額+営業費用に含まれる固定資産除却損

純有利子負債=有利子負債-手元流動性

有利子負債=短期借入金+コマーシャルペーパー+1年内償還予定の社債+社債+長期借入金。リース債務を含まず。ボーダフォン日本法人の買収に伴う事業証券化スキームにおいて発行された社債(銘柄: WBS Class B2 Funding Notes、発行体: J-WBSファンディング(株))のうち、当社が2009年度に取得した額面270億円を除く。手元流動性=現金及び預金+流動資産に含まれる有価証券(当社米国子会社が保有していたYahoo! Inc.株式を除く)

「過去最高」「最高益」は、当社が連結決算を開始した1994年度以降。

なお当社は、(株)ウィルコムが発行済株式を100%保有していますが、同社は会社更生法上の更生会社であり、当社と同社の間では有効な支配従属関係が存在しないと認められることから、子会社としていません。

3. 登録商標・商標について

本資料に掲載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンク株式会社または該当する各社の登録商標 または商標です。本資料の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。

- iPhone、iPadはApple Inc.の商標です。

- iPhone商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。